

浅口市総合計画後期基本計画策定 市民意識調査 報告書

(市民アンケート調査・中学生アンケート調査)

平成23年10月

浅 口 市

目 次

第1編 市民アンケート調査	1
市民アンケート調査の概要	3
第1項 集計結果報告	4
問1① 性別	4
問1② 年齢	5
問1③ 浅口市での居住年数	6
問1④ 居住地域	6
問1⑤ 職業	7
問1⑥ 通勤・通学先	8
問2 住んでいる地域への愛着	9
問3 今後の居留意向	10
問3-1 居留意向がない理由	11
問4 浅口市の暮らしやすさ	12
問5 身近な住環境の中で整備が必要な施設	13
問6 暮らし、経済、交流が都市基盤に支えられるまち	14
問7 資源を活かし、活力を育てる産業のまち	16
問8 安全・安心、ゆとりある生活のまち	18
問9 自然、環境が大切にされ、活かされるまち	20
問10 健やかさがはじけ、笑顔がひろがるまち	22
問11 豊かな心、広い視野、地域文化を育むまち	26
問12 市民、グループや組織の活動が生きいき輝くまち	28
問13 効率的で機動的な行財政の運営	30
問14 浅口市の特性や自慢できるもの	32
第2項 自由意見	33
第3項 市民満足度評価の分析	34
1 暮らし、経済、交流が都市基盤に支えられるまち	35
2 資源を活かし、活力を育てる産業のまち	38
3 安全・安心、ゆとりある生活のまち	41
4 自然、環境が大切にされ、活かされるまち	44
5 健やかさがはじけ、笑顔がひろがるまち	46
6 豊かな心、広い視野、地域文化を育むまち	49
7 市民、グループや組織の活動が生きいき輝くまち	52
8 効率的で機動的な行財政の運営	54

第4項	前回調査との比較	57
1	属性について	58
2	住んでいる地域への愛着	59
3	今後の居留意向	59
4	居留意向がない理由	60
5	浅口市の暮らしやすさ	61
6	身近な住環境の中で整備が必要な施設	62
7	重要度・満足度	63
第2編	中学生アンケート調査	75
	中学生アンケート調査の概要	77
	第1項 集計結果報告	78
	問1 性別	78
	問2 在籍する中学校	79
	問3 放課後や休日の過ごし方	80
	問4 今住んでいるまちでもっとよくして欲しい事	81
	問5 浅口市が好きですか	82
	問5-A 浅口市が好きな理由	83
	問5-B 浅口市が嫌いな理由	84
	問6 浅口市で自慢したい・次世代に伝えたいこと	85
	問7 大人になったとき、浅口市でしたいこと	86
	問7-1 浅口市に住む・住み続ける時の場所	87
	問7-2 大人になったときの仕事について	88
	問8 浅口市が目指すべきまちづくり	89
	第2項 自由意見	90

第1編 市民アンケート調査

市民アンケート調査の概要

総合計画・後期基本計画を策定するにあたり、市民アンケート調査を実施しました。
実施概要は以下のとおりです。

- 調査対象及び配布数：18歳以上の市民から2,000名を無作為抽出
- 実施時期：平成23年7月上旬～7月中旬
- 回収数：917票（内有効回答数：913票）
- 回収率：45.9%（内有効回答回収率：45.7%）

調査の集計結果を次ページ以降に掲載します。

※ アンケート表・グラフ中

カテゴリー = 回答の選択肢

N (number of case) = 回答者数 (サンプル数)

S A (Single Answer) = 単一回答のこと。複数の選択肢から1つだけ選んで回答する形式

MA (Multiple Answer) = 複数回答のこと。複数の選択肢から1つ以上の選択肢を選んで回答する形式

注1) %表示については、小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

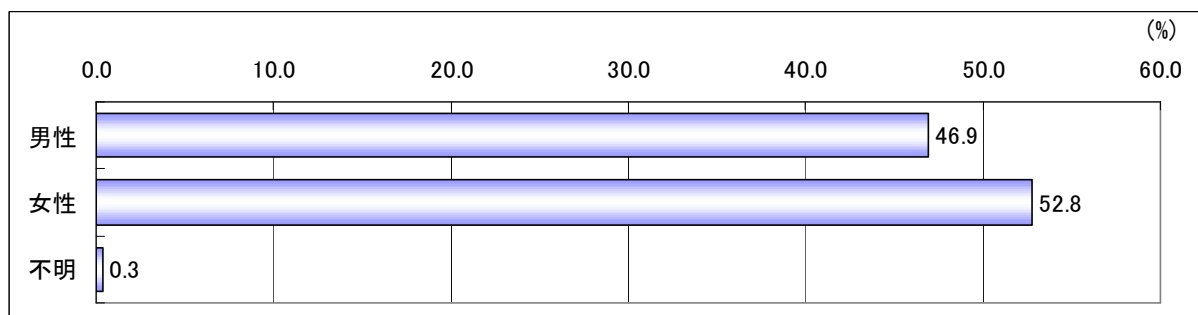
注2) 集計表における“不明”には、当該設問への無回答の他、回答規則違反（例えば、S Aの設問における複数回答など）の件数（票数）が含まれます。

第1項 集計結果報告

問1① 性別

【基本集計】(SA, N=913)

- ◇ 調査対象者の性別は、「男性」の46.9%に対して「女性」が52.8%と、やや女性が多い。

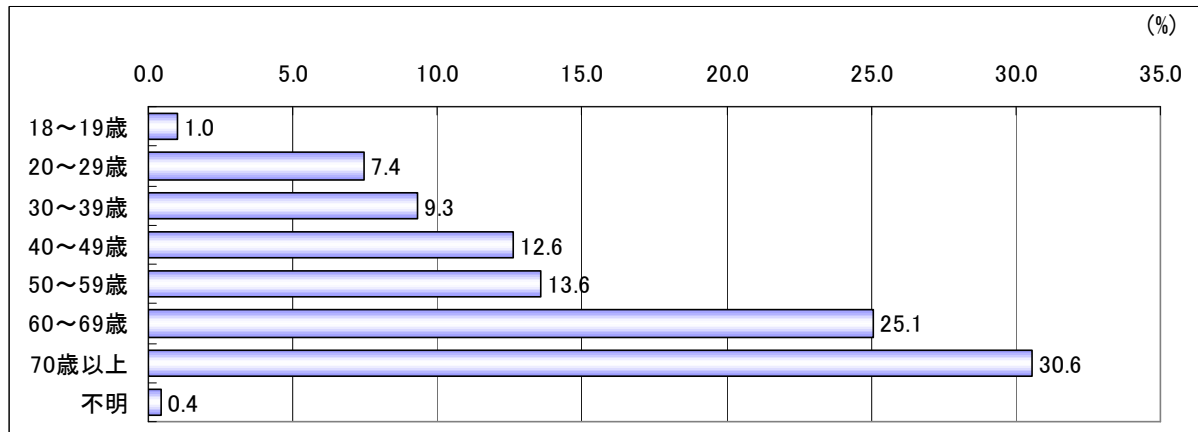


No.	カテゴリー	件数	%
1	男性	428	46.9
2	女性	482	52.8
	不明	3	0.3
	全体	913	100.0

問 1 ② 年齢

【基本集計】(SA, N=913)

- ◇ 回答者の年齢については、「70歳以上」が30.6%と最も多く、次いで「60～69歳」が25.1%、「50～59歳」が13.6%の順となっている。

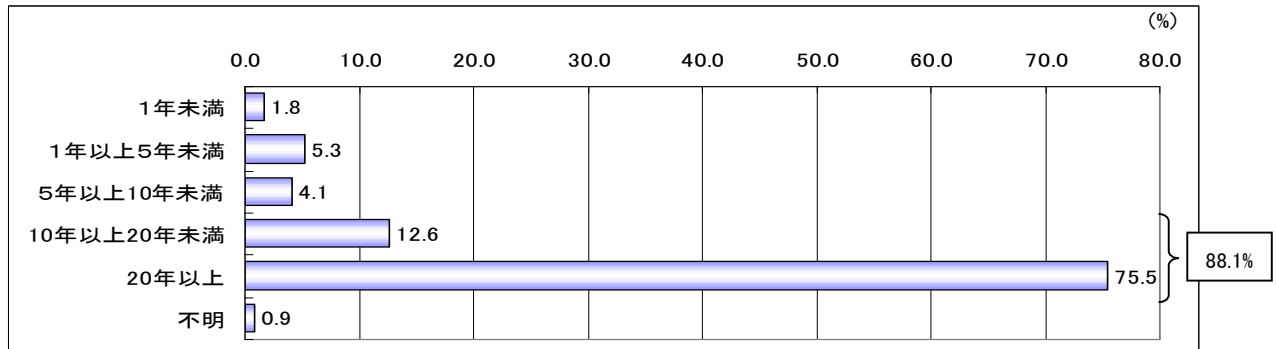


No.	カテゴリー	件数	%
1	18～19歳	9	1.0
2	20～29歳	68	7.4
3	30～39歳	85	9.3
4	40～49歳	115	12.6
5	50～59歳	124	13.6
6	60～69歳	229	25.1
7	70歳以上	279	30.6
	不明	4	0.4
	全体	913	100.0

問 1 ③ 浅口市での居住年数

【基本集計】（SA, N=913）

- ◇ 回答者の浅口市での居住年数については、「20年以上」が75.5%と最も多く、これを含め、住み始めて10年以上の人が88.1%を占める。

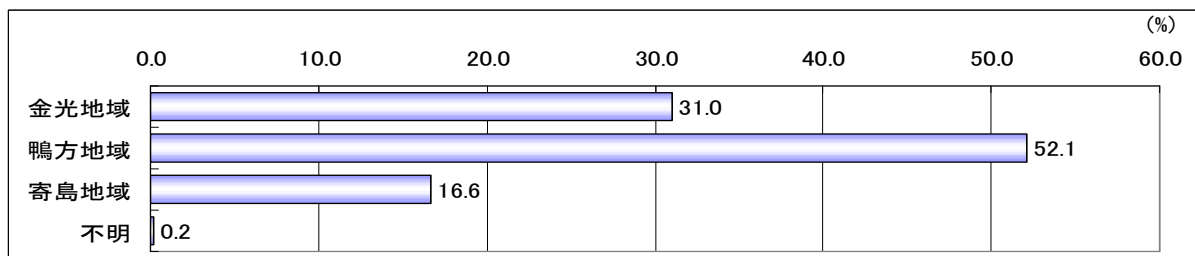


No.	カテゴリー	件数	%
1	1年未満	16	1.8
2	1年以上5年未満	48	5.3
3	5年以上10年未満	37	4.1
4	10年以上20年未満	115	12.6
5	20年以上	689	75.5
	不明	8	0.9
	全体	913	100.0

問 1 ④ 居住地域

【基本集計】（SA, N=913）

- ◇ 回答者の居住地域については、「鴨方地域」が52.1%と最も多く、次いで「金光地域」が31.0%、「寄島地域」が16.6%の順である。

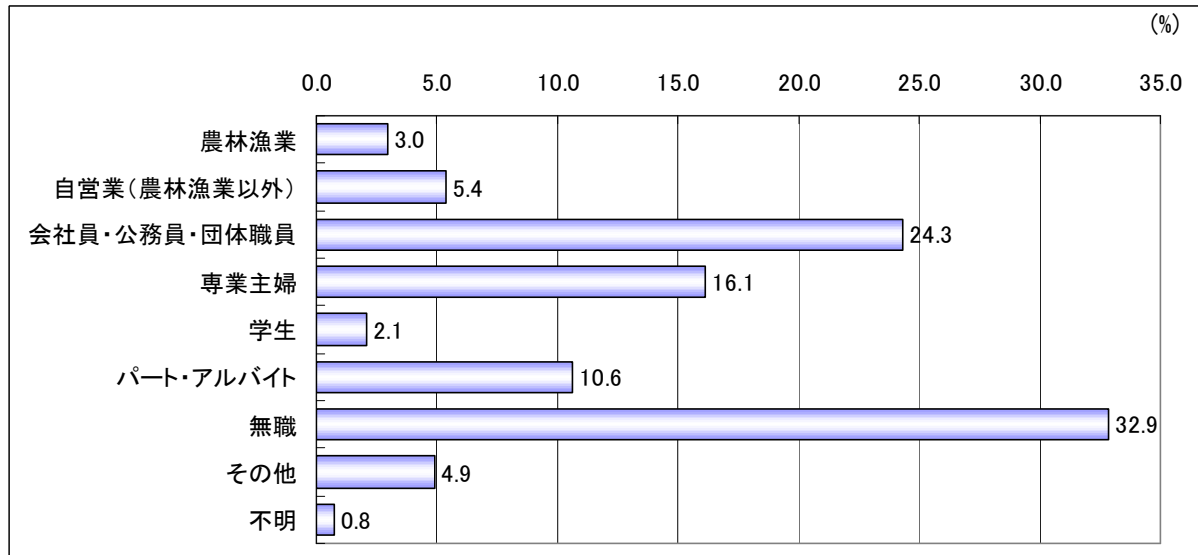


No.	カテゴリー	件数	%
1	金光地域	283	31.0
2	鴨方地域	476	52.1
3	寄島地域	152	16.6
	不明	2	0.2
	全体	913	100.0

問1⑤ 職業

【基本集計】(SA, N=913)

- ◇ 回答者の職業については、「無職」が32.9%と最も多く、次いで「会社員・公務員・団体職員」が24.3%、「専業主婦」が16.1%の順である。

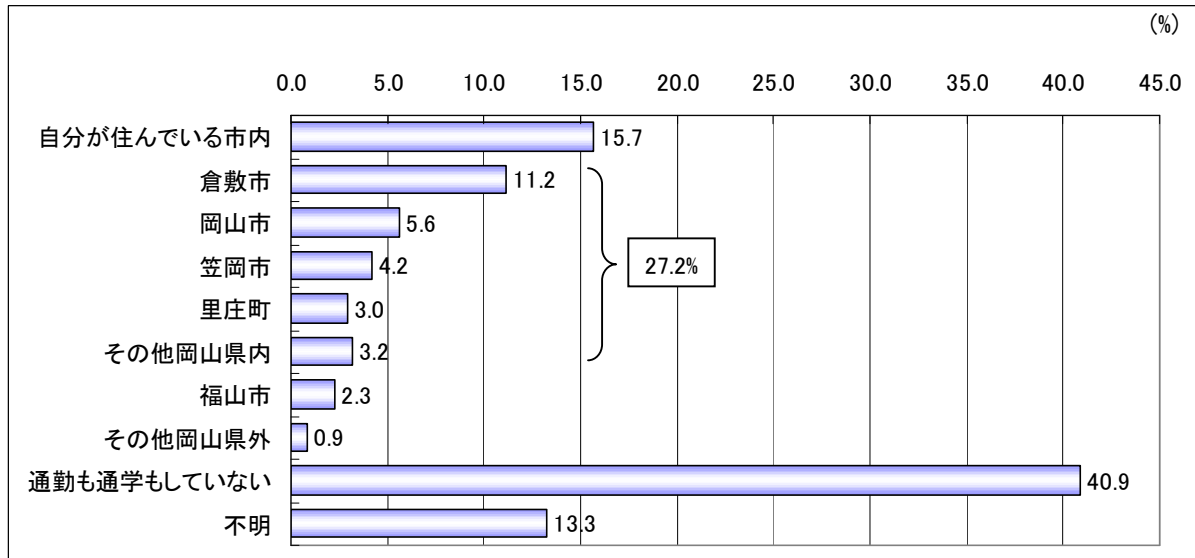


No.	カテゴリー	件数	%
1	農林漁業	27	3.0
2	自営業(農林漁業以外)	49	5.4
3	会社員・公務員・団体職員	222	24.3
4	専業主婦	147	16.1
5	学生	19	2.1
6	パート・アルバイト	97	10.6
7	無職	300	32.9
8	その他	45	4.9
	不明	7	0.8
	全体	913	100.0

問 1 ⑥ 通勤・通学先

【基本集計】(SA, N=913)

- ◇ 回答者の 40.9%が「通勤も通学もしていない」となっている。
- ◇ 「自分が住んでいる市内」に通勤または通学している人は 15.7%である。
- ◇ 浅口市以外の岡山県内に通勤または通学している人は 27.2%を占める。

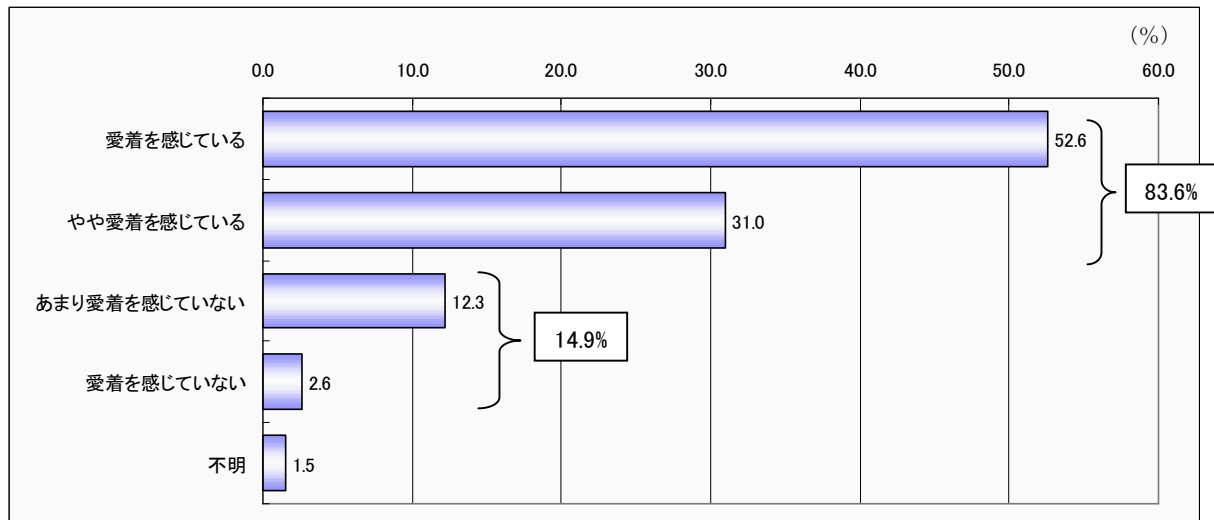


No.	カテゴリー	件数	%
1	自分が住んでいる市内	143	15.7
2	倉敷市	102	11.2
3	岡山市	51	5.6
4	笠岡市	38	4.2
5	里庄町	27	3.0
6	その他岡山県内	29	3.2
7	福山市	21	2.3
8	その他岡山県外	8	0.9
9	通勤も通学もしていない	373	40.9
	不明	121	13.3
	全体	913	100.0

問2 住んでいる地域への愛着

【基本集計】(SA, N=913)

- ◇ 「愛着を感じている」の52.6%と「やや愛着を感じている」の31.0%を合わせた83.6%が、今住んでいる地域への愛着を感じている。
- ◇ 「愛着を感じていない」の2.6%と「あまり愛着を感じていない」の12.3%を合わせると14.9%の人は、愛着を感じていない。

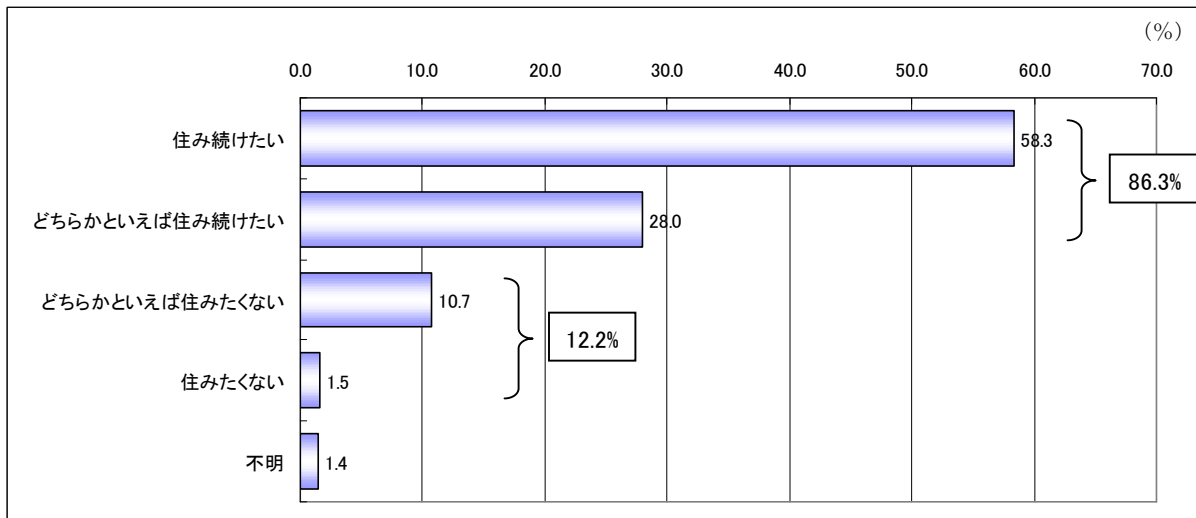


No.	カテゴリー	件数	%
1	愛着を感じている	480	52.6
2	やや愛着を感じている	283	31.0
3	あまり愛着を感じていない	112	12.3
4	愛着を感じていない	24	2.6
	不明	14	1.5
	全体	913	100.0

問3 今後の居住意向

【基本集計】(SA, N=913)

- ◇ 「住み続けたい」の58.3%と「どちらかといえば住み続けたい」の28.0%を合わせた86.3%が、今後も今住んでいる地域に居住したいという意向がみられる。
- ◇ 居住意向がない人は、「住みたくない」の1.5%と「どちらかといえば住みたくない」の10.7%を合わせた12.2%である。

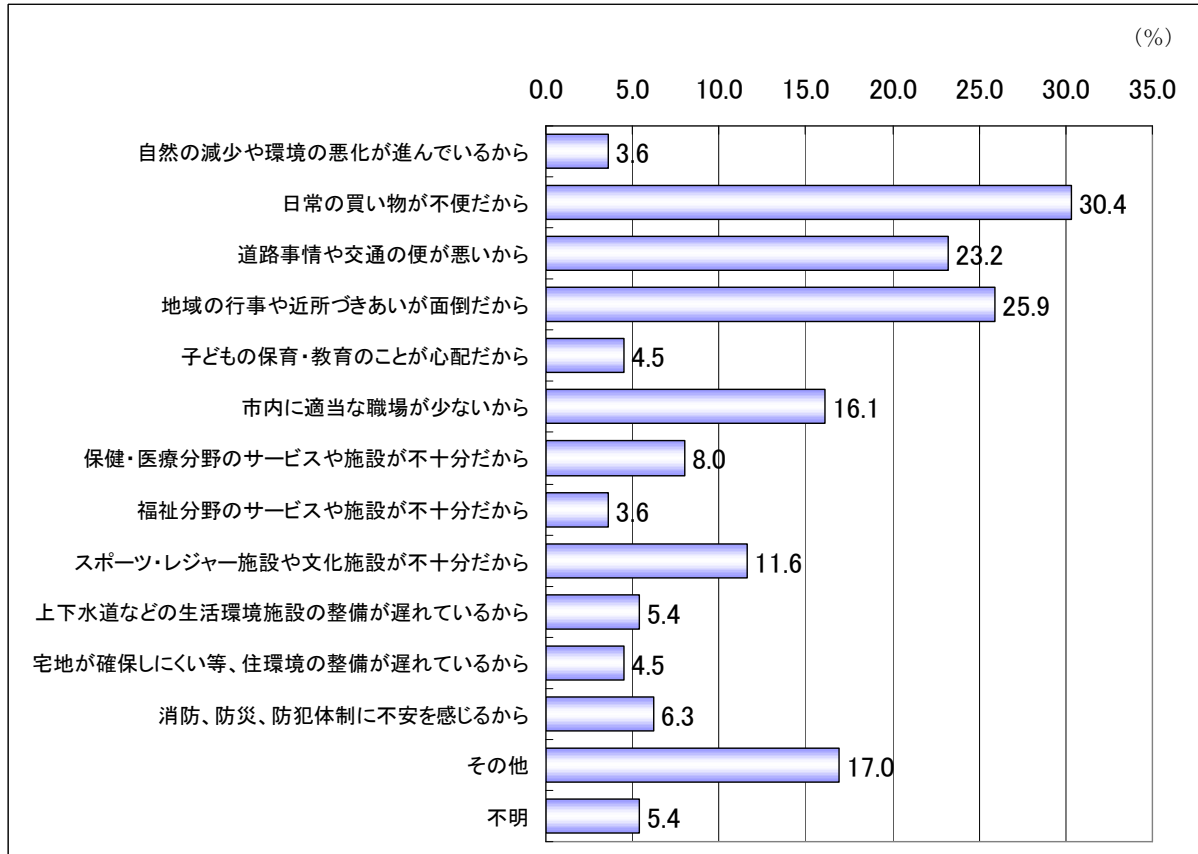


No.	カテゴリー	件数	%
1	住み続けたい	532	58.3
2	どちらかといえば住み続けたい	256	28.0
3	どちらかといえば住みたくない	98	10.7
4	住みたくない	14	1.5
	不明	13	1.4
	全体	913	100.0

問3-1 居住意向がない理由

【基本集計】【問3 どちらかといえば住みたくない、住みたくない】→ (MA, N=112)

- ◇ 居住意向がない理由としては、「日常の買い物が不便だから」の30.4%が最も多く、次いで、「地域の行事や近所づきあいが面倒だから」が25.9%、「道路事情や交通の便が悪いから」が23.2%となっている。

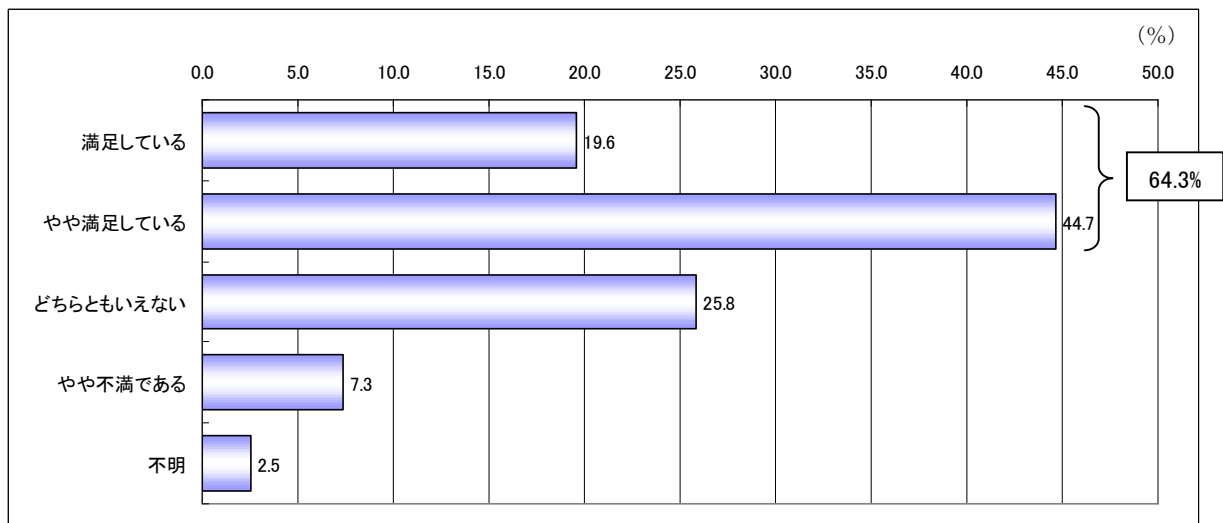


No.	カテゴリー	件数	%
1	自然の減少や環境の悪化が進んでいるから	4	3.6
2	日常の買い物が不便だから	34	30.4
3	道路事情や交通の便が悪いから	26	23.2
4	地域の行事や近所づきあいが面倒だから	29	25.9
5	子どもの保育・教育のことが心配だから	5	4.5
6	市内に適当な職場が少ないから	18	16.1
7	保健・医療分野のサービスや施設が不十分だから	9	8.0
8	福祉分野のサービスや施設が不十分だから	4	3.6
9	スポーツ・レジャー施設や文化施設が不十分だから	13	11.6
10	上下水道などの生活環境施設の整備が遅れているから	6	5.4
11	宅地が確保しにくい等、住環境の整備が遅れているから	5	4.5
12	消防、防災、防犯体制に不安を感じるから	7	6.3
13	その他	19	17.0
	不明	6	5.4
	非該当	801	
	全体	112	100.0

問4 浅口市の暮らしやすさ

【基本集計】(SA, N=913)

- ◇ 「満足している」の19.6%と「やや満足している」の44.7%を合わせた64.3%は、浅口市の暮らしやすさを肯定的に評価している。
- ◇ 否定的評価である「やや不満である」は、7.3%と少数である。

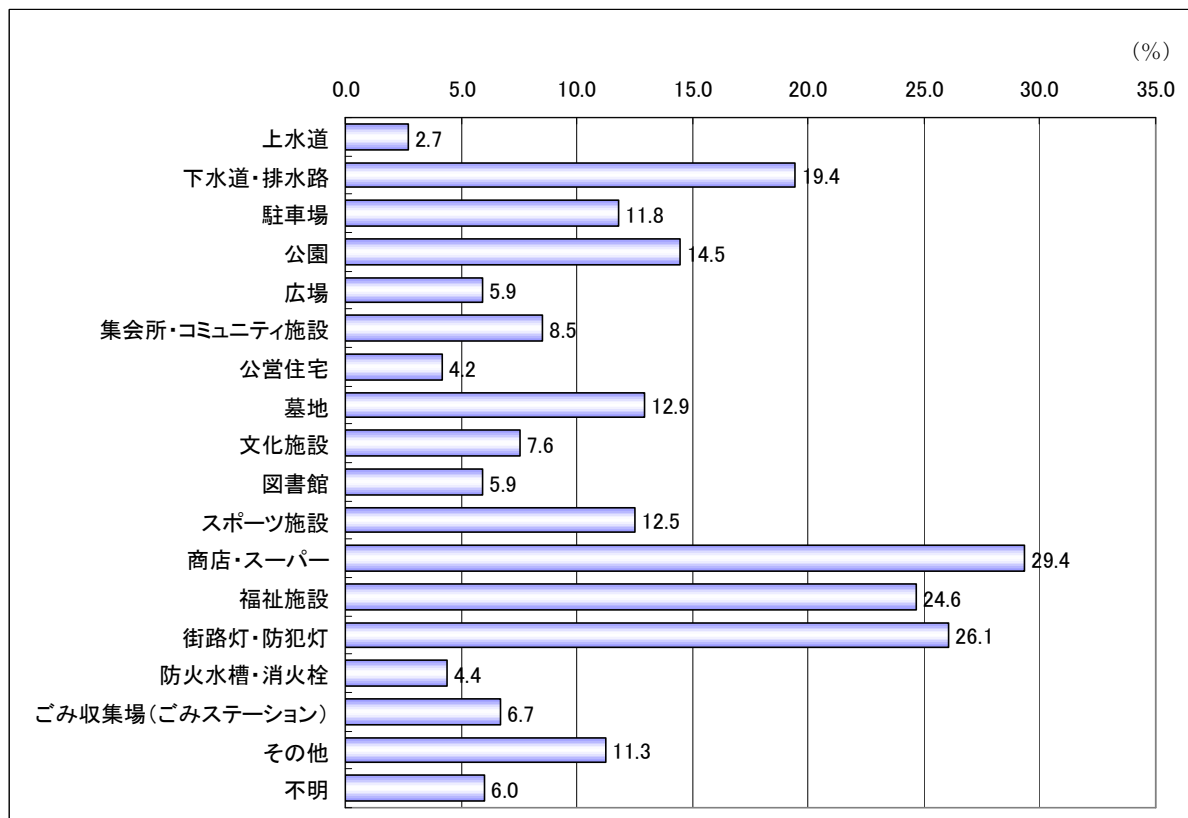


No.	カテゴリー	件数	%
1	満足している	179	19.6
2	やや満足している	408	44.7
3	どちらともいえない	236	25.8
4	やや不満である	67	7.3
	不明	23	2.5
	全体	913	100.0

問5 身近な住環境の中で整備が必要な施設

【基本集計】(MA, N=913)

- ◇ 必要とされる施設整備としては「商店・スーパー」の29.4%が最も多く、次いで「街路灯・防犯灯」が26.1%、「福祉施設」が24.6%となっている。



No.	カテゴリー	件数	%
1	上水道	25	2.7
2	下水道・排水路	177	19.4
3	駐車場	108	11.8
4	公園	132	14.5
5	広場	54	5.9
6	集会所・コミュニティ施設	78	8.5
7	公営住宅	38	4.2
8	墓地	118	12.9
9	文化施設	69	7.6
10	図書館	54	5.9
11	スポーツ施設	114	12.5
12	商店・スーパー	268	29.4
13	福祉施設	225	24.6
14	街路灯・防犯灯	238	26.1
15	防火水槽・消火栓	40	4.4
16	ごみ収集場(ごみステーション)	61	6.7
17	その他	103	11.3
	不明	55	6.0
	全体	913	100.0

問6 暮らし、経済、交流が都市基盤に支えられるまち

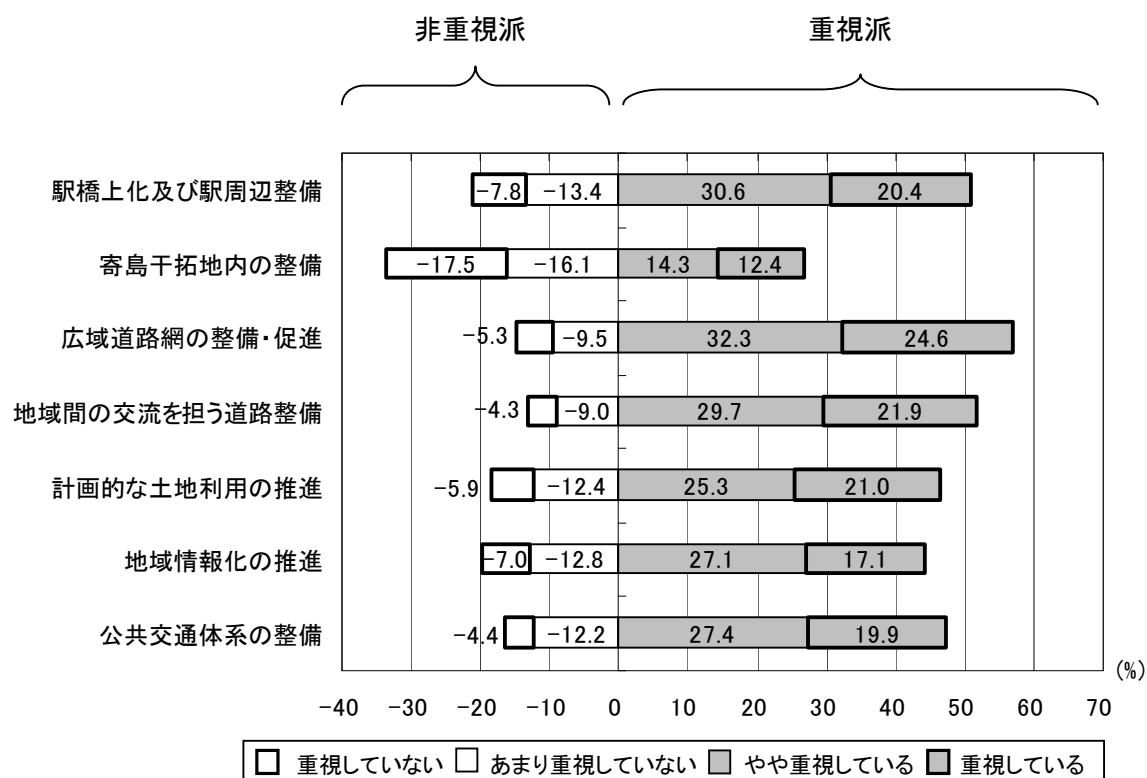
■ 重要度 ■

[基本集計]

重視派 = 「重視している」 + 「やや重視している」

非重視派 = 「重視していない」 + 「あまり重視していない」

- ◇ 7項目の重要度については、「寄島干拓地内の整備」以外の項目では重視派の方が上回っている。
- ◇ 重視派についてみてみると、「広域道路網の整備・促進」が56.9%で最も多く、次いで「地域間の交流を担う道路整備」が51.6%と、道路網の整備に関するものとなっている。
- ◇ 一方、非重視派についてみてみると、「寄島干拓地内の整備」が-33.6%と最も多くなっている。



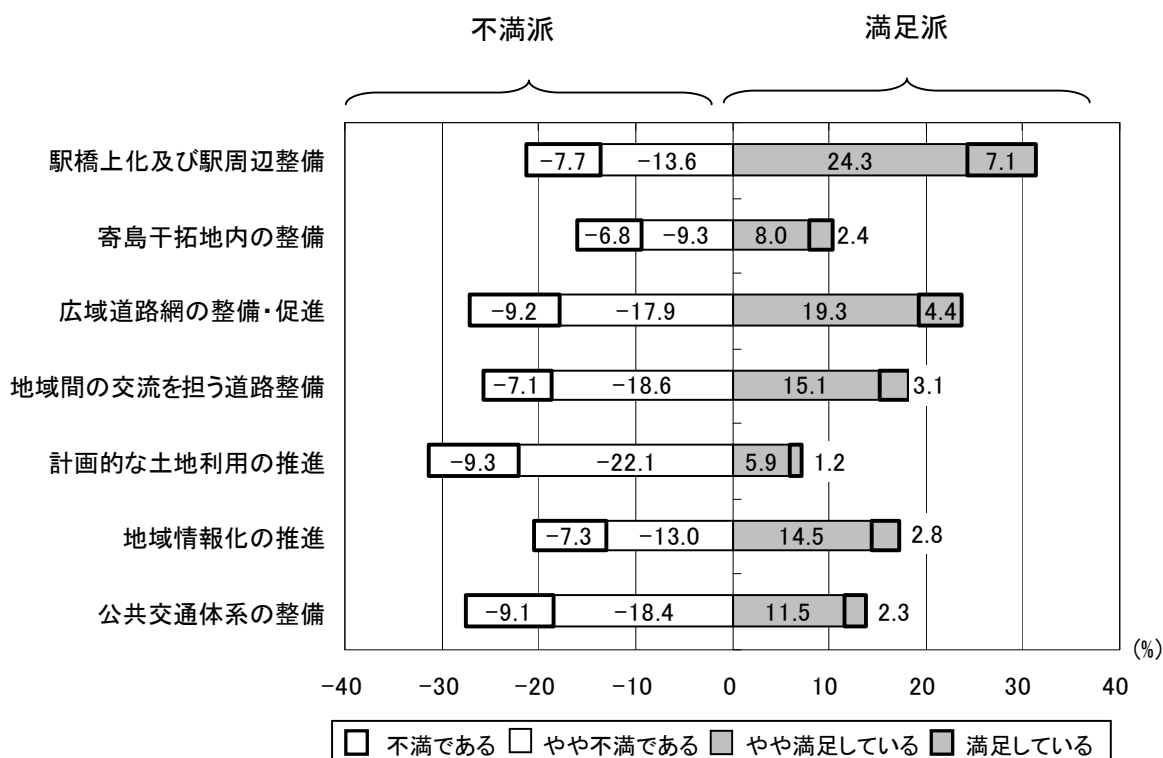
■ 満足度 ■

[基本集計]

満 足 派 = 「満足している」 + 「やや満足している」

不 満 派 = 「不満である」 + 「やや不満である」

- ◇ 7項目の満足度については、「駅橋上化及び駅周辺整備」以外の項目では不満派の方が上回っている。
- ◇ 満足派についてみると、「駅橋上化及び駅周辺整備」が31.4%で最も多く、次いで「広域道路網の整備・促進」が23.7%となっている。
- ◇ 一方、不満派についてみると、「計画的な土地利用の推進」が-31.4%と最も多く、次いで「公共交通体系の整備」が-27.5%、「広域道路網の整備・促進」が-27.1%となっている。



問7 資源を活かし、活力を育てる産業のまち

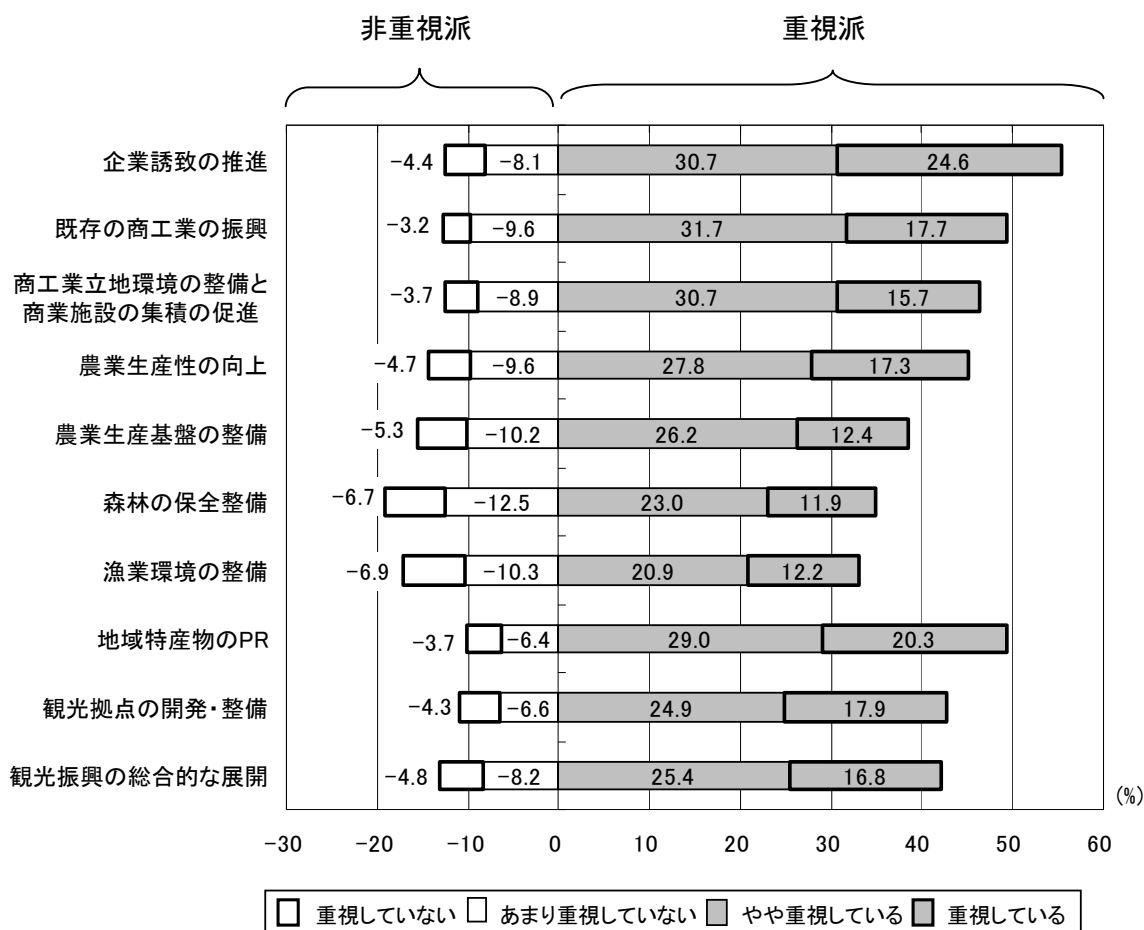
■ 重要度 ■

[基本集計]

重視派 = 「重視している」 + 「やや重視している」

非重視派 = 「重視していない」 + 「あまり重視していない」

- ◇ 10項目の重要度については、全ての項目で重視派が上回っている。
- ◇ その重視派の中でみると、「企業誘致の推進」が最も多く55.3%、次いで「既存の商工業の振興」が49.4%、「地域特産物のPR」が49.3%となっている。



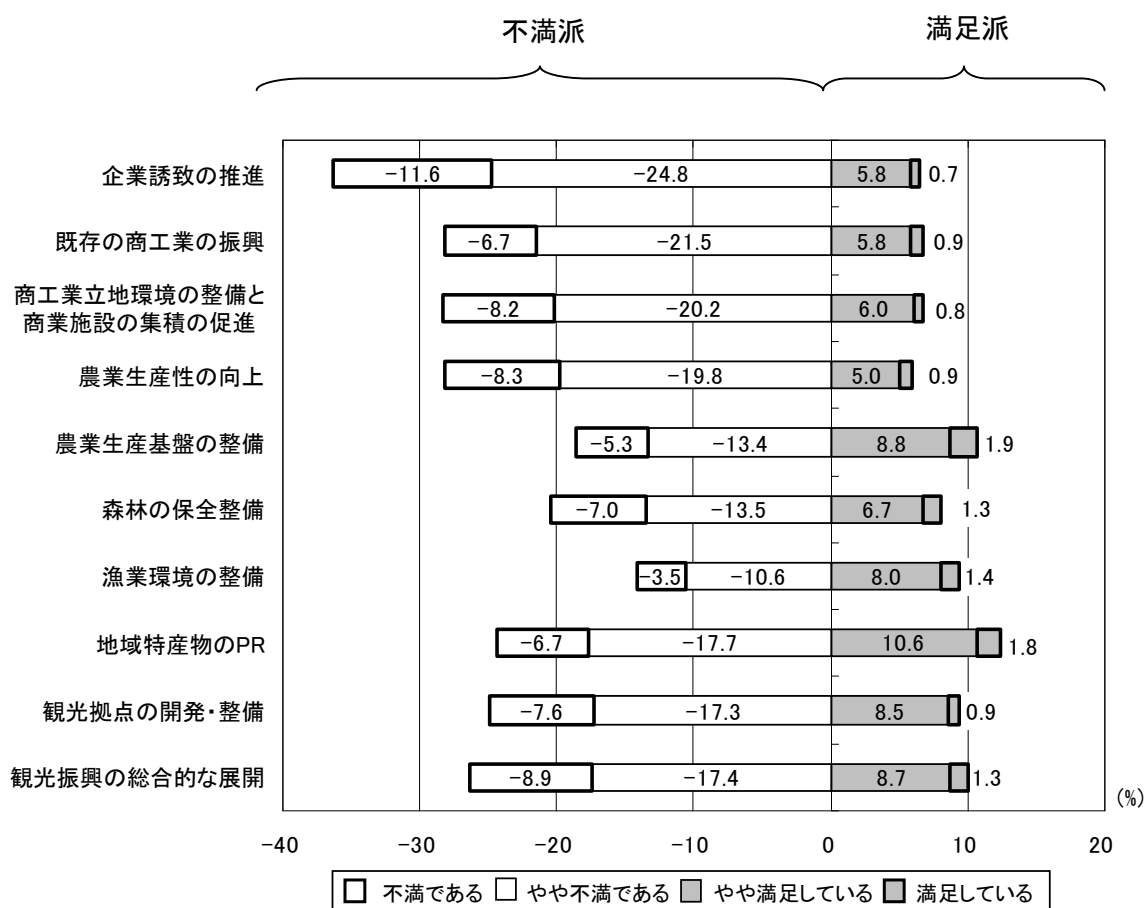
■ 満足度 ■

[基本集計]

満足派 = 「満足している」 + 「やや満足している」

不満派 = 「不満である」 + 「やや不満である」

- ◇ 10項目の満足度については、全ての項目で不満派の方が上回っている。
- ◇ その不満派の中でみると、「企業誘致の推進」が-36.4%と最も多くなっている。



問8 安全・安心、ゆとりある生活のまち

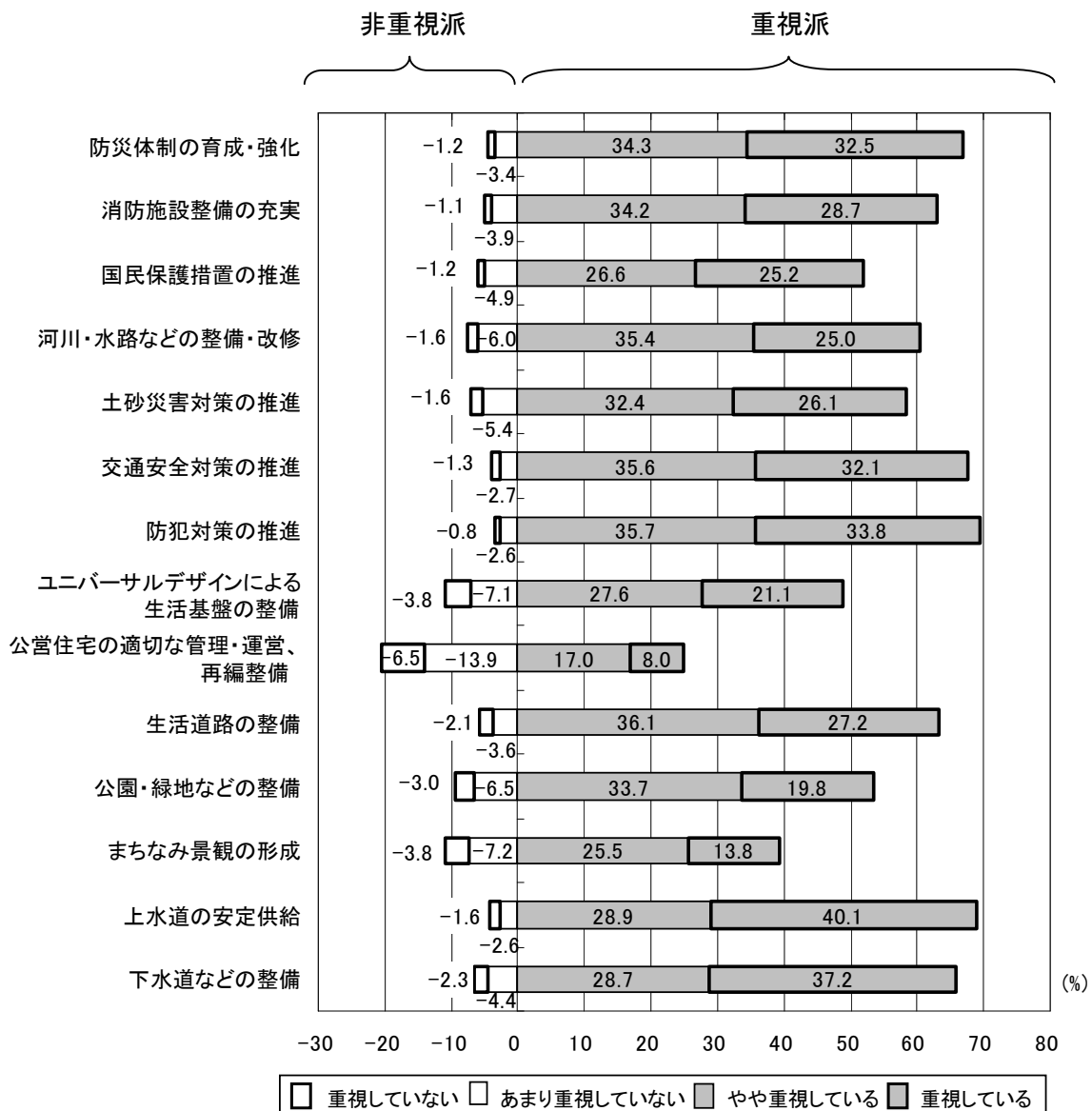
■ 重要度 ■

[基本集計]

重視派 = 「重視している」 + 「やや重視している」

非重視派 = 「重視していない」 + 「あまり重視していない」

- ◇ 14項目の重要度については、全ての項目で重視派が上回っている。
- ◇ その重視派の中でみると、「防犯対策の推進」が最も多く69.5%、次いで「上水道の安定供給」69.0%、「交通安全対策の推進」67.7%、「防災体制の育成・強化」66.8%の順となっている。



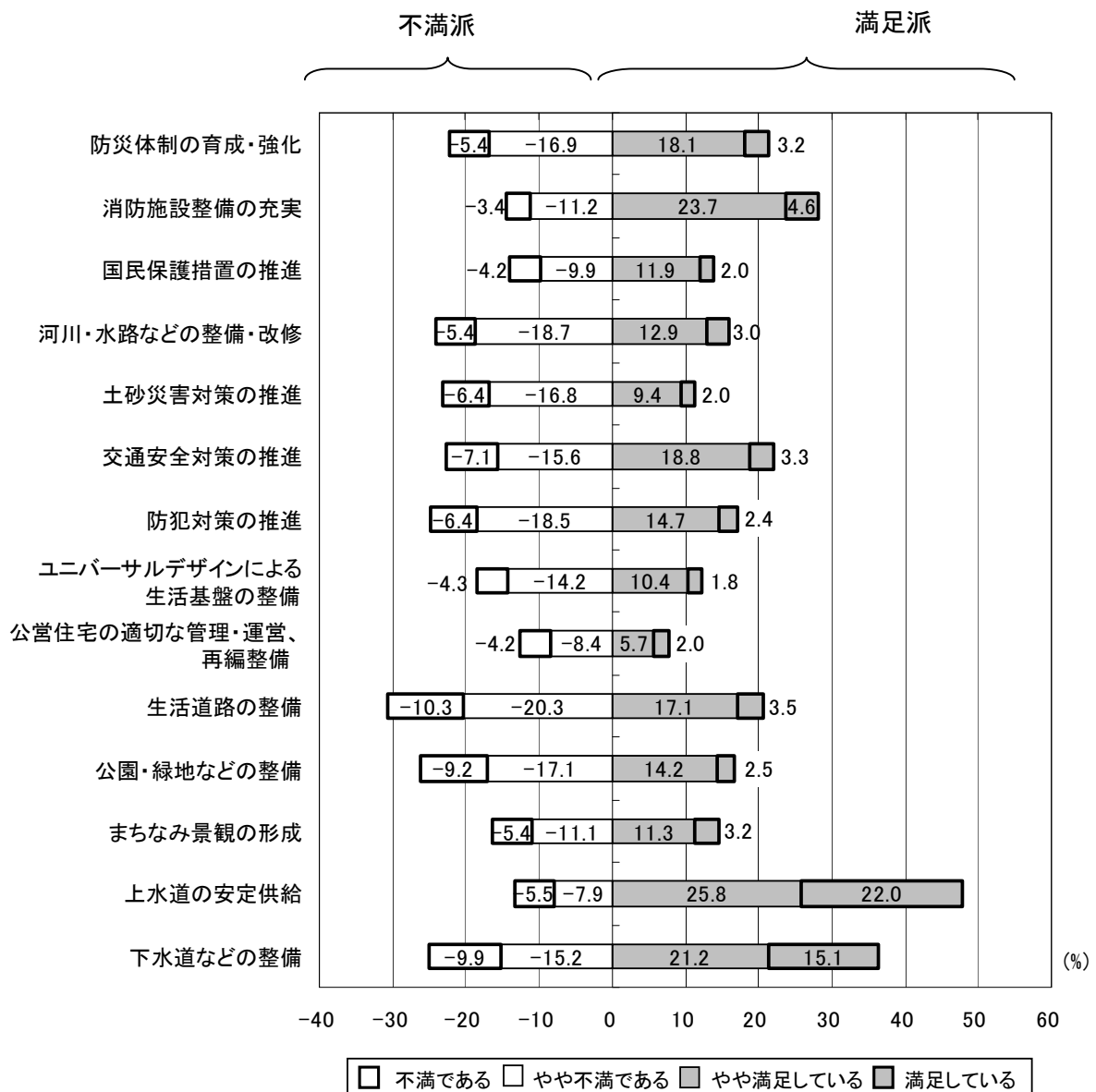
■ 満足度 ■

[基本集計]

満足派 = 「満足している」 + 「やや満足している」

不満派 = 「不満である」 + 「やや不満である」

- ◇ 14項目の満足度については、多くの項目で満足派と非満足派は拮抗している。
- ◇ 満足派についてみてみると、「上水道の安定供給」の47.8%が最も多く、次いで「下水道などの整備」が36.3%となっている。
- ◇ 一方、不満派についてみてみると、「生活道路の整備」が-30.6%と最も多く、次いで「公園・緑地などの整備」が-26.3%となっている。



問9 自然、環境が大切にされ、活かされるまち

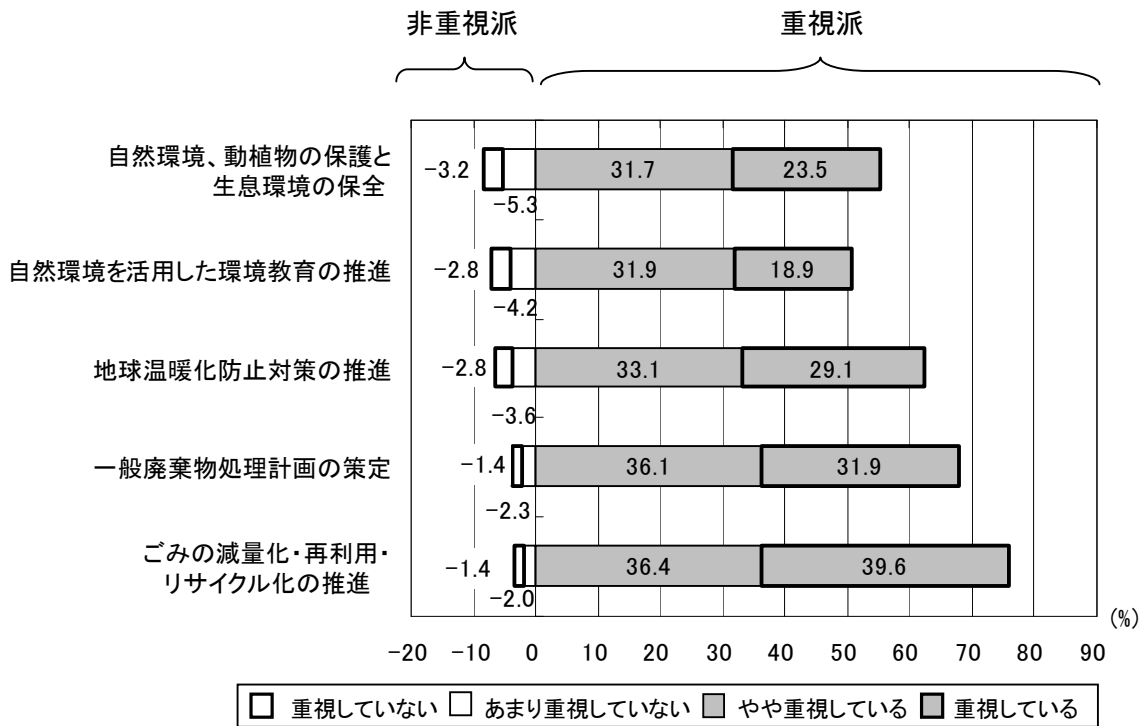
■ 重要度 ■

[基本集計]

重視派 = 「重視している」 + 「やや重視している」

非重視派 = 「重視していない」 + 「あまり重視していない」

- ◇ 5項目の重要度については、全ての項目で重視派が大きく上回っている。
- ◇ その重視派の中でみると、「ごみの減量化・再利用・リサイクル化の推進」が76.0%で最も多い。



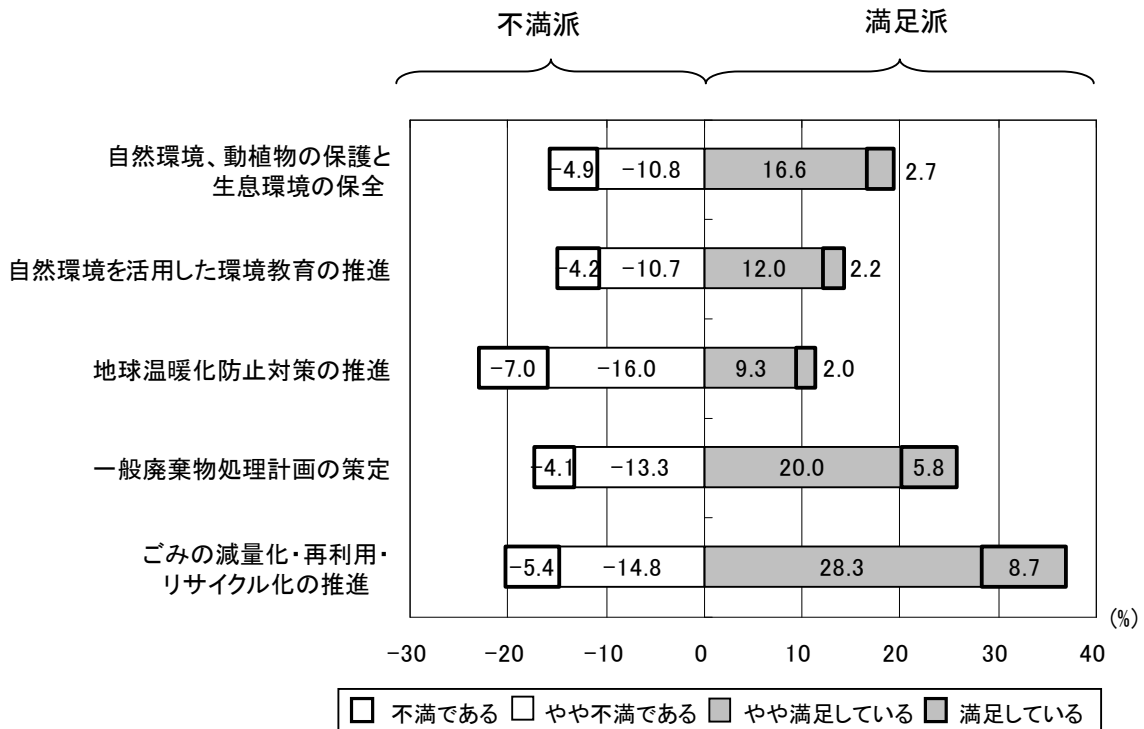
■ 満足度 ■

[基本集計]

満足派 = 「満足している」 + 「やや満足している」

不満派 = 「不満である」 + 「やや不満である」

- ◇ 5項目の満足度については、満足派が上回っているものと不満派が上回っているものとに分かれている。
- ◇ 満足派についてみてみると、「ごみの減量化・再利用・サイクル化の推進」が37.0%と最も多く、次いで「一般廃棄物処理計画の策定」が25.8%となっている。
- ◇ 一方、不満派についてみてみると、「地球温暖化防止対策の推進」が-23.0%で最も多く、次いで「ごみの減量化・再利用・リサイクル化の推進」が-20.2%となっている。



問 10 健やかさがはじけ、笑顔がひろがるまち

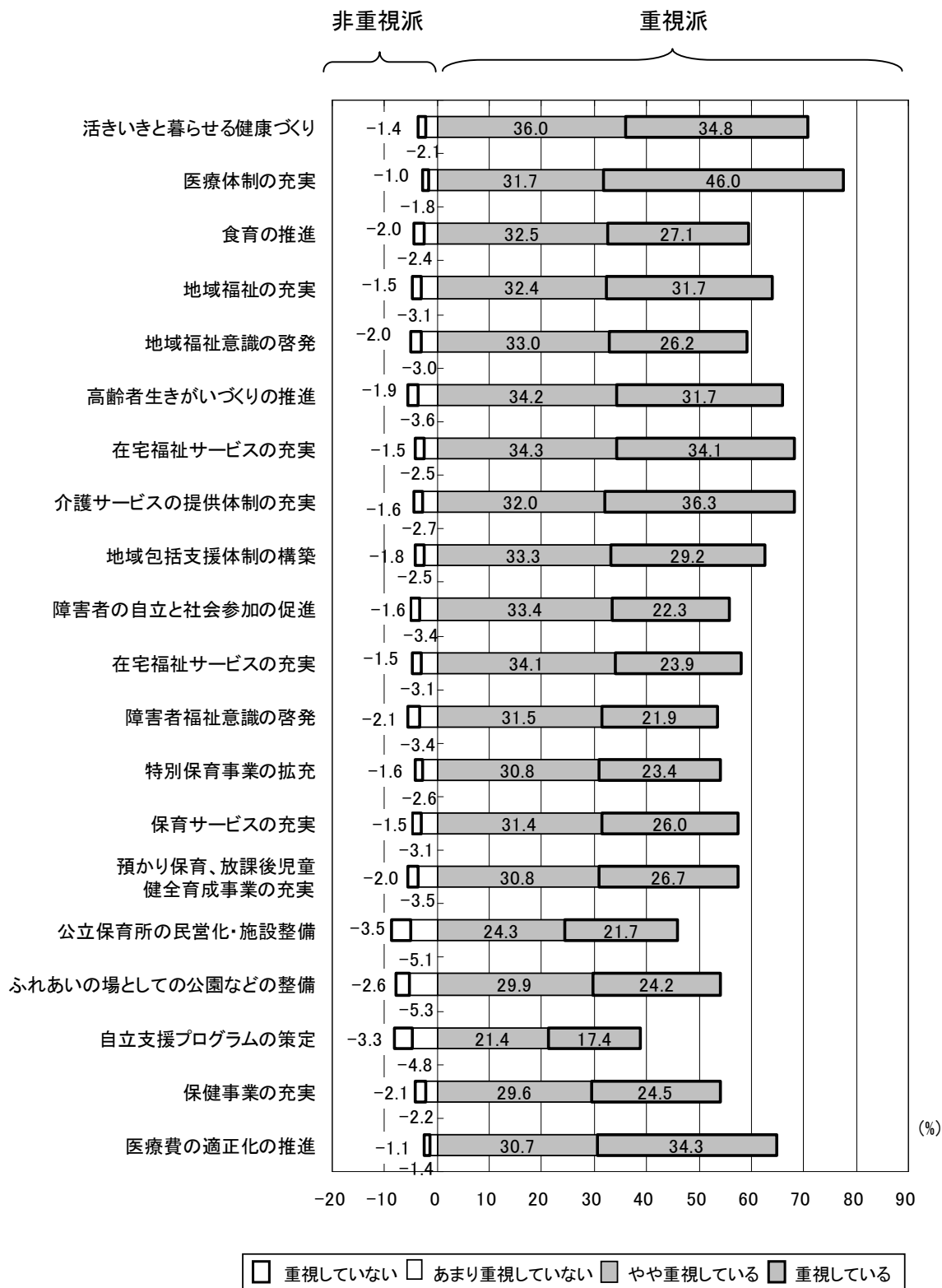
■ 重要度 ■

[基本集計]

重視派＝「重視している」＋「やや重視している」

非重視派＝「重視していない」＋「あまり重視していない」

- ◇ 20項目の重要度については、全ての項目について非重視派は極めて少なく、重視派が多くなっている。
- ◇ その重視派の中でみると、「医療体制の充実」が77.7%で最も多く、次いで「生きいきと暮らせる健康づくり」が70.8%となっている。



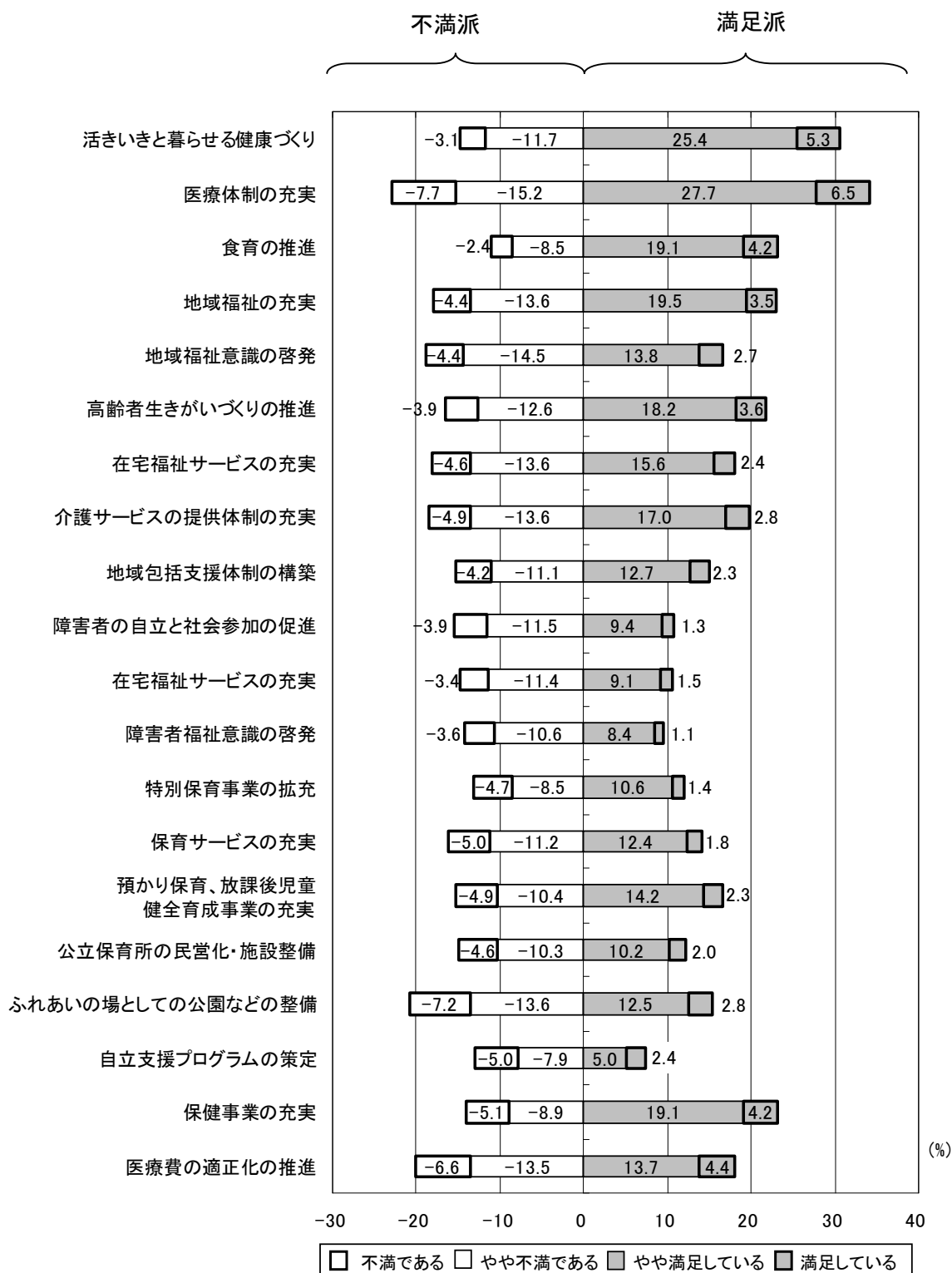
■ 満足度 ■

[基本集計]

満 足 派 = 「満足している」 + 「やや満足している」

不 満 派 = 「不満である」 + 「やや不満である」

- ◇ 20 項目の満足度については、満足派と不満派が比較的拮抗している。
- ◇ 満足派についてみると、「医療体制の充実」が 34.2%と最も多く、次いで「活きいきと暮らせる健康づくり」が 30.7%となっている。
- ◇ 一方、不満派についてみると、「医療体制の充実」が－22.9%で最も多く、次いで「ふれいあいの場としての公園などの整備」が－20.8%となっている。



問 11 豊かな心、広い視野、地域文化を育むまち

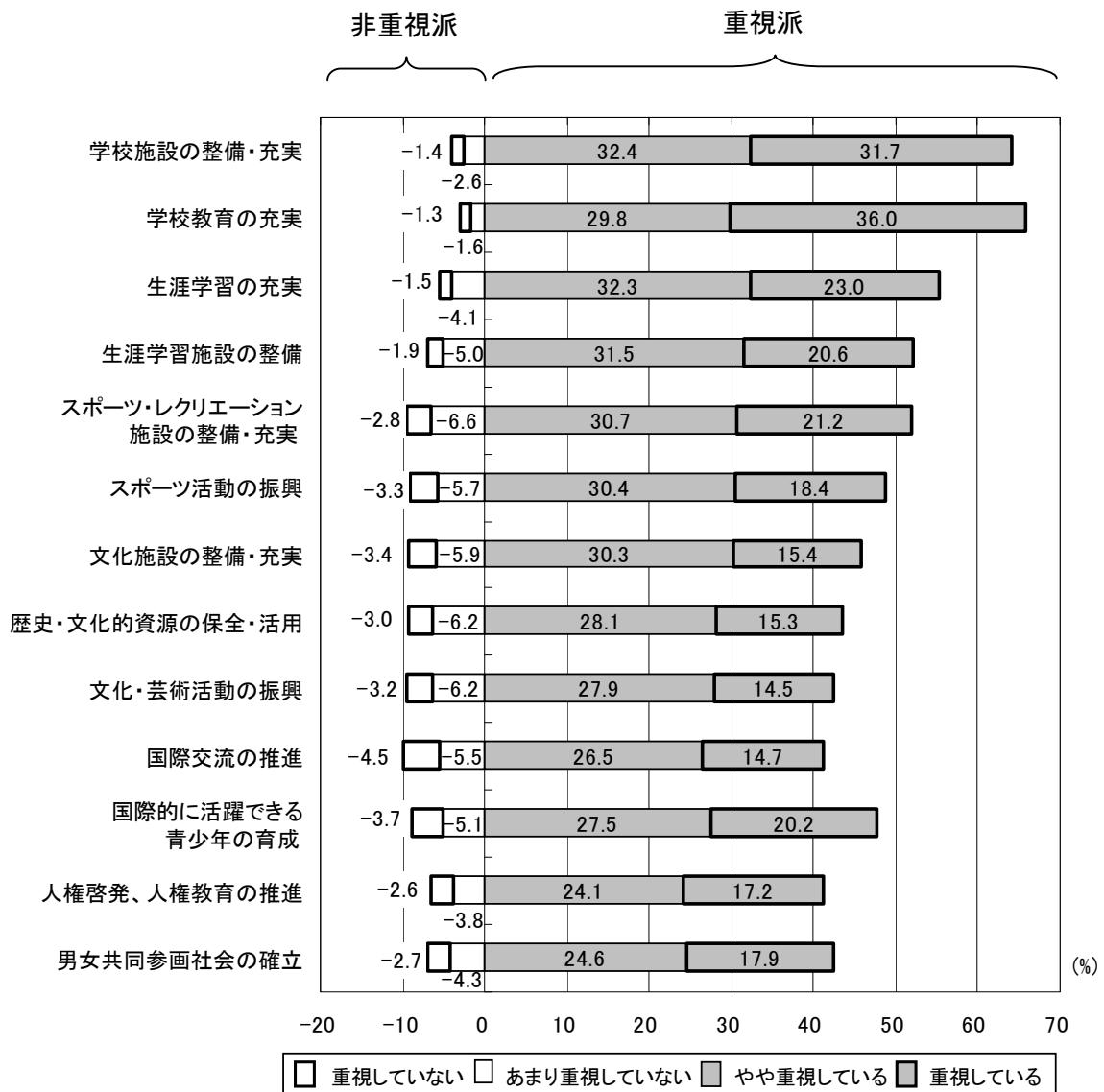
■ 重要度 ■

[基本集計]

重視派 = 「重視している」 + 「やや重視している」

非重視派 = 「重視していない」 + 「あまり重視していない」

- ◇ 13項目の重要度については、全ての項目について非重視派は極めて少なく、重視派が多くなっている。
- ◇ その重視派の中でみると、「学校教育の充実」が65.8%で最も多く、次いで「学校施設の整備・充実」が64.1%となっている。



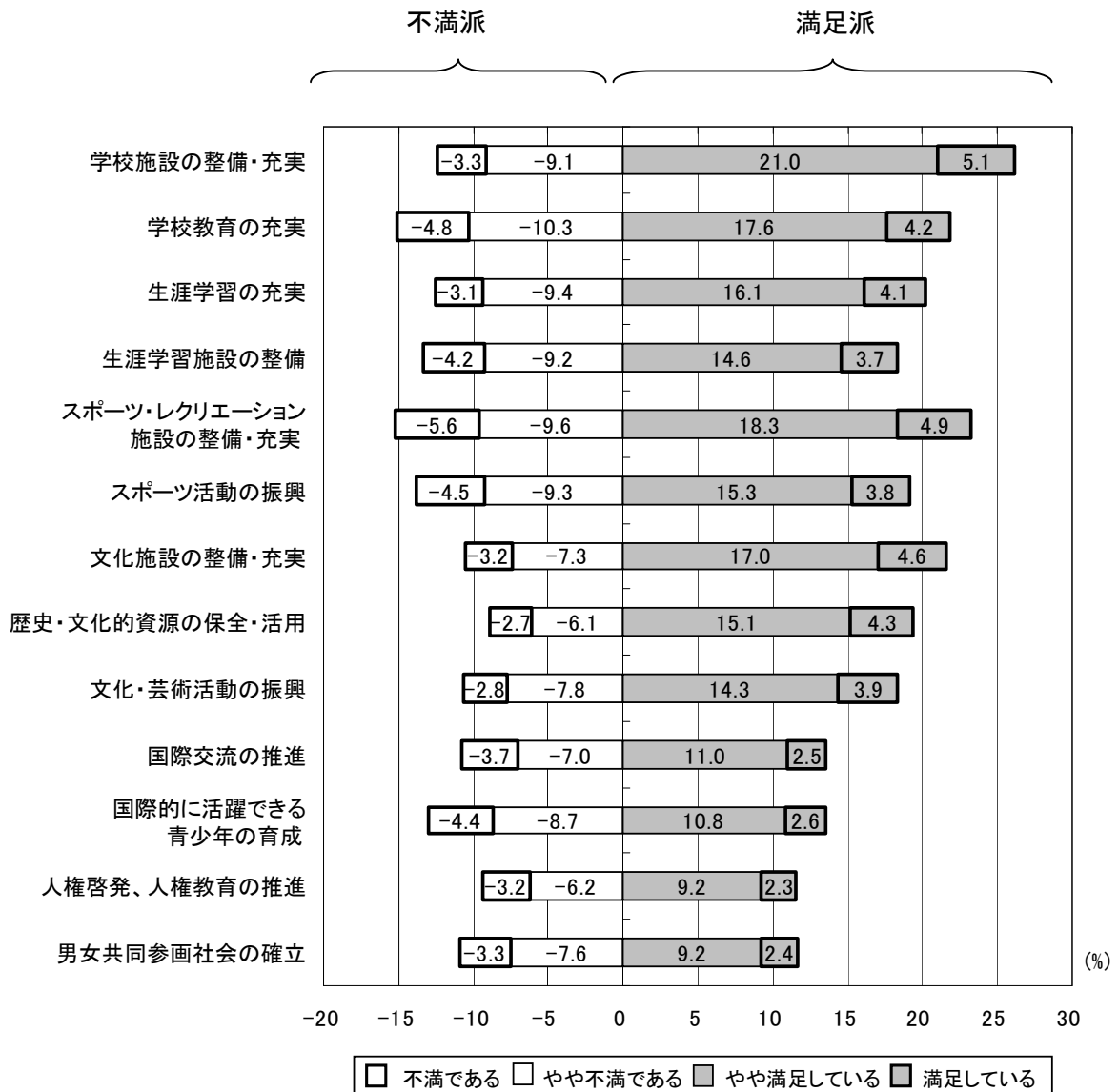
■ 満足度 ■

[基本集計]

満 足 派 = 「満足している」 + 「やや満足している」

不 満 派 = 「不満である」 + 「やや不満である」

- ◇ 13項目の満足度については、全ての項目で満足派の方が上回っているものの、不満派と拮抗している項目もみられる。
- ◇ 満足派についてみてみると、「学校施設の整備・充実」が26.1%で最も多く、次いで「スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実」が23.2%となっている。
- ◇ 一方、不満派についてみてみると、全ての項目が-10%前後となっているが、「スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実」が-15.2%で最も多く、次いで「学校教育の充実」が-15.1%となっている。



問 12 市民、グループや組織の活動が生きいき輝くまち

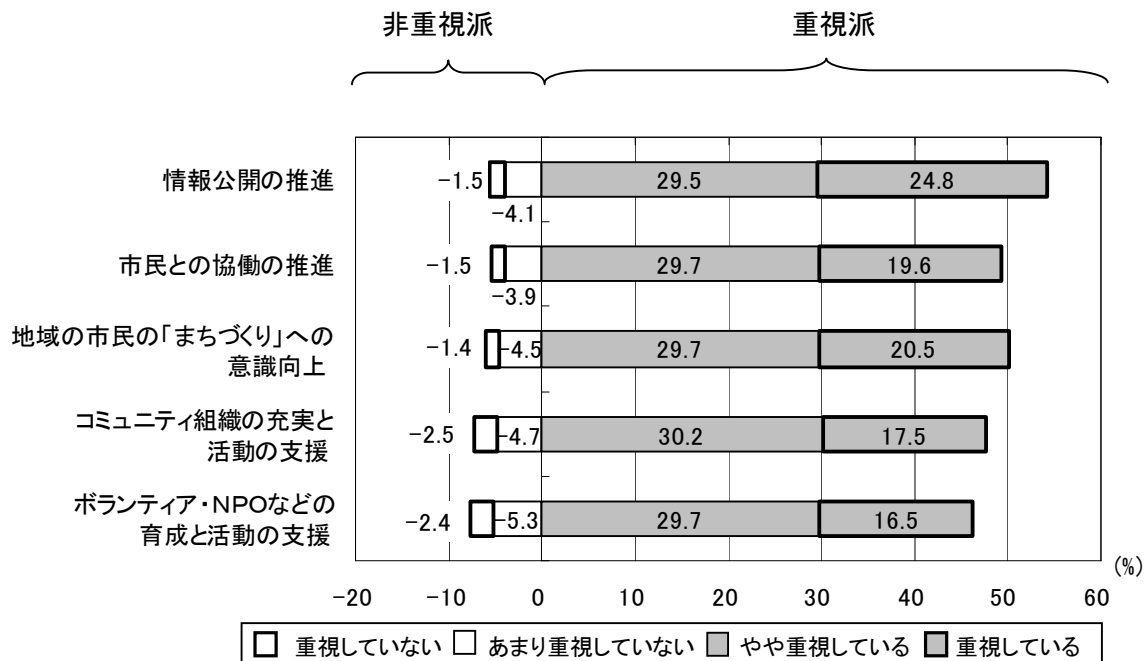
■ 重要度 ■

[基本集計]

重視派 = 「重視している」 + 「やや重視している」

非重視派 = 「重視していない」 + 「あまり重視していない」

- ◇ 5項目の重要度については、全ての項目について、非重視派は極めて少なく、重視派が多くなっている。
- ◇ その重視派の中でみると、全ての項目で50%前後となっており、最も多いのは「情報公開の推進」が54.3%となっている。



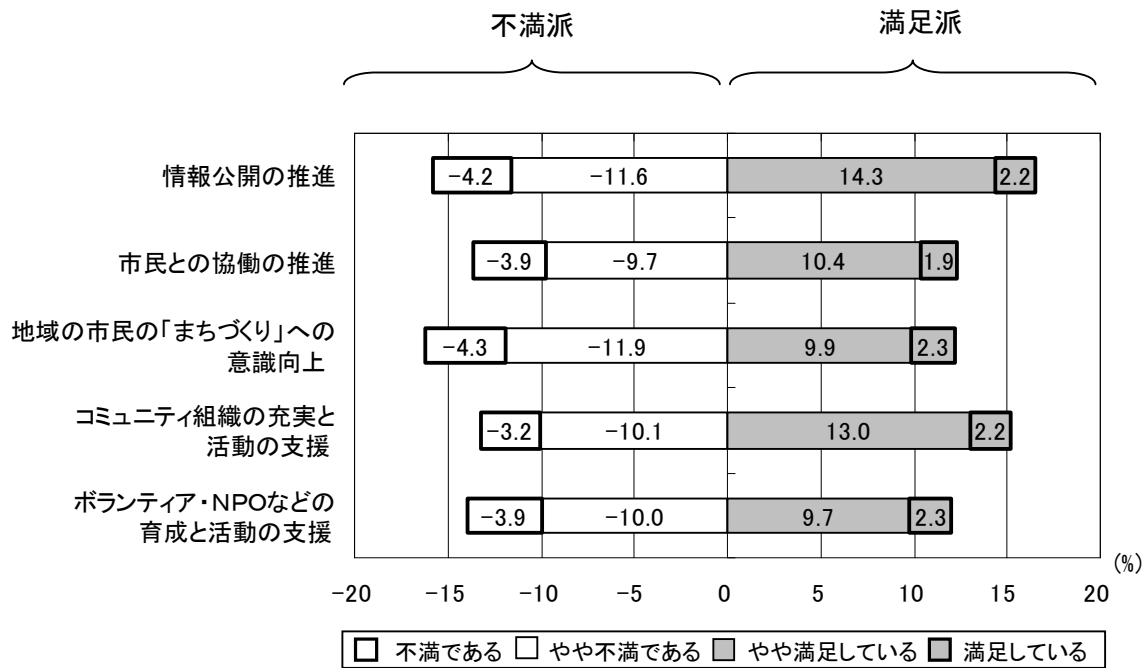
■ 満足度 ■

[基本集計]

満 足 派 = 「満足している」 + 「やや満足している」

不 満 派 = 「不満である」 + 「やや不満である」

- ◇ 5項目の満足度については、全ての項目について、満足派と不満派が拮抗している。
- ◇ 満足派についてみると、「情報公開の推進」が16.5%で最も多く、次いで「コミュニティ組織の充実と活動の支援」が15.2%となっている。
- ◇ 一方、不満派についてみると、「地域の市民の「まちづくり」への意識向上」が-16.2%で最も多く、次いで「情報公開の推進」が-15.8%となっている。



問 13 効率的で機動的な行財政の運営

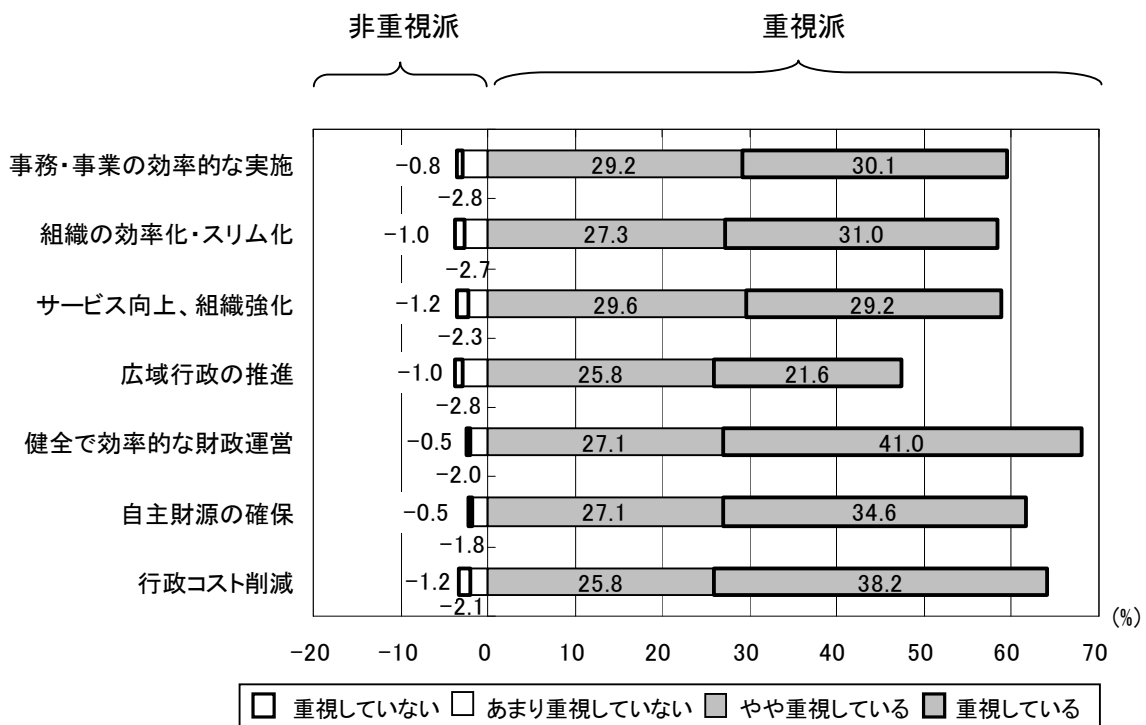
■ 重要度 ■

[基本集計]

重視派 = 「重視している」 + 「やや重視している」

非重視派 = 「重視していない」 + 「あまり重視していない」

- ◇ 7項目の重要度については、全ての項目について非重視派は極めて少なく、重視派が多くなっている。
- ◇ その重視派の中でみると、7つの項目とも重視派の割合は概ね同じ程度となっているが、最も多いのは「健全で効率的な財政運営」が68.1%となっている。



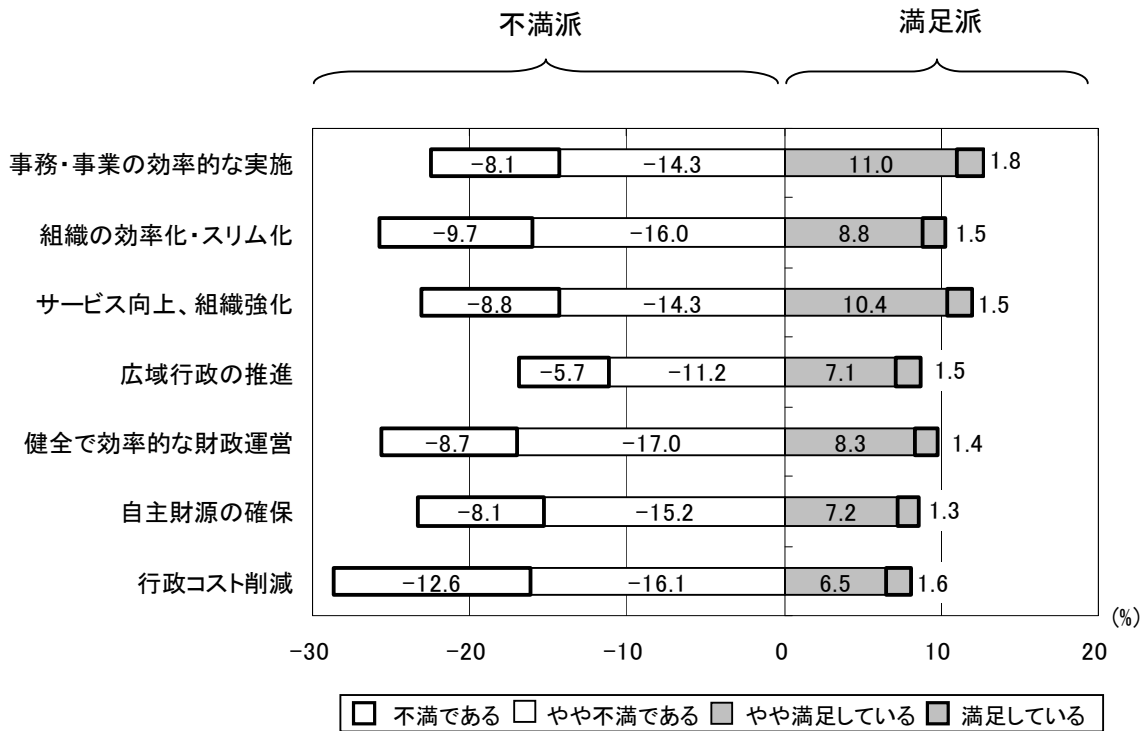
■ 満足度 ■

[基本集計]

満 足 派 = 「満足している」 + 「やや満足している」

不 満 派 = 「不満である」 + 「やや不満である」

- ◇ 7項目の満足度については、全ての項目について、不満派の方が多くなっている。
- ◇ その不満派の中でみると、「行政コスト削減」が-28.7%で最も多くなっている。



問 14 浅口市の特性や自慢できるもの

- ◇ 524 人からの回答があったが、具体的に特性や自慢できるものが明記されているのは 517 件であった。最も多かった回答は瀬戸内海や遙照山に象徴される「自然環境」(99 件) で、次いで「うどんやそうめんなどの麺類」(75 件) となっている。

分類	キーワード	件数
都市基盤系	交通アクセス	16
	利便性が高い立地条件	10
	(小計)	26
産業系	農産物 (果実・桃・柿・梨)	25
	魚、海産物	47
	うどんやそうめんなどの麺類	75
	植木	18
	その他特産品 (酒、水等)	26
	(小計)	191
生活環境系	住みやすい生活環境	16
	防犯・防災等	2
	スポーツ施設や温泉等	6
	(小計)	24
自然環境系	自然環境	99
	穏やかな気候	29
	アッケシソウ	7
	ふるさと・田舎	5
	(小計)	140
保健・医療・福祉系	子育て支援等を含めた保健・医療・福祉	9
	(小計)	9
教育文化系	天文台	34
	歴史・文化・交流	29
	教育	12
	(小計)	75
市民自治系	人 (温かい人柄、元気な子どもや高齢者等)	10
	(小計)	10
その他	宗教 (金光教)	19
	その他	23
	(小計)	42
合 計		517

第2項 自由意見

- ◇ 424人からの回答があり、提案等の件数は559件となっている。“都市基盤系”、“保健・福祉・医療系”、“行財政系”に関する意見が多くでている。

分類	内容	件数
都市基盤系	港口ふれあい号の見直し・充実	28
	JR鴨方駅周辺の魅力強化	17
	公共交通機関の整備	10
	道路の整備促進	14
	公園・緑地の整備	7
	適正な開発・土地利用の推進	13
	河川・海岸の保全・整備	1
	(小計)	90
産業系	観光レクリエーション・イベントの振興	22
	農林・水産業の振興	7
	雇用対策・企業誘致の促進	16
	商工業の振興	18
	その他産業振興策の展開	3
	(小計)	66
生活環境系	消防・防災、防犯・交通安全の促進	22
	ごみ・し尿・リサイクル対策の促進	10
	生活環境の整備充実	3
	上・下水道の整備	6
(小計)	41	
自然環境系	自然環境の保全・活用	8
	(小計)	8
保健・福祉・医療系	児童福祉・子育て支援の充実	31
	保健・医療の充実	9
	高齢者福祉の充実	37
	地域福祉の推進	10
	障害者福祉の充実	4
	その他の福祉施策の充実	9
	(小計)	100
教育文化系	教育施設・内容の充実	13
	文化・芸術活動の促進と施設の整備充実	9
	スポーツ活動の促進と施設の整備充実	5
	国際・地域間・地域内交流の促進	1
(小計)	28	
行財政系	現在のまちづくりや行政対応に対する好評価	19
	住民との連携強化	15
	計画的な行財政の運営	36
	住民サービスの充実と住民負担の軽減	21
	職員の資質の向上や適正配置	20
	合併効果の促進や新たな合併	16
	議員の削減や資質の向上	13
	(小計)	140
その他	3地域毎の活性化対策	25
	魅力や個性あるまちづくりの推進	29
	アンケート調査自体に対する不満等	10
	その他	22
	(小計)	86
合計		559

第3項 市民満足度評価の分析

本項では、現行計画である『前期基本計画』で掲げた各施策に対する重要度・満足度（問6～13）の集計結果の点数化により、CS（Citizen Satisfaction＝市民満足度）分析を行う。

点数化は、次表のルールに基づき、これを行う。

重要度	満足度	点数化	処理
重視している	満足している	3点	重要度、満足度それぞれについて、合計点数を対象サンプル数で除して平均値を算出
やや重視している	やや満足している	1点	
どちらともいえない	どちらともいえない	0点	
あまり重視していない	やや不満である	-1点	
重視していない	不満である	-3点	
不明	不明	除外	

【計算例】

<回答結果>

重視している(満足している)	10 サンプル
やや重視している(やや満足している)	20
どちらともいえない(どちらともいえない)	50
あまり重視していない(やや不満である)	30
重視していない(不満である)	15
合計	125

<計算式>

$$\begin{aligned} & \left[(10 \text{ サンプル} \times 3) + (20 \text{ サンプル} \times 1) + (50 \text{ サンプル} \times 0) \right. \\ & \left. + (30 \text{ サンプル} \times -1) + (15 \text{ サンプル} \times -3) \right] / 125 = -0.20 \end{aligned}$$

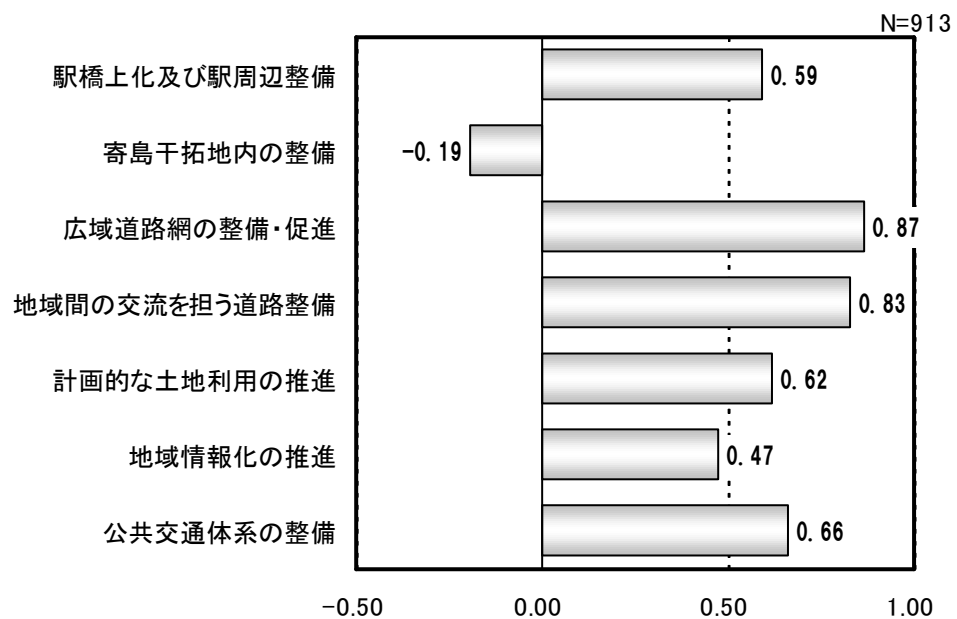
CS分析の結果に基づき、基本的には次に示すような解釈が可能である。

- 重要度が高く、満足度も高い対象項目 ⇒ 現状維持を図るべき項目
- 重要度が高く、満足度が低い対象項目 ⇒ 重点化により、
高い投資効果が期待される項目
- 重要度が低く、満足度が高い対象項目 ⇒ 現状維持で十分な項目
- 重要度が低く、満足度も低い対象項目 ⇒ 重点化の必要はあるが、
投資効果は低い項目

1 暮らし、経済、交流が都市基盤に支えられるまち（問6）

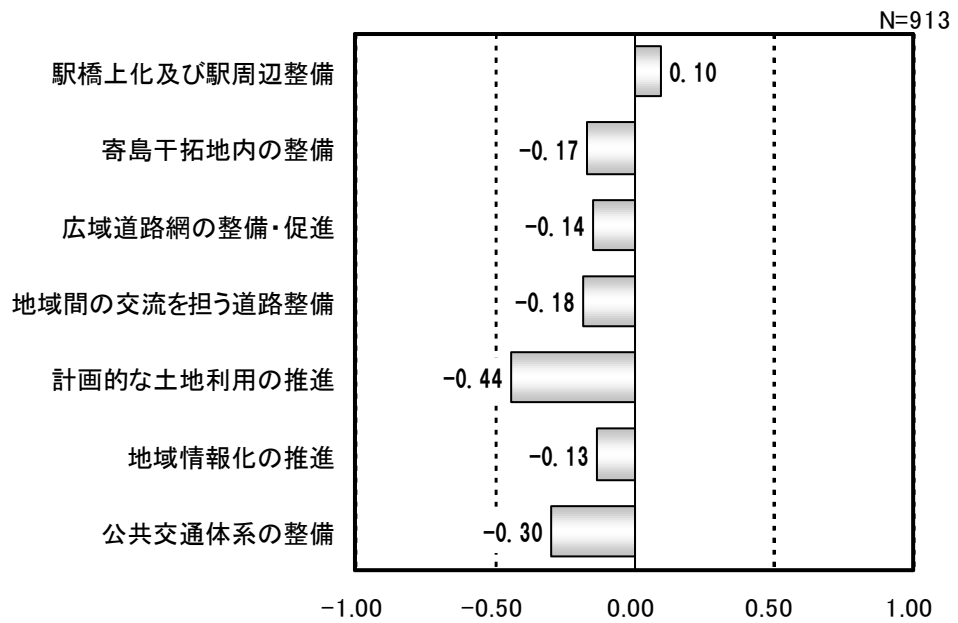
【重要度の点数化】

- ◇ 「広域道路網の整備・促進」に対する重要度が0.87と最も高く、次いで「地域間の交流を担う道路整備」0.83、「公共交通体系の整備」0.66、となっている。
- ◇ 「寄島干拓地内の整備」だけは、-0.19と、重要度からみると低い評価となっている。



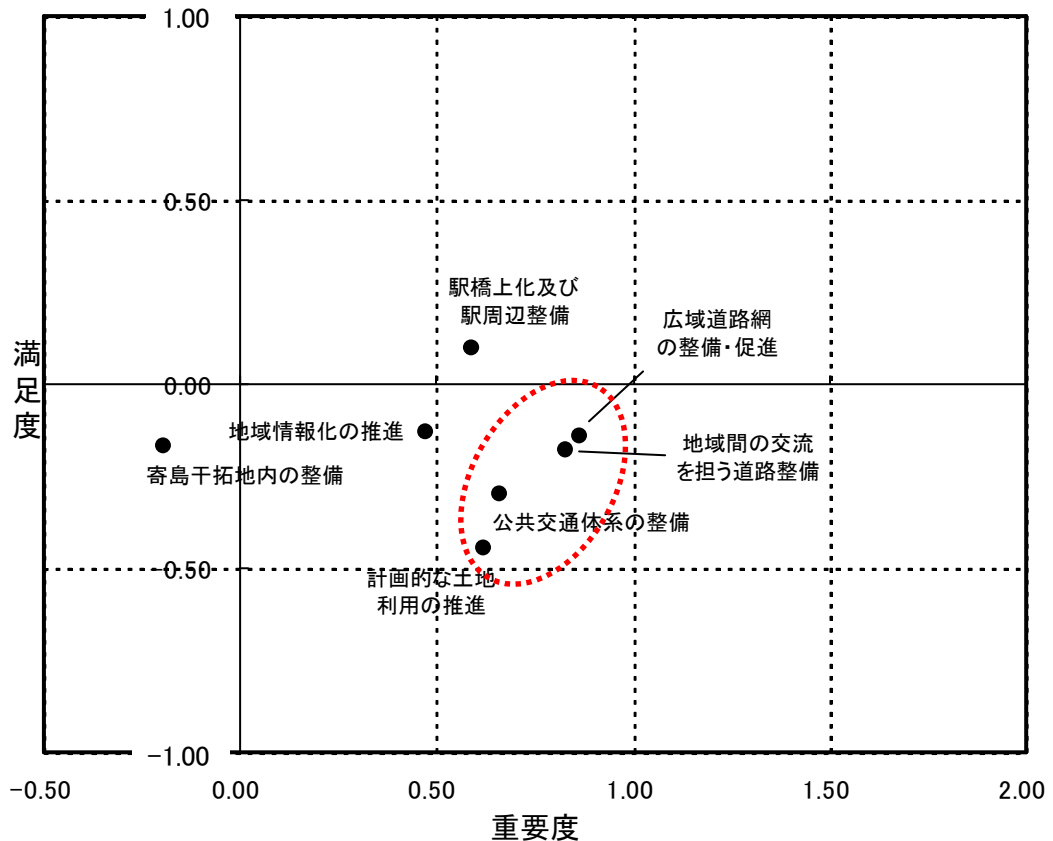
[満足度の点数化]


- ◇ 「駅橋上化及び駅周辺整備」以外は、全ての項目においてマイナス評価である。
- ◇ その中では、「計画的な土地利用の推進」が-0.44 と最も低く、次いで「公共交通体系の整備」が-0.30 と低い評価になっている。



【CS分析】

- ◇ 重要度及び満足度について、これらの指標を軸とする直行座標面に展開すると次のとおりである。
- ◇ これからみると、重要度が高いのは「広域道路網の整備・促進」及び「地域間の交流を担う道路整備」であるが、満足度でみると「±0」に比較的近い。
- ◇ また、「駅橋上化及び駅周辺整備」については、JR鴨方駅の橋上化及び駅前広場整備がなされたこともあり、満足度は唯一プラス評価となっている。



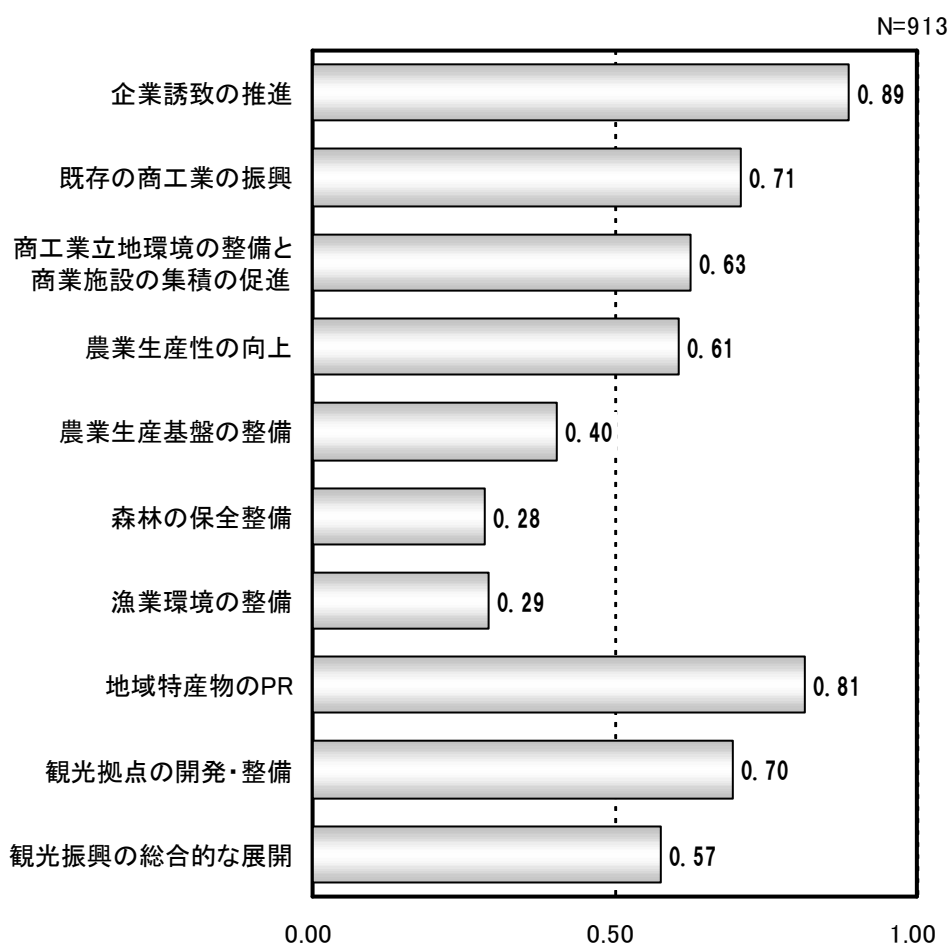
<注>上記グラフの中の  表示は、相対的にみて、重要度が高く満足度が低い施策群であり、今後重点的な対応を行うことが望ましいと思われるものである。

以下の「CS分析」のグラフにも該当する施策群がみられる場合は、同じ表示を行っている。

2 資源を活かし、活力を育てる産業のまち（問7）

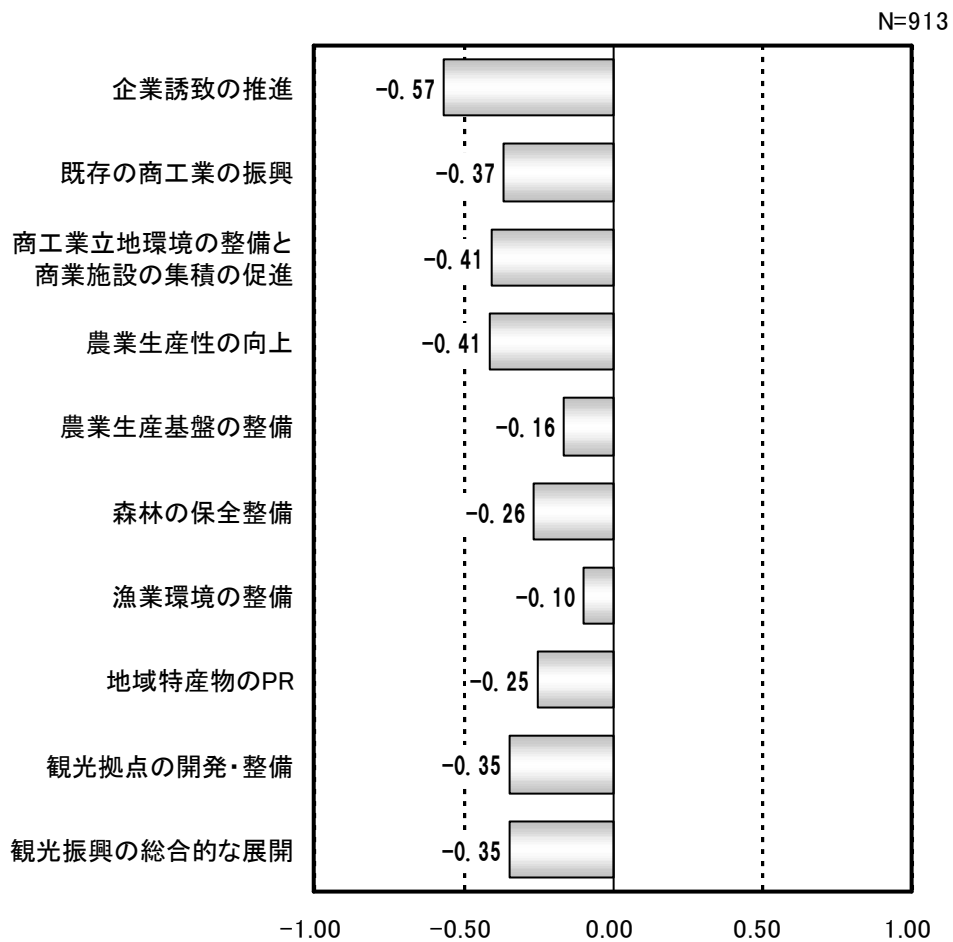
〔重要度の点数化〕

- ◇ 「企業誘致の推進」に対する重要度が 0.89 と最も高く、次いで「地域特産物のPR」が 0.81、「既存の商工業の振興」が 0.71、「観光拠点の開発・整備」が 0.70 となっている。



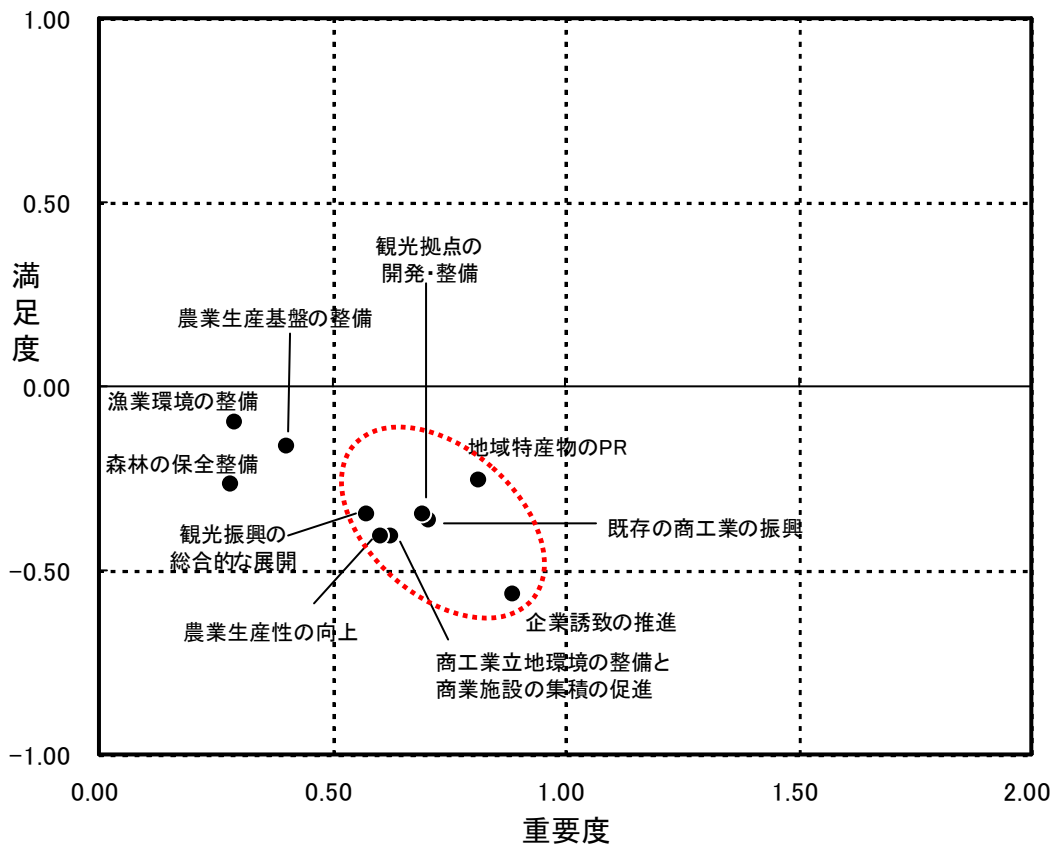
[満足度の点数化]

- ◇ すべての項目においてマイナス評価である。
- ◇ その中では、「企業誘致の推進」が-0.57 と最も低く、次いで「商工業立地環境の整備と商業施設の集積の促進」と「農業生産性の向上」が共に-0.41 と低い評価になっている。



【CS分析】

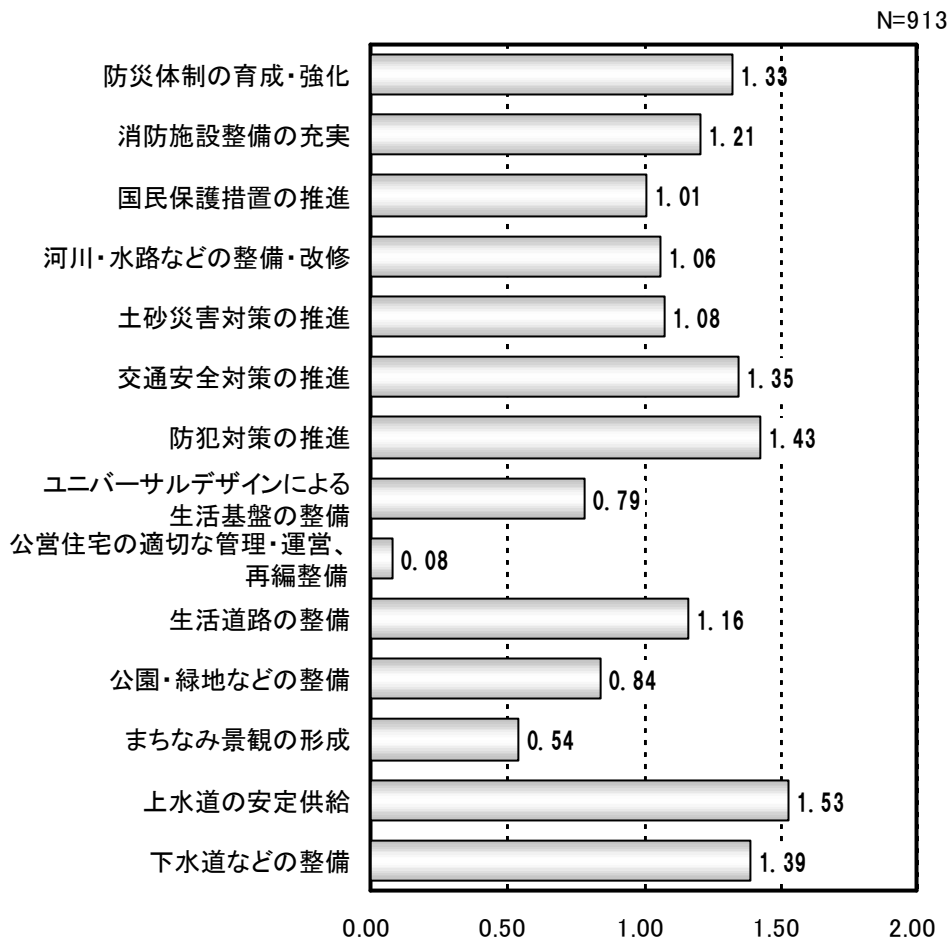
- ◇ 重要度及び満足度について、これらの指標を軸とする直行座標面に展開すると次のとおりである。
- ◇ これからみると、重要度が最も高いのに満足度は最も低いものが「企業誘致の推進」となっている。
- ◇ また、産業全体として捉えると、一次産業より二次・三次（観光を含む）産業群が、重要度は高いが、満足度は低くなっている。



3 安全・安心、ゆとりある生活のまち（問8）

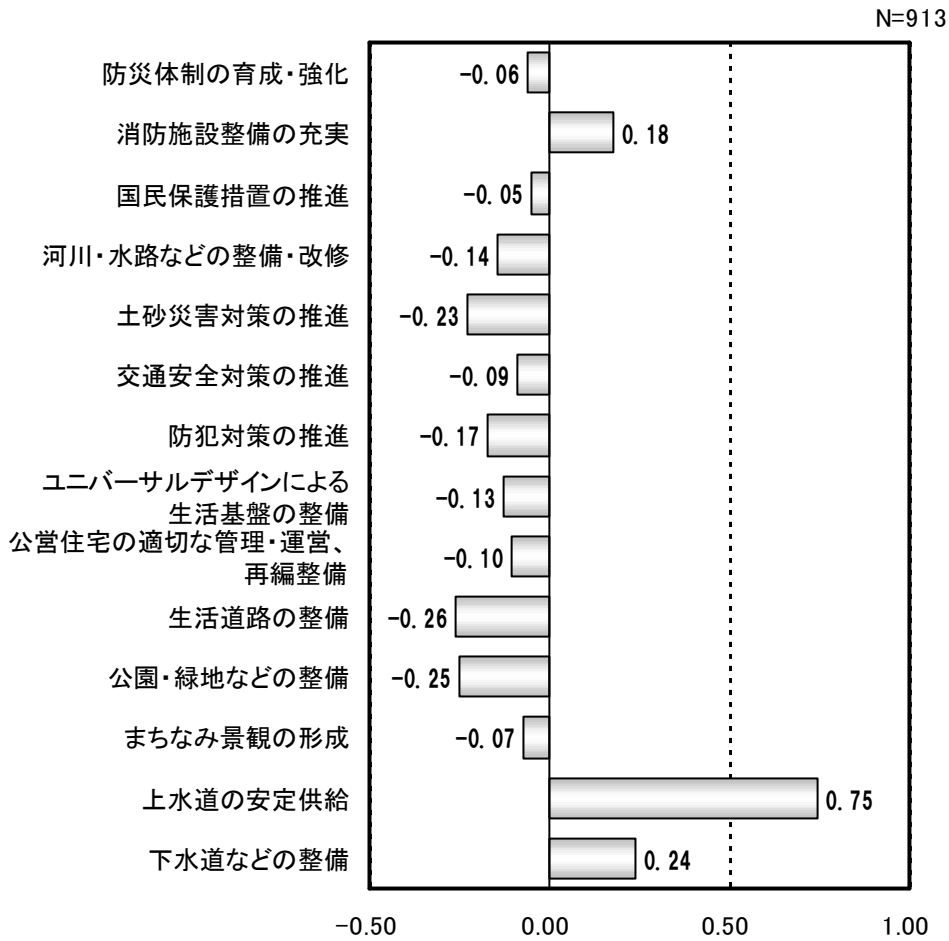
[重要度の点数化]

- ◇ 「上水道の安定供給」に対する重要度が 1.53 と最も高く、次いで「防犯対策の推進」が 1.43 となっている。



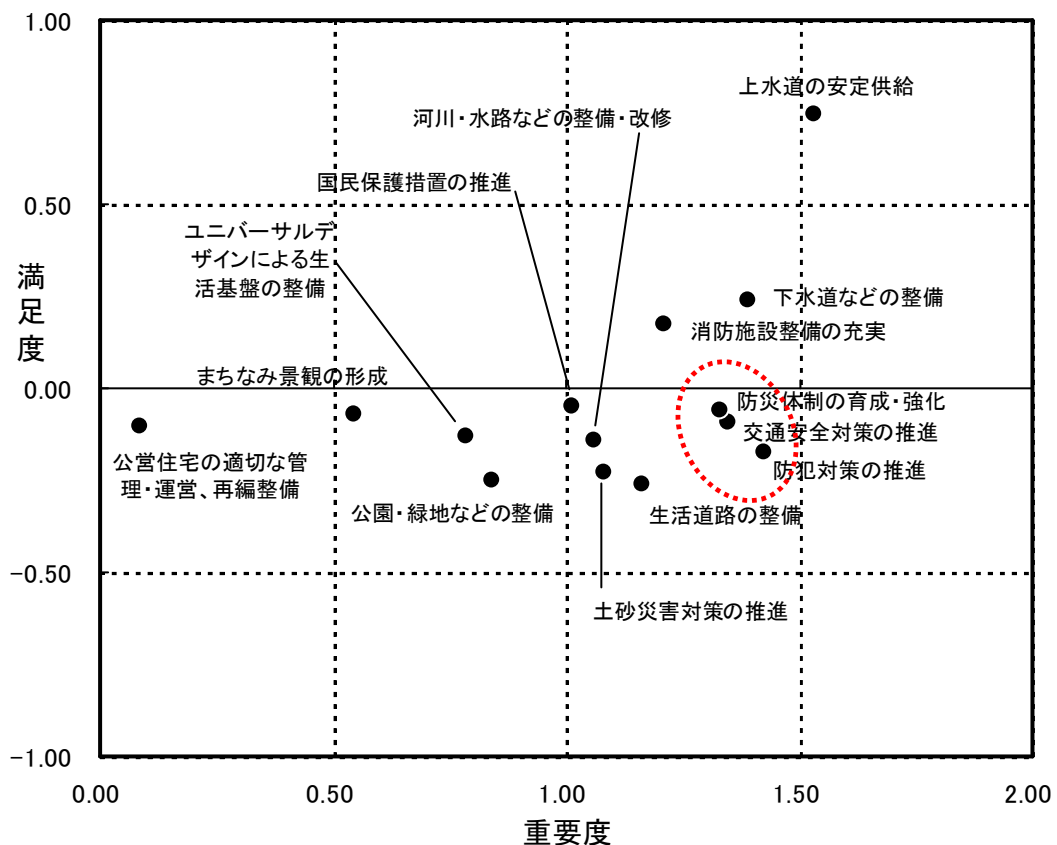
[満足度の点数化]

- ◇ 満足度がプラス評価のものが「上水道の安定供給」(0.75)、「下水道などの整備」(0.24)、「消防施設整備の充実」(0.18)と3つみられる。
- ◇ マイナス評価では、「生活道路の整備」が-0.26と最も低く、次いで「公園・緑地などの整備」(-0.25)、「土砂災害対策の推進」(-0.23)となっている。



[CS分析]

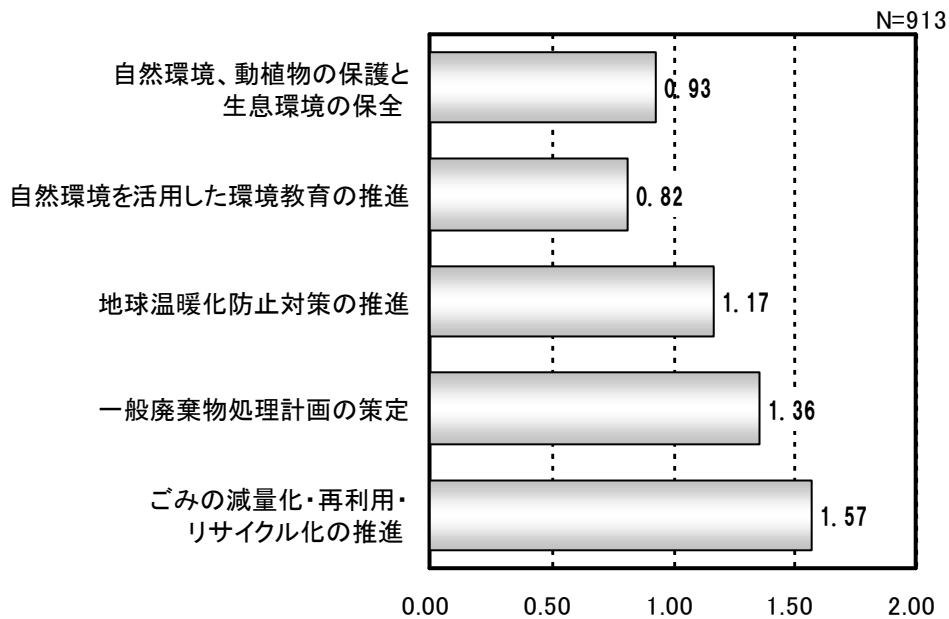
- ◇ 重要度及び満足度について、これらの指標を軸とする直行座標面に展開すると次のとおりである。
- ◇ これからみると、「上水道の安定供給」、「下水道などの整備」、「消防施設整備の充実」については、重要度は高いが満足度でプラスの評価を得ている。
- ◇ 一方、「防犯対策の推進」、「交通安全対策の推進」、「防災体制の育成・強化」については、重要度は高いが、満足度は比較的低くなっている。



4 自然、環境が大切にされ、活かされるまち（問9）

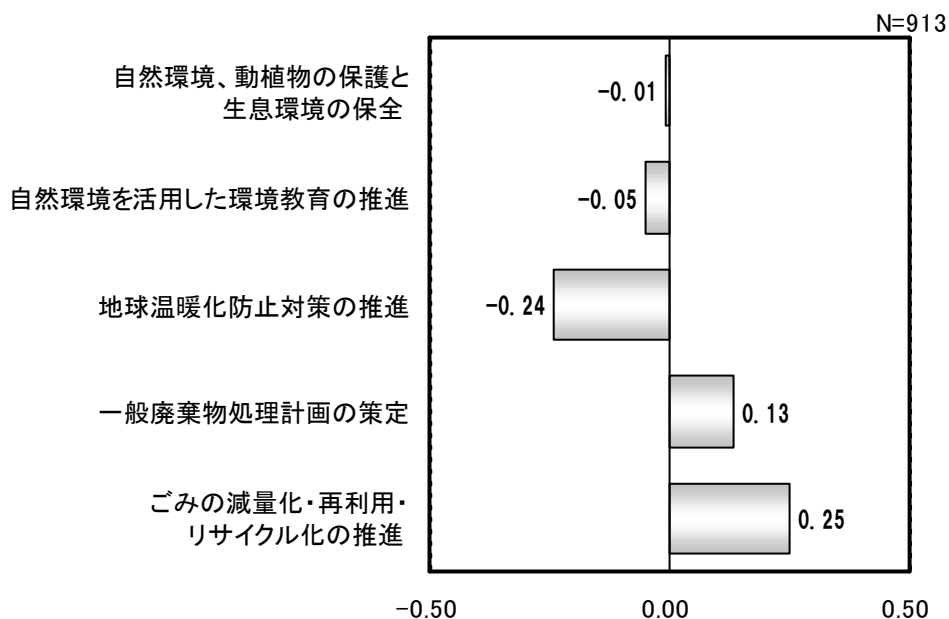
【重要度の点数化】

- ◇ 「ごみの減量化・再利用・リサイクル化の推進」に対する重要度が 1.57 と最も高く、次いで「一般廃棄物処理計画の策定」が 1.36 となっている。



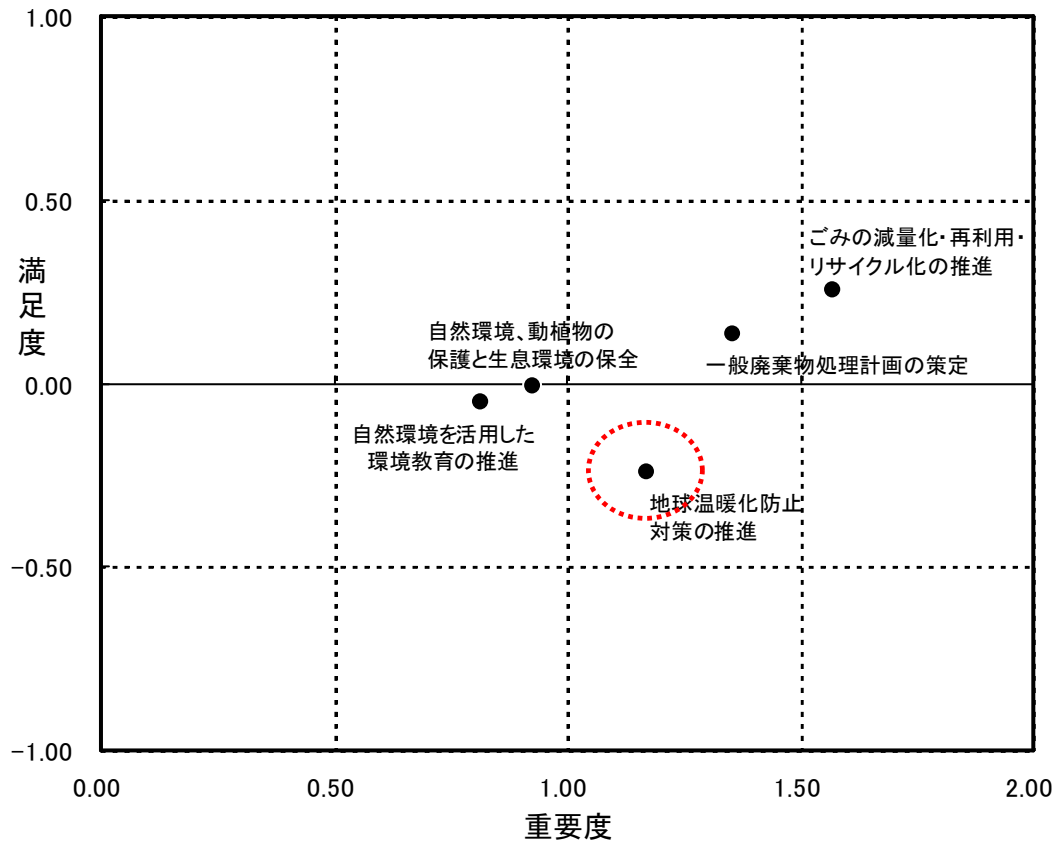
【満足度の点数化】

- ◇ 満足度がプラス評価のものが、「ごみの減量化・再利用・リサイクル化の推進」(0.25) と「一般廃棄物処理計画の策定」(0.13) となっている。
- ◇ マイナス評価では、「地球温暖化防止対策の推進」が -0.24 と最も低い評価になっている。



【CS分析】

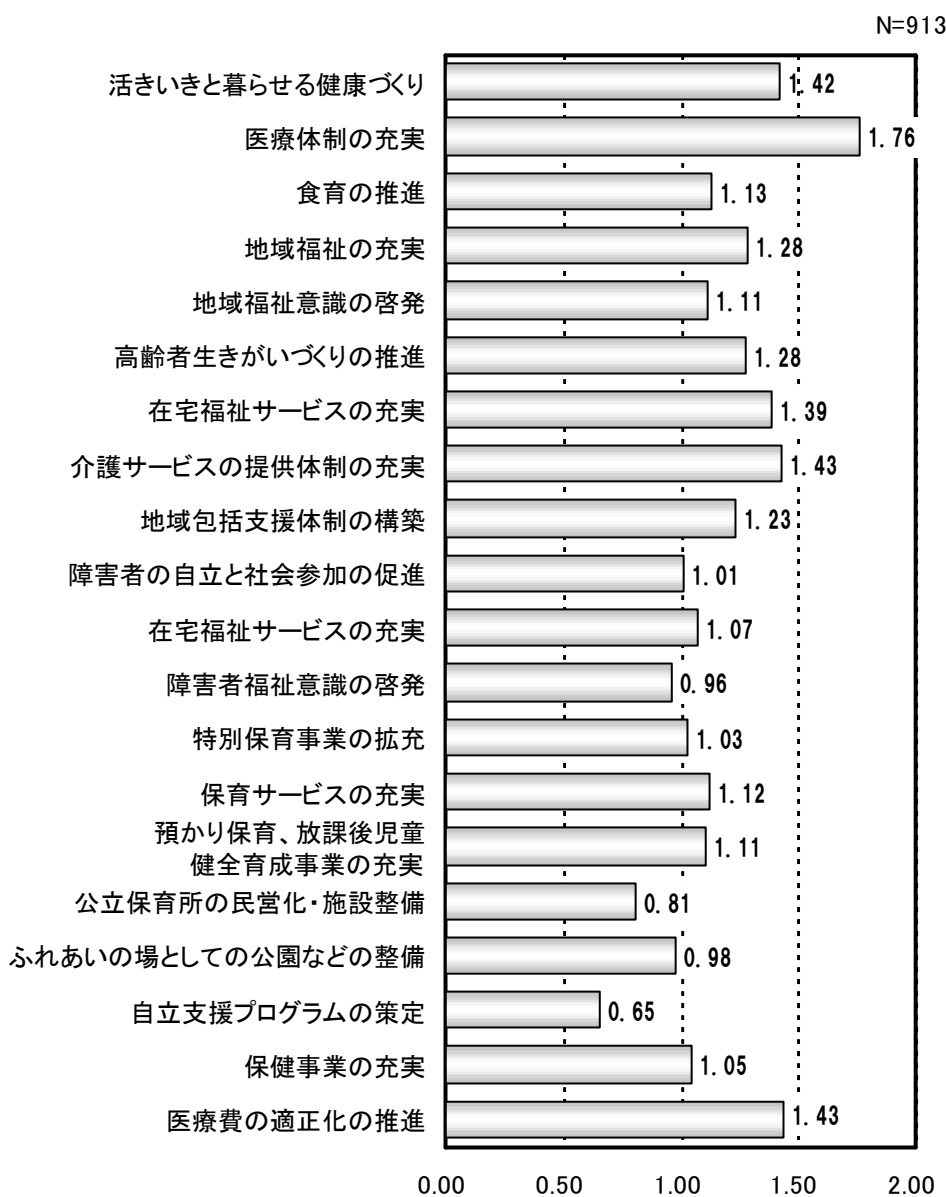
- ◇ 重要度及び満足度について、これらの指標を軸とする直行座標面に展開すると次のとおりである。
- ◇ これからみると、「ごみの減量化・再利用・リサイクル化の推進」と「一般廃棄物処理計画の策定」については、重要度は高いが満足度でプラスの評価を得ている。
- ◇ 「地球温暖化防止対策の推進」については、重要度は比較的高いが、満足度ではマイナス評価となっている。



5 健やかさがはじけ、笑顔がひろがるまち（問10）

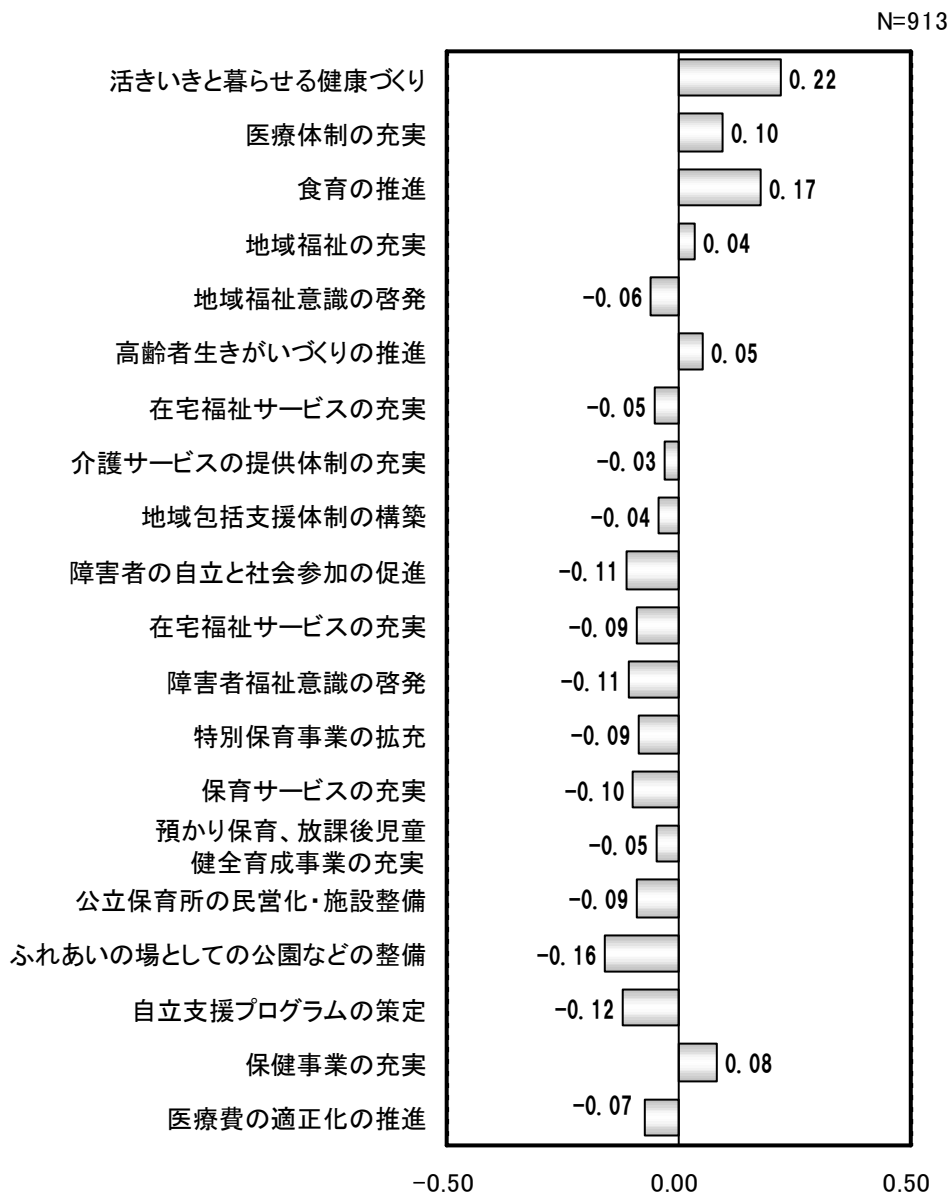
〔重要度の点数化〕

- ◇ このテーマについては、ほとんどの施策で重要度は高くなっている。
- ◇ その中で「医療体制の充実」に対する重要度が1.76と最も高く、次いで「介護サービス提供体制の充実」と「医療費の適正化の推進」が1.43、「生きいきと暮らせる健康づくり」が1.42となっている。



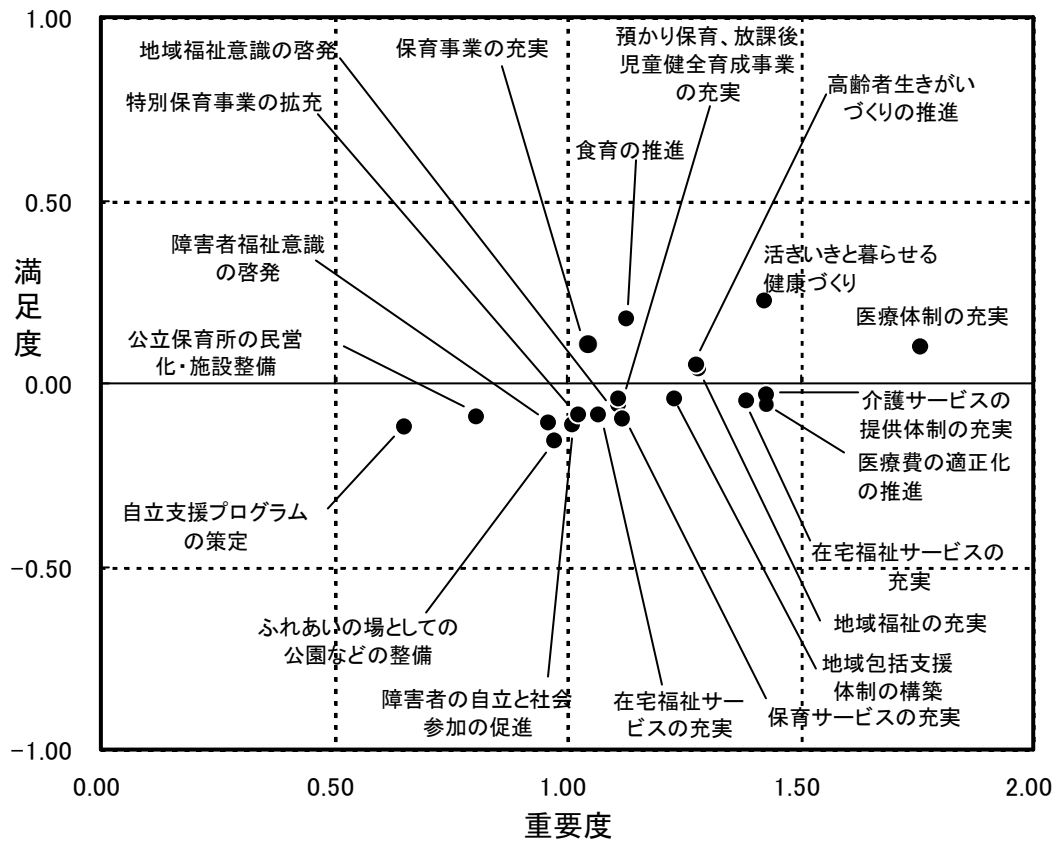
[満足度の点数化]

- ◇ 満足度がプラスの評価のものが、「活きいきと暮らせる健康づくり」(0.22)と「食育の推進」(0.17)、「医療体制の充実」(0.10)、「保健事業の充実」(0.08)、「高齢者生きがいがづくりの推進」(0.05)、「地域福祉の充実」(0.04)となっている。
- ◇ マイナス評価では、「ふれあいの場としての公園などの整備」が-0.16と最も低い評価になっている。



[CS分析]

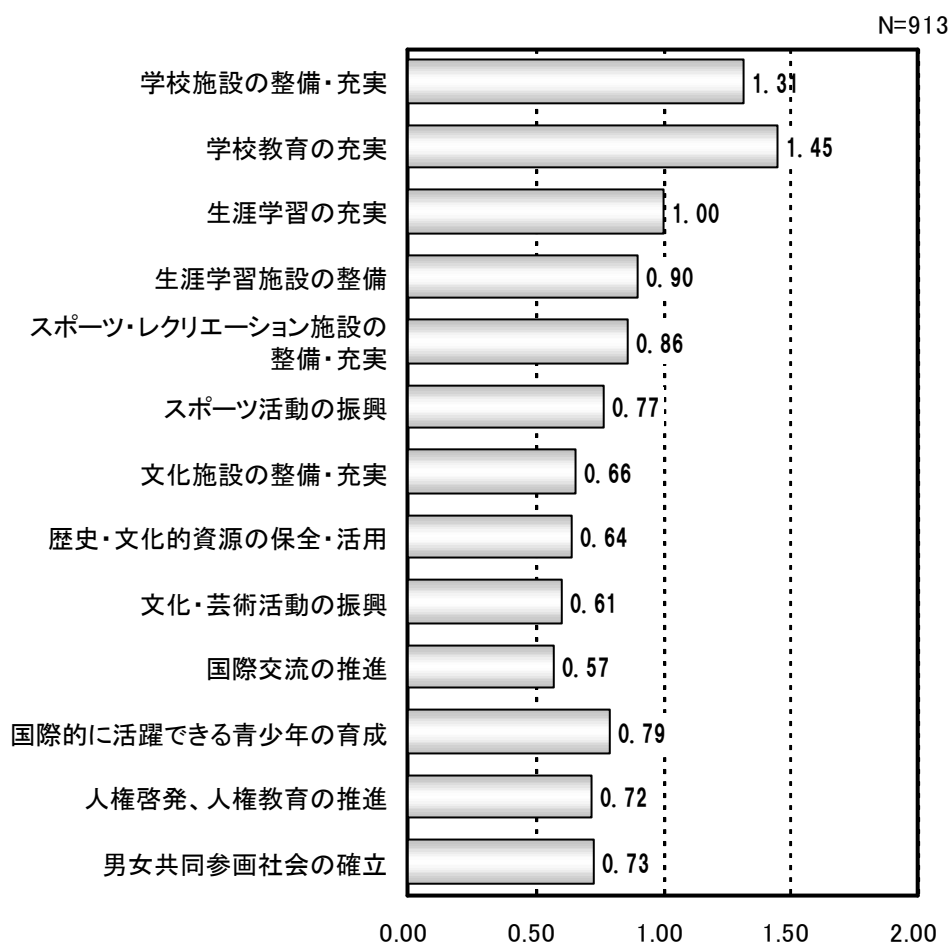
- ◇ 重要度及び満足度について、これらの指標を軸とする直行座標面に展開すると次のとおりである。
- ◇ これからみると、重要度はいずれも高くはなっているが、満足度が極端に低いものも概して少ない。



6 豊かな心、広い視野、地域文化を育むまち（問11）

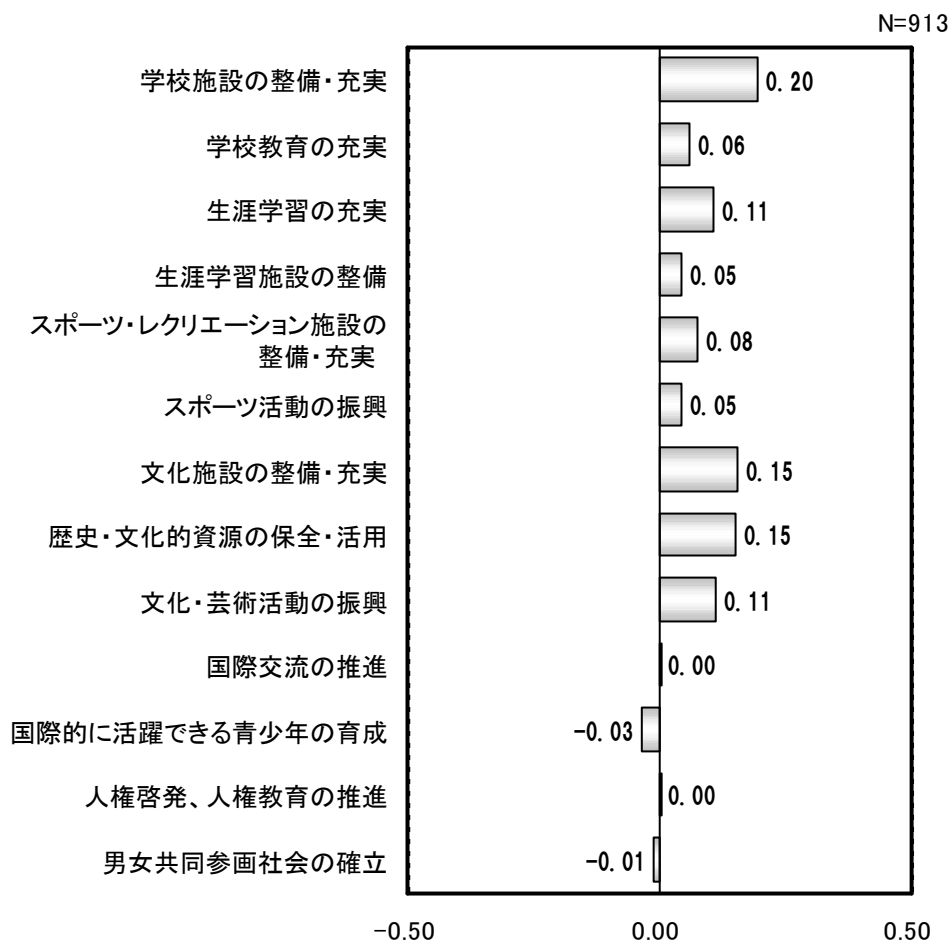
【重要度の点数化】

- ◇ 「学校教育の充実」に対する重要度が 1.45 と最も高く、次いで「学校施設の整備・充実」が 1.31 となっている。



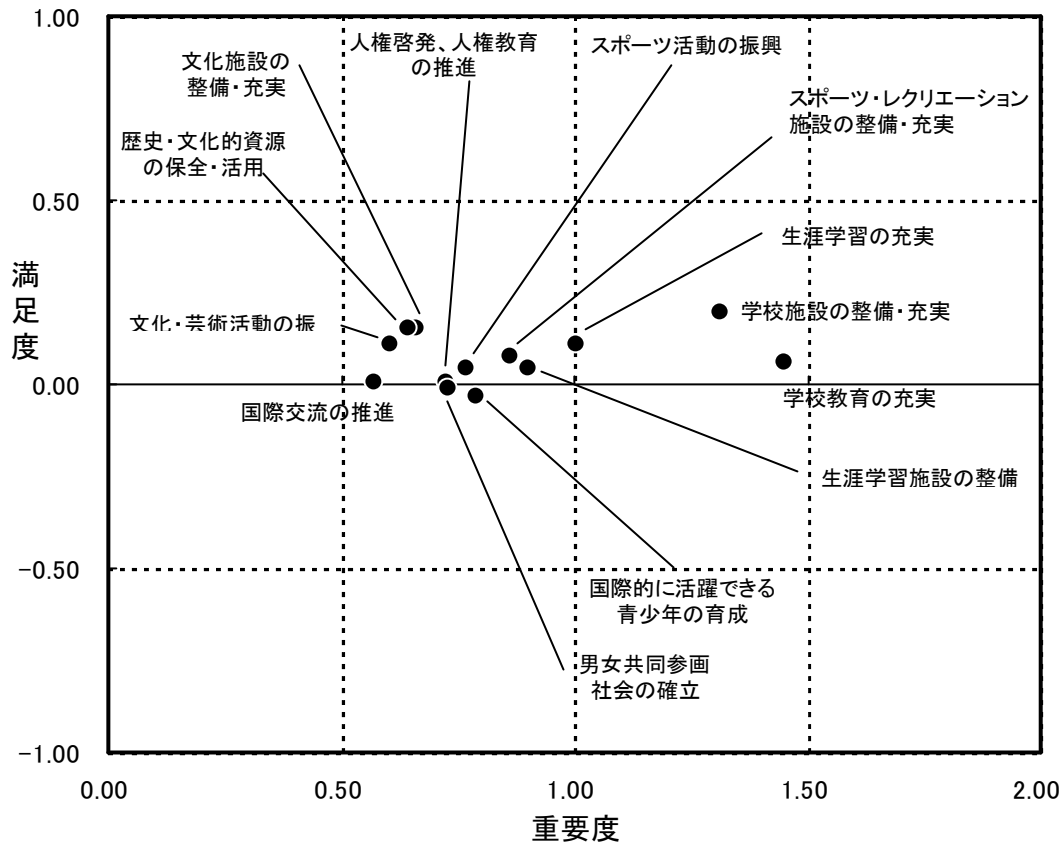
[満足度の点数化]

- ◇ 大半の項目で満足度がプラスになっており、最も満足度が高いものは「学校施設の整備・充実」の0.20となっている。
- ◇ 一方、マイナス評価では、「国際的に活躍できる青少年の育成」が-0.03、「男女共同参画社会の確立」が-0.01となっている。



【CS分析】

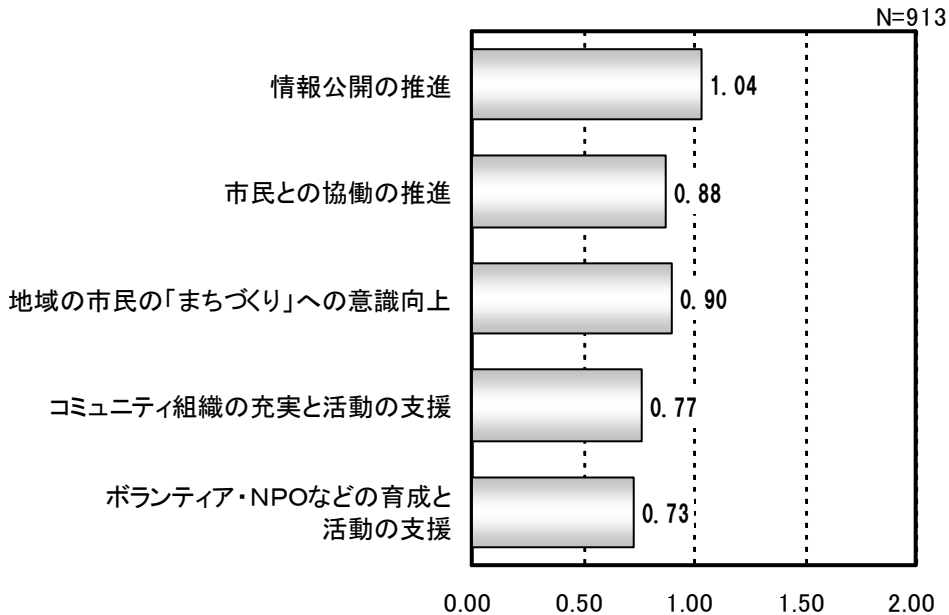
- ◇ 重要度及び満足度について、これらの指標を軸とする直行座標面に展開すると次のとおりである。
- ◇ これからみると、学校関係は重要度は高いが、満足度もプラスの評価であり、その他のものについても、満足度の多くはプラス評価となっている。



7 市民、グループや組織の活動が生きいき輝くまち(問12)

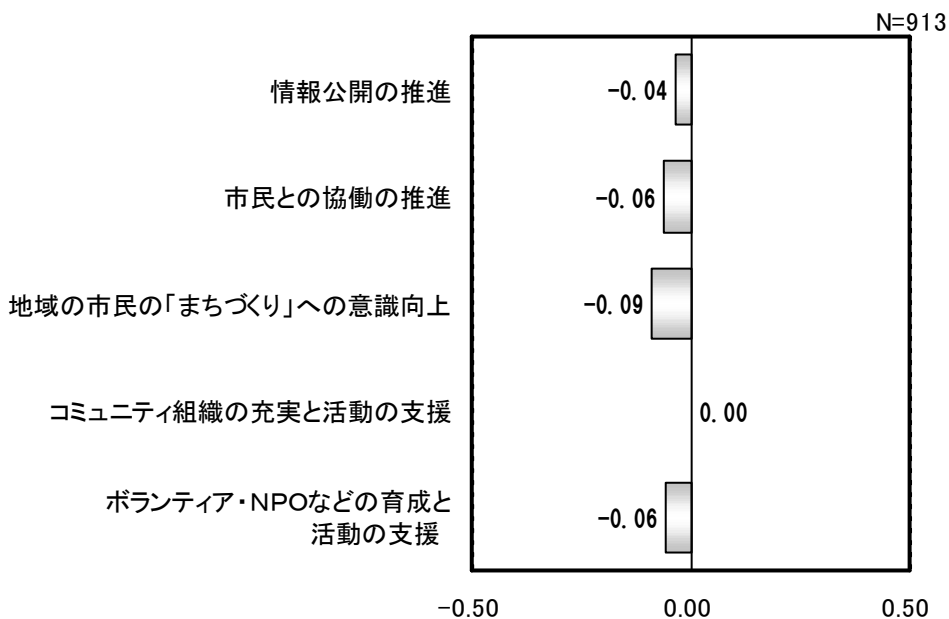
[重要度の点数化]

◇ 「情報公開の推進」が1.04と最も高くなっている。



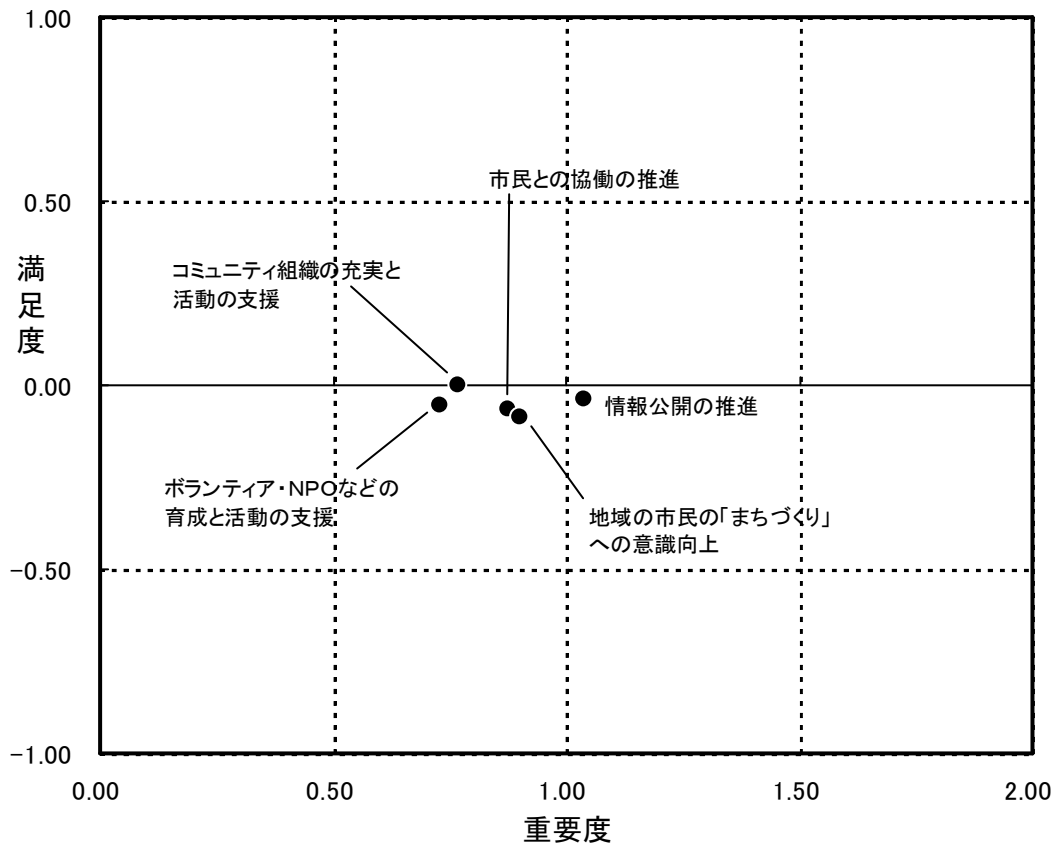
[満足度の点数化]

◇ 「コミュニティ組織の充実と活動の支援」(0.00)以外は、マイナス評価ではあるが、それほど低い評価とはなっていない。



【CS分析】

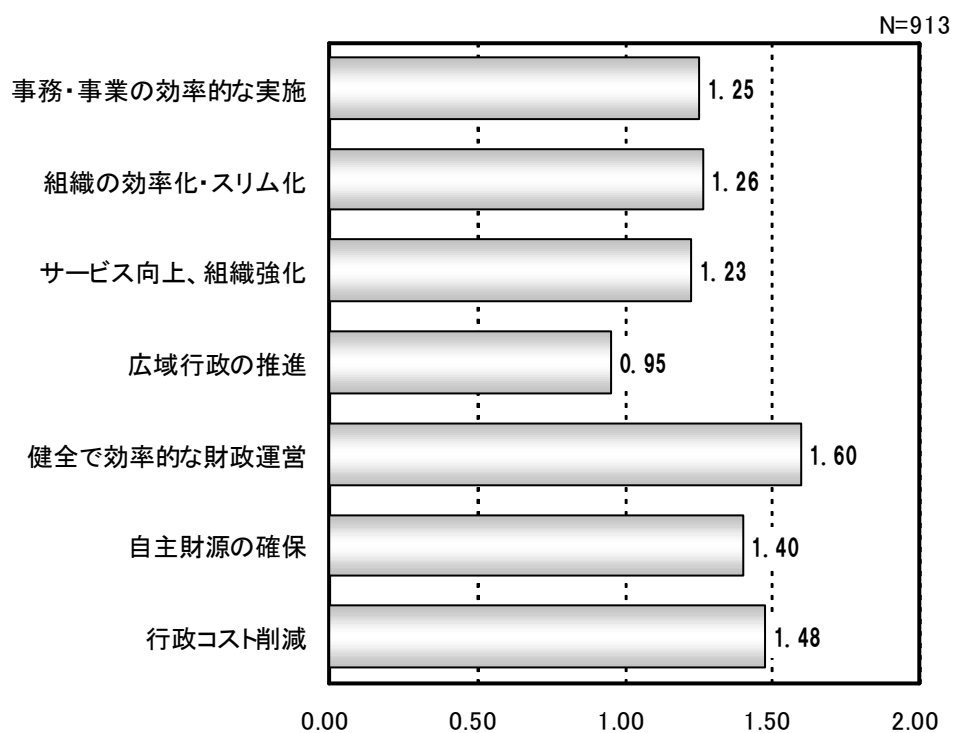
- ◇ 重要度及び満足度について、これらの指標を軸とする直行座標面に展開すると次のとおりである。
- ◇ これからみると、「情報公開の推進」が重要度は最も高くなっているが、満足度は±0に近いところであり、その他のものについても概ね同程度の評価となっている。



8 効率的で機動的な行財政の運営（問13）

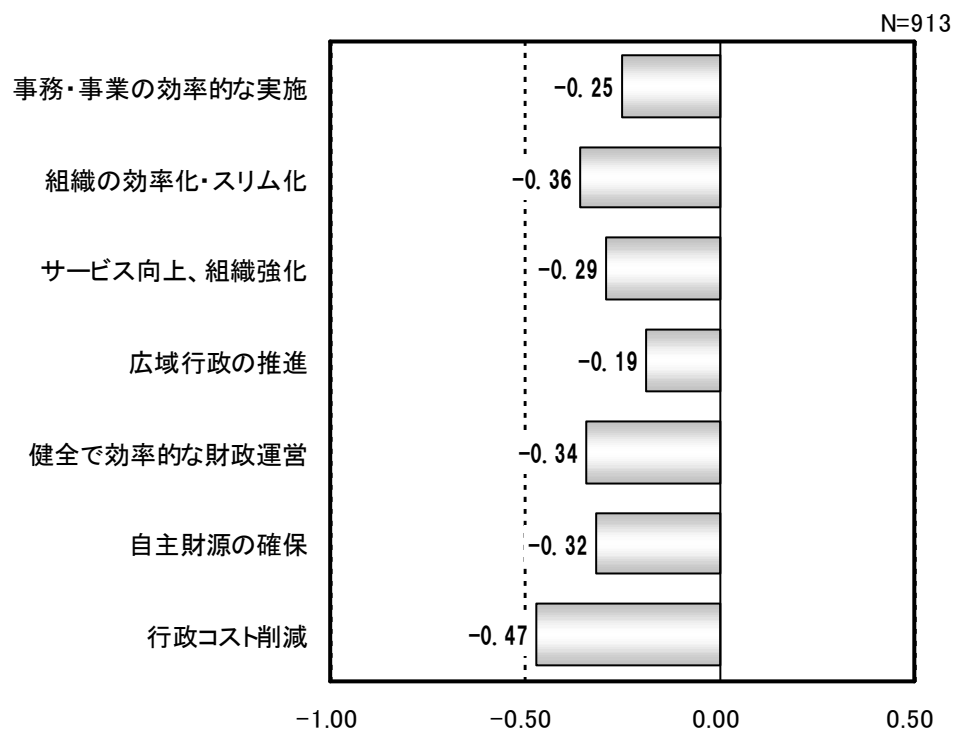
【重要度の点数化】

- ◇ ほとんどのものが高い重要度となっている。
- ◇ その中で最も高いのが「健全で効率的な財政運営」の1.60で、次いで「行政コストの削減」が1.48となっている。



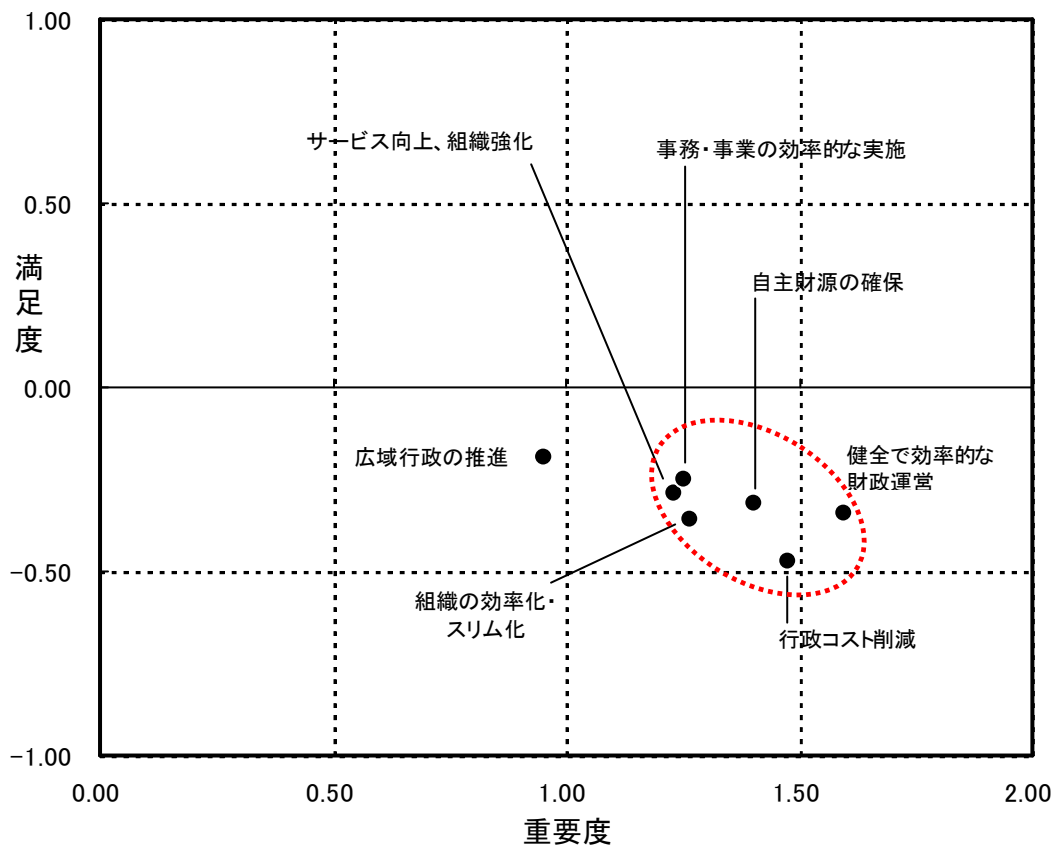
[満足度の点数化]

- ◇ 全ての項目がマイナス評価となっている。
- ◇ その中で、マイナス評価が最も高いのは、「行政コスト削減」が -0.47 で、次いで「組織の効率化・スリム化」が -0.36 、「健全で効率的な財政運営」が -0.34 となっている。



【CS分析】

- ◇ 重要度及び満足度について、これらの指標を軸とする直行座標面に展開すると次のとおりである。
- ◇ これからみると、最も重要度が高いものは「健全で効率的な財政運営」、一方最も満足度が低いものは「行政コスト削減」である。また、大半の項目が重要度は高いが、満足度は低いと評価されている。



第4項 前回調査との比較

＜比較分析の前提＞

本項では、現行計画策定時に実施した前回の市民アンケート調査（平成18年度）と、今回の市民アンケート調査との比較を検討したものである。

各施策の重要度・満足度評価については、前回は「新市建設計画」の内容について実施しており、今回は現行計画の「前期基本計画」に基づいて実施している。よって章立ての名称やその中の施策の項目については、若干違うものとなっているものがあり、それらについては参考として掲載してある。

その他設問については、比較分析をする上で、同じ設問としてある。

1 属性について

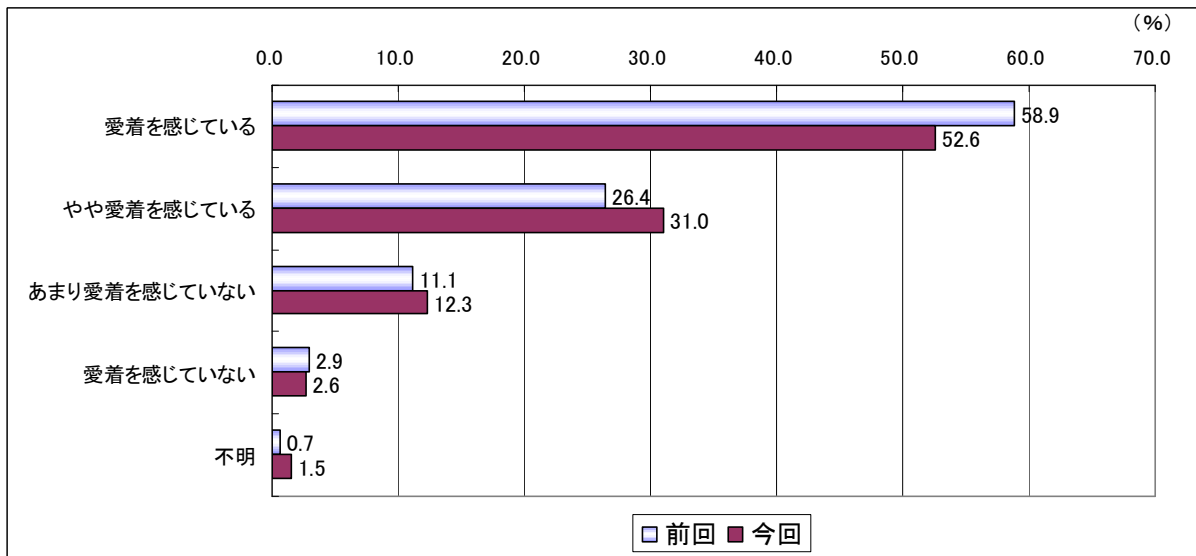
- ◇ 今回のアンケート調査の方が、高齢者の割合がやや高くなっているものの、人口構造自体が高齢化しており、概ね現在の市の人口構造を反映している。
- ◇ その他の項目については、前回とほぼ同じとなっている。

単位（回答数：件数、構成比：％）

項目		今回		前回	
		回答数	構成比	回答数	構成比
性別	男性	428	46.9	375	45.8
	女性	482	52.8	436	53.2
	不明	3	0.3	8	1.0
年齢	18～19歳	9	1.0	15	1.8
	20～29歳	68	7.4	62	7.6
	30～39歳	85	9.3	100	12.2
	40～49歳	115	12.6	90	11.0
	50～59歳	124	13.6	176	21.5
	60～69歳	229	25.1	176	21.5
	70歳以上	279	30.6	198	24.2
	不明	4	0.4	2	0.2
居住年数	1年未満	16	1.8	11	1.3
	1年以上5年未満	48	5.3	40	4.9
	5年以上10年未満	37	4.1	42	5.1
	10年以上20年未満	115	12.6	92	11.2
	20年以上	689	75.5	631	77.0
	不明	8	0.9	3	0.4
住所	金光地域	283	31.0	259	31.6
	鴨方地域	476	52.1	433	52.9
	寄島地域	152	16.6	123	15.0
	不明	2	0.2	4	0.5
仕事	農林漁業	27	3.0	32	3.9
	自営業（農林漁業以外）	49	5.4	46	5.6
	会社員・公務員・団体職員	222	24.3	217	26.5
	専業主婦	147	16.1	145	17.7
	学生	19	2.1	31	3.8
	パート・アルバイト	97	10.6	78	9.5
	無職	300	32.9	216	26.4
	その他	45	4.9	45	5.5
	不明	7	0.8	9	1.1
通勤・通学先	自分が住んでいる市内	143	15.7	142	17.3
	倉敷市	102	11.2	99	12.1
	岡山市	51	5.6	39	4.8
	笠岡市	38	4.2	20	2.4
	里庄町	27	3.0	27	3.3
	その他岡山県内	29	3.2	31	3.8
	福山市	21	2.3	15	1.8
	その他岡山県外	8	0.9	12	1.5
	通勤も通学もしていない	373	40.9	299	36.5
	不明	121	13.3	135	16.5
	合計		913	100.0	819

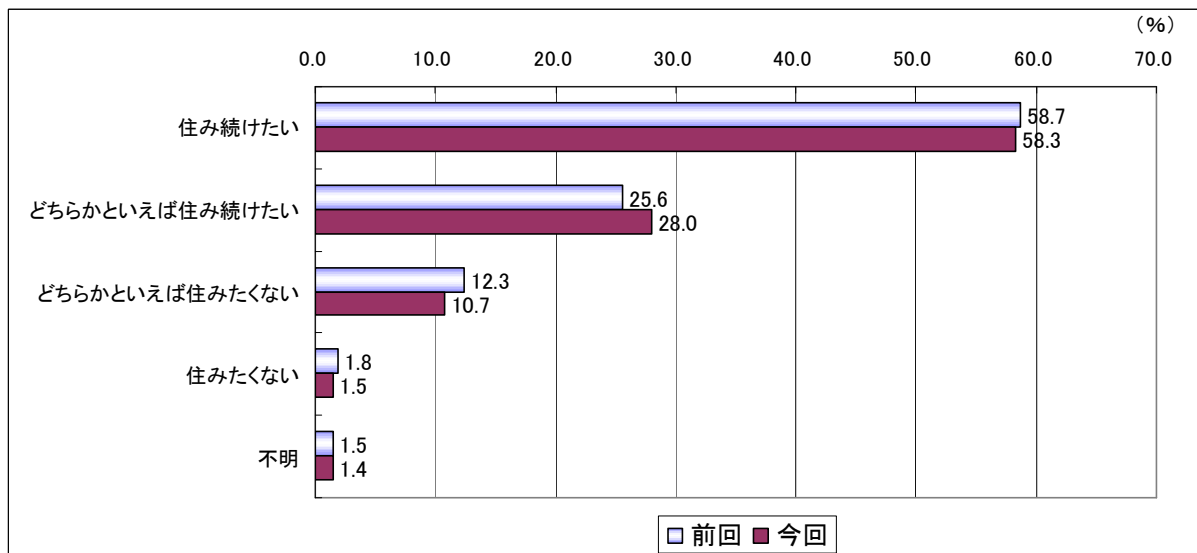
2 住んでいる地域への愛着

- ◇ 「愛着を感じている」は、前回の58.9%から今回の52.6%に減少しているが、「愛着を感じている」+「やや愛着を感じている」を合わせて“愛着派”として捉えてみると、前回の85.3%と今回の83.6%とほぼ同じ結果となっている。



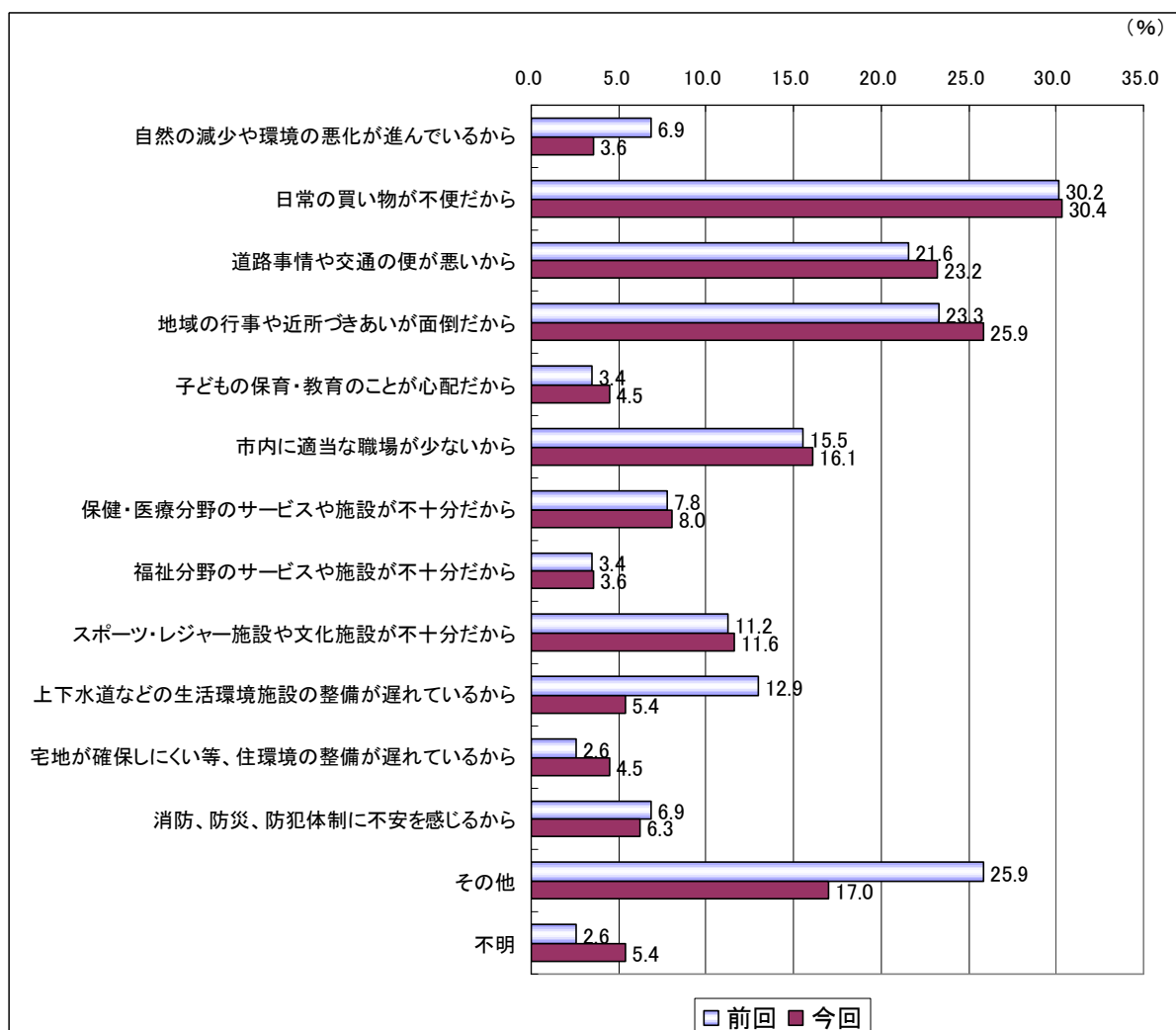
3 今後の居住意向

- ◇ 居住意向については、前回と今回はほぼ同じ結果で、「住み続けたい」+「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた“定住意向派”は、前回の84.3%に対し今回は86.3%となっている。



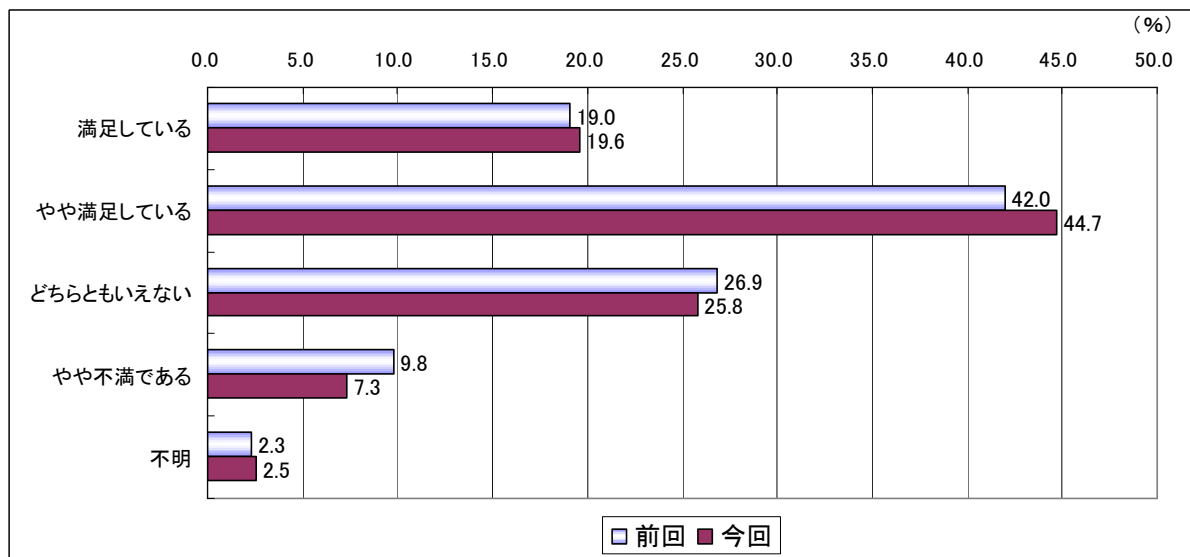
4 居住意向がない理由

- ◇ 「その他」を除き、居住意向がない理由の上位3つは前回も今回も同じもので、「日常の買い物が不便だから」、「地域の行事や近所づきあいが面倒だから」、「道路事情や交通の便が悪いから」となっている。
- ◇ 前回と今回で大きく違ったのは、「上下水道などの生活環境施設の整備が遅れているから」という理由が、前は12.9%であったのが、今回は5.4%と少なくなっている。
- ◇ 「その他」についても、前回は25.9%に対し、今回は17.0%と減少しているが、その他の内容については前回・今回ともに、特に偏った意見は見られない。



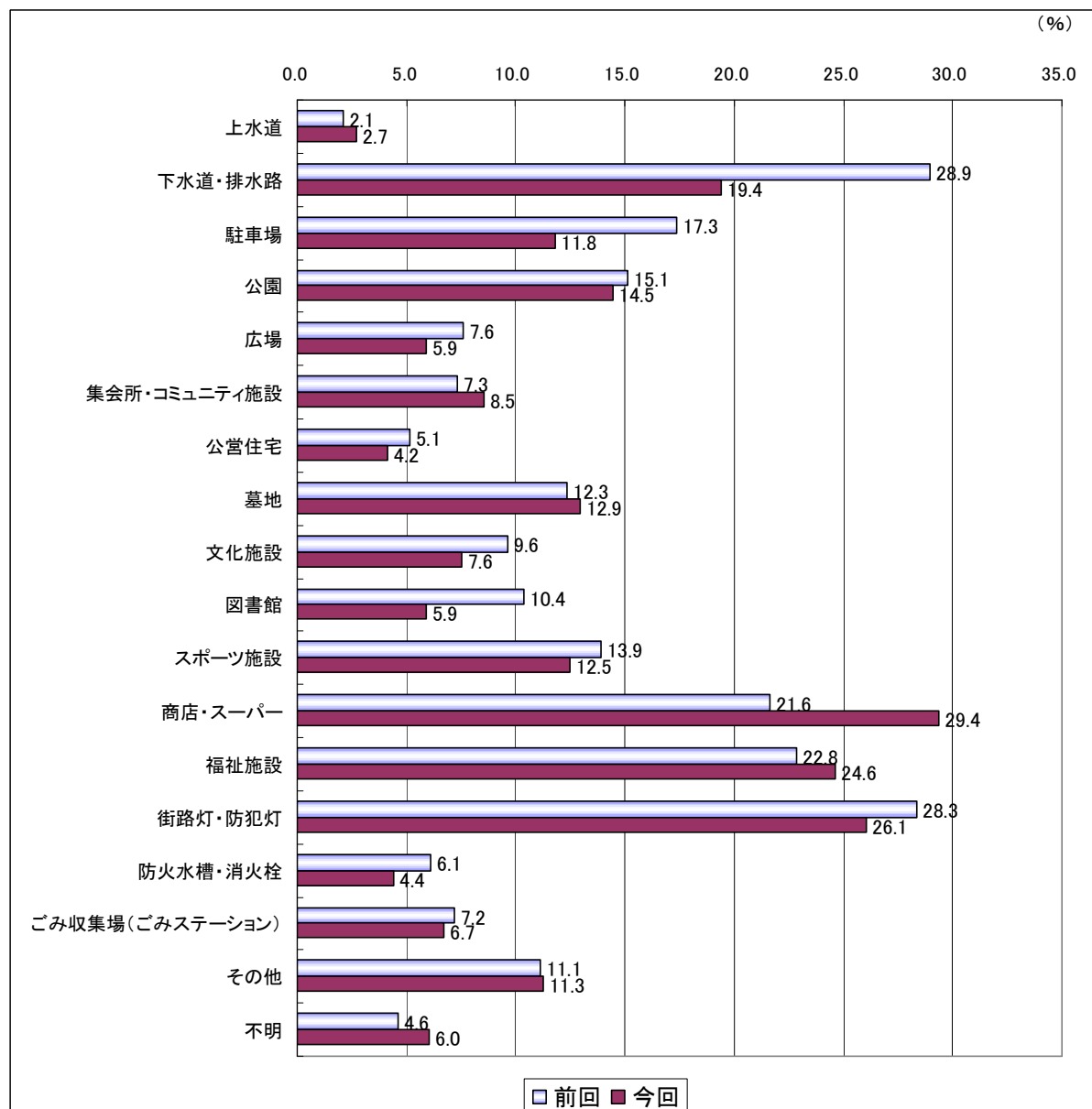
5 浅口市の暮らしやすさ

- ◇ 「満足している」、「やや満足している」共にわずかではあるが今回の方が増えており、「満足している」+「やや満足している」を合わせた“満足派”は、前回の61.0%から今回は64.3%となっている。



6 身近な住環境の中で整備が必要な施設

- ◇ 前回と今回を比べ、幾つか大きく変わったものがみられる。
- ◇ 前回に比べ、今回最も多く増えたものは「商店・スーパー」（前回 21.6%→今回 29.4%）である。
- ◇ 逆に、前回に比べ今回減少幅が多かったものは「下水道・排水路」（前回 28.9%→今回 19.4%）、「駐車場」（17.3%→11.8%）等である。
- ◇ それ以外のものについては、若干のプラス・マイナスはあるものの大きな変化はみられない。



7 重要度・満足度

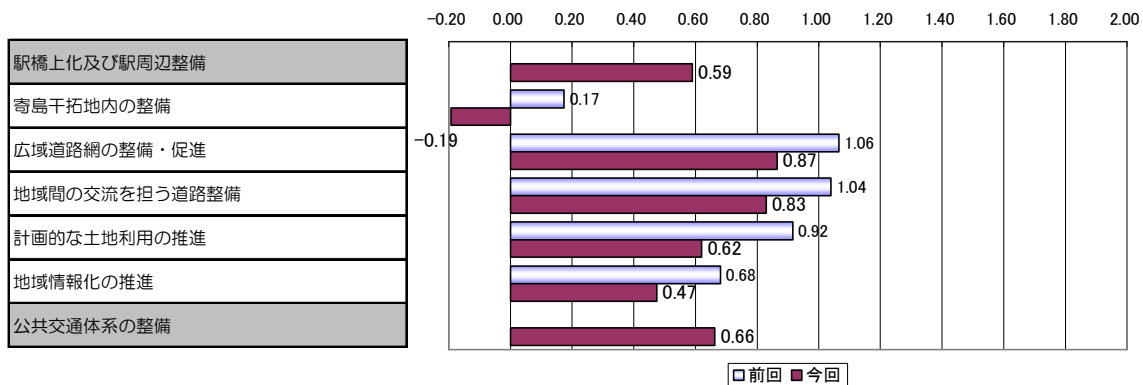
表の中の 表示は、前回のアンケート調査の設問項目と違うため、前回の値は表示していないものである。

【暮らし、経済、交流が都市基盤に支えられるまち】

(前回アンケート調査における名称：利便性が高く魅力あるまちづくり)

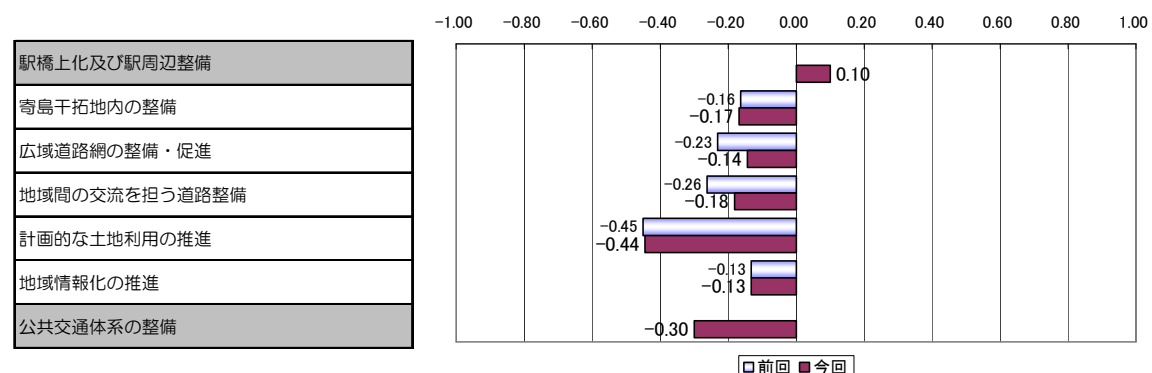
<重要度>

- ◇ 比較できるものでみると（以下全て同じ）、重要度が高い項目は「広域道路網の整備・促進」と「地域間の交流を担う道路整備」で前回と変わらないが、前回と比べ、全ての項目で重要度は低くなっている。
- ◇ ポイントで最も差がでたのは、「寄島干拓地内の整備」が前回と比べ 0.36 ポイント重要度が低くなっている。



<満足度>

- ◇ 概ね前回と同程度の満足度であるが、「広域道路網の整備・促進」や「地域間の交流を担う道路整備」については、やや不満度が低くなっている。

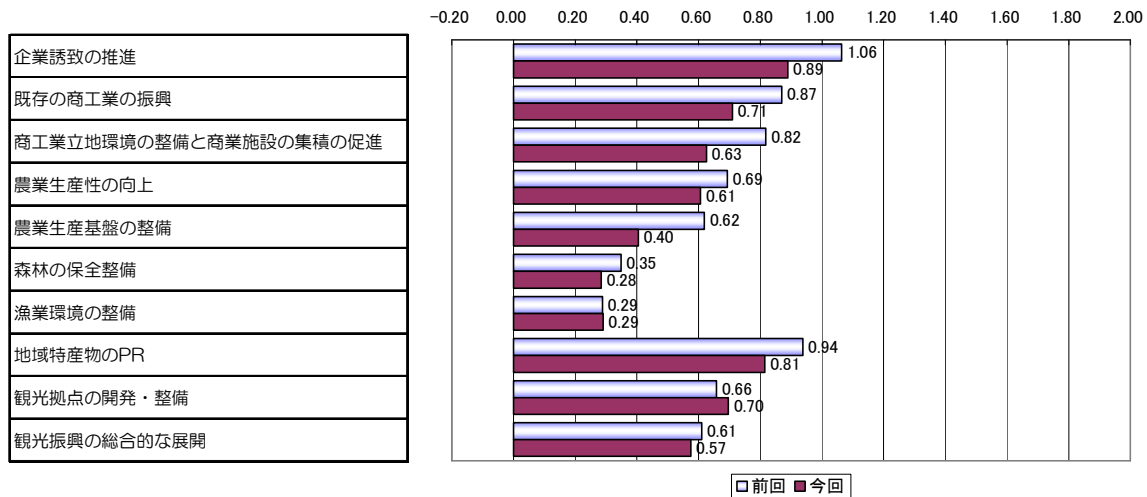


【資源を活かし、活力を育てる産業のまち】

(前回アンケート調査における名称：地域の個性・活力あふれるまちづくり)

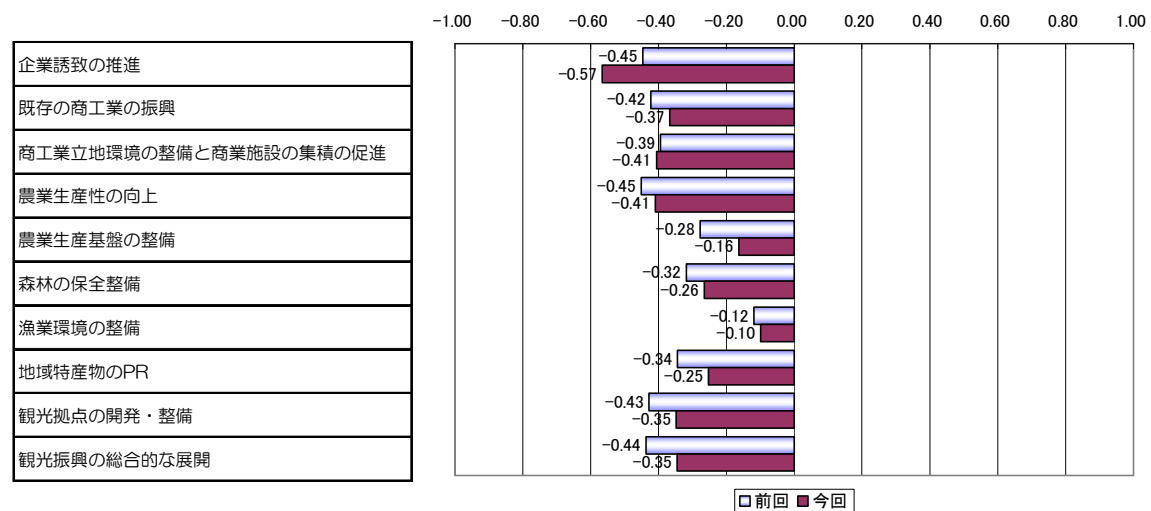
<重要度>

- ◇ 重要度が高い項目は「企業誘致の促進」と「地域特産物のPR」で前回と変わらないが、ほとんどの項目で重要度のポイントは低くなっている。
- ◇ その中で、需要度が高くなったものは、唯一「観光拠点の開発」となっている。



<満足度>

- ◇ 全ての項目で、マイナスポイントであることは、前回も今回も変わらない。
- ◇ 全体としては、不満度がやや弱まっている傾向にはあるが、「企業誘致の推進」と「商工業立地環境の整備と商業施設の集積の促進」については、今回の方が不満度が高まっている。

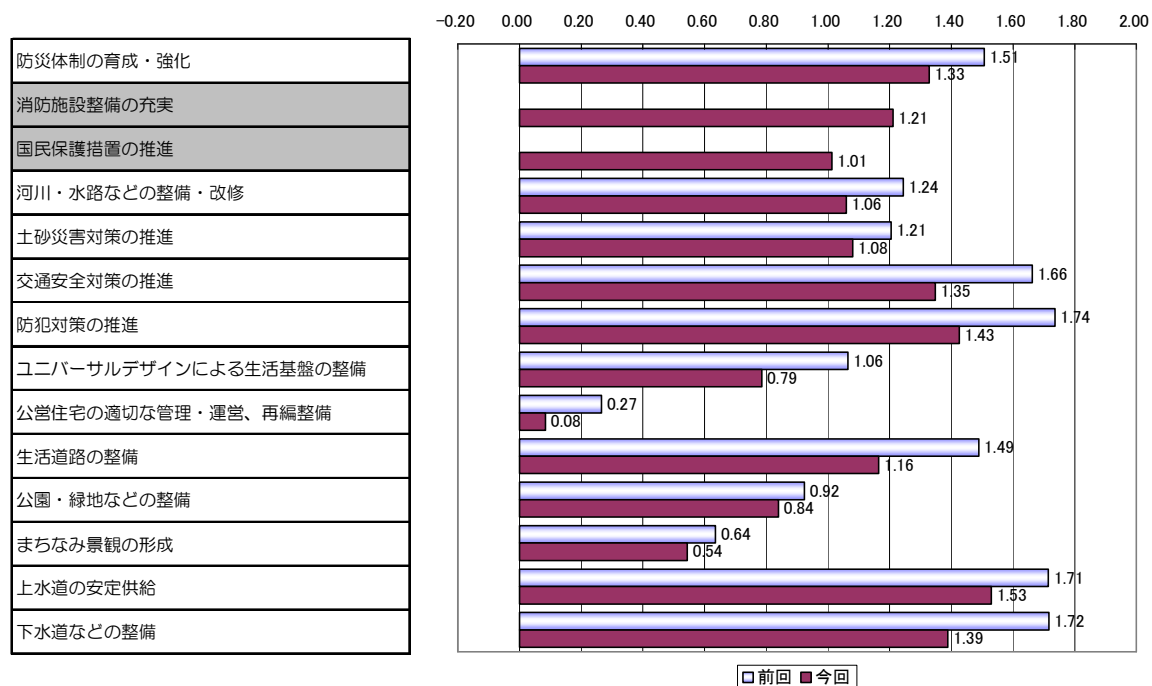


【安全・安心、ゆとりある生活のまち】

(前回アンケート調査における名称：安心・安全でゆとりあるまちづくり)

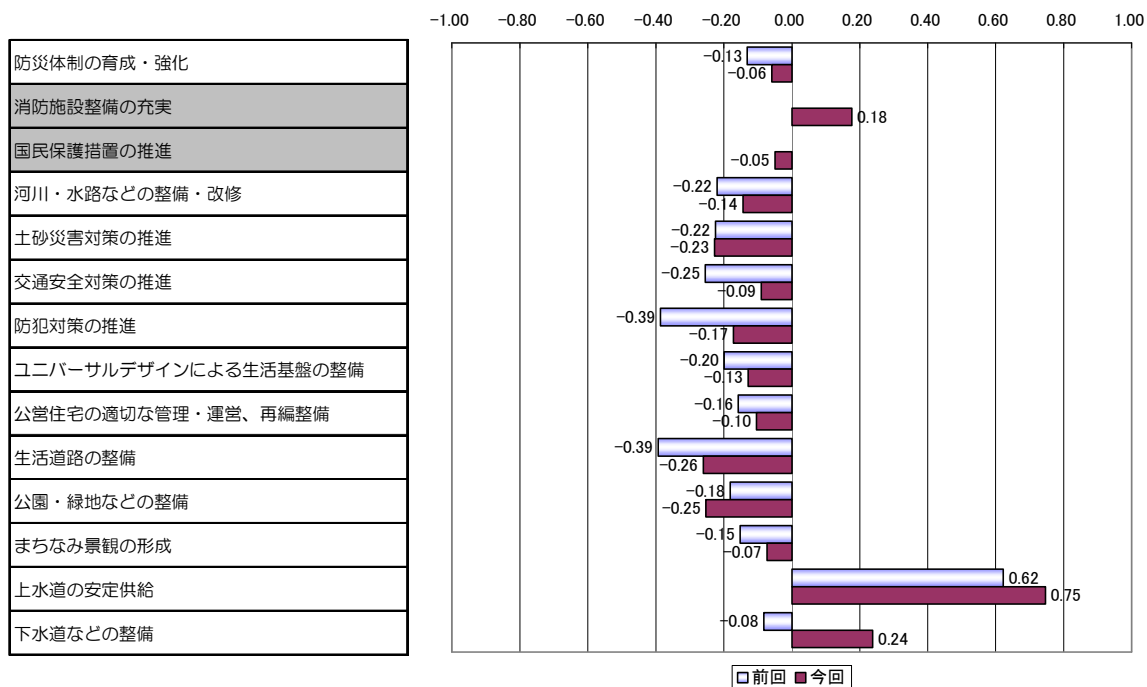
<重要度>

- ◇ 重要度が高い「上水道の安定供給」、「防犯対策の推進」、「下水道などの整備」、「交通安全対策の推進」といった項目は前回も今回も変わらないが、重要度は全体的に低くなっている傾向にある。



<満足度>

- ◇ 満足度がプラス評価のものは、今回は「上水道の安定供給」だけであったものが、今回はそれに加え「下水道などの整備」もプラス評価に変わっている。
- ◇ その他の項目についても概ね不満度は弱まりつつあるが、「公園・緑地などの整備」と「土砂災害対策の推進」で不満度が前回よりはやや高くなっている。

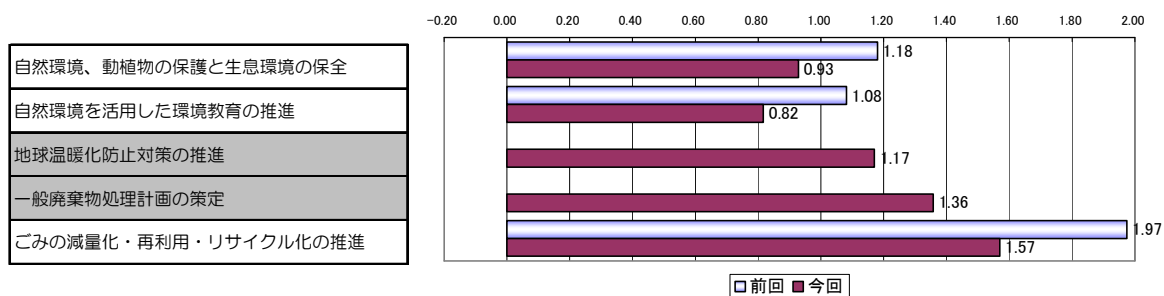


【自然、環境が大切にされ、活かされるまち】

(前回アンケート調査における名称：自然を守り環境を大切にしたまちづくり)

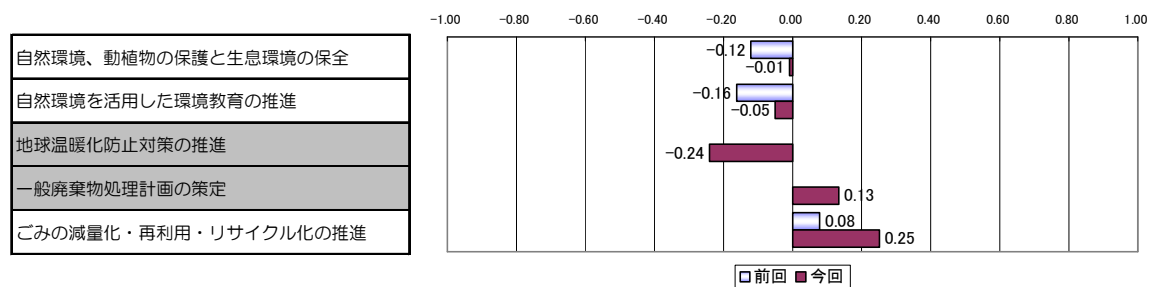
<重要度>

- ◇ 「ごみの減量化・再利用・リサイクル化の推進」は、前は全項目の中で最もポイントが高い「1.97」となっていたが、今回は「1.57」まで下がっている。
- ◇ その他の項目についても、重要度は前回より下がっている。



<満足度>

- ◇ 「ごみの減量化・再利用・リサイクル化の推進」は前回もプラス評価であったが、今回はさらに満足度が高まりポイントが0.17ポイント増えている。
- ◇ その他の項目についても比較できるものでみると、不満足度は低くなっている。

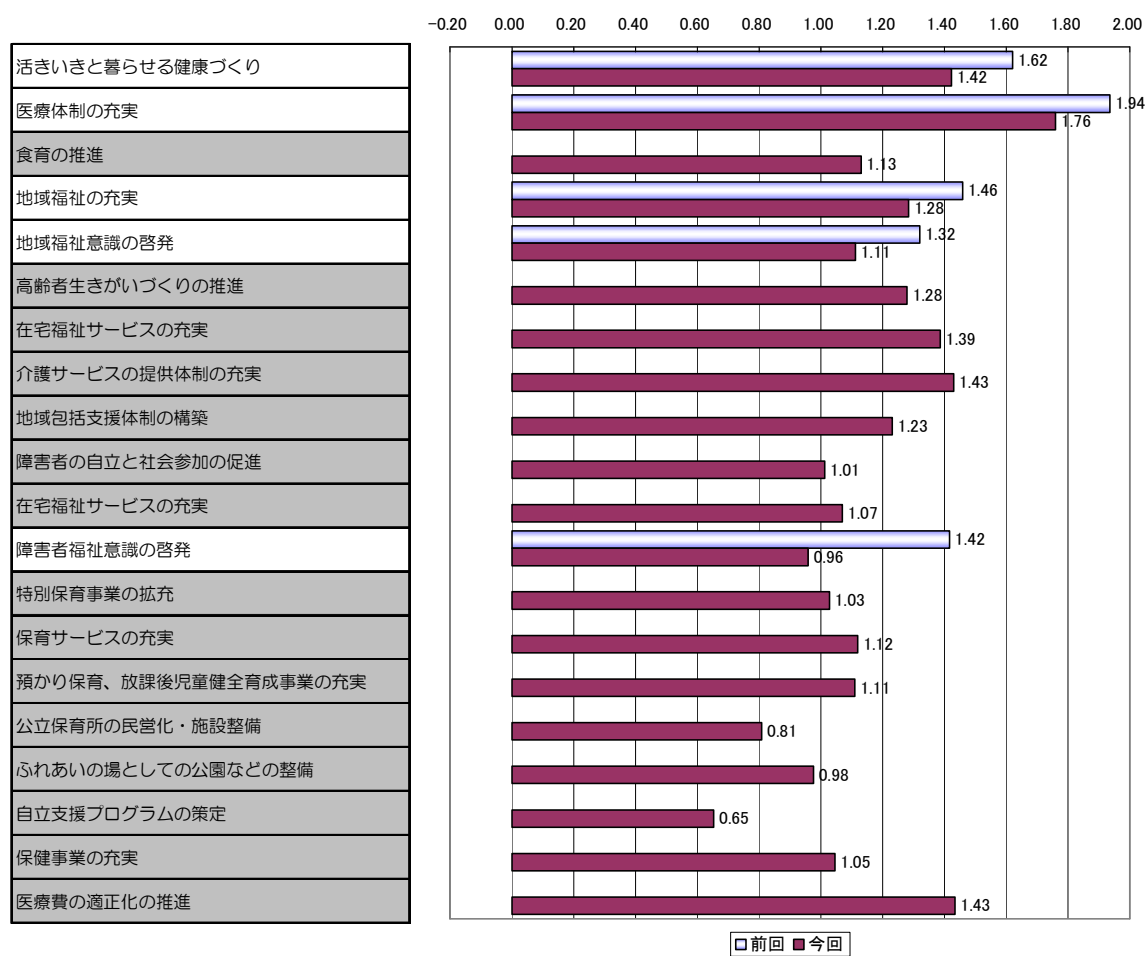


【健やかさがはじけ、笑顔がひろがるまち】

(前回アンケート調査における名称：健康に暮らせるまちづくり)

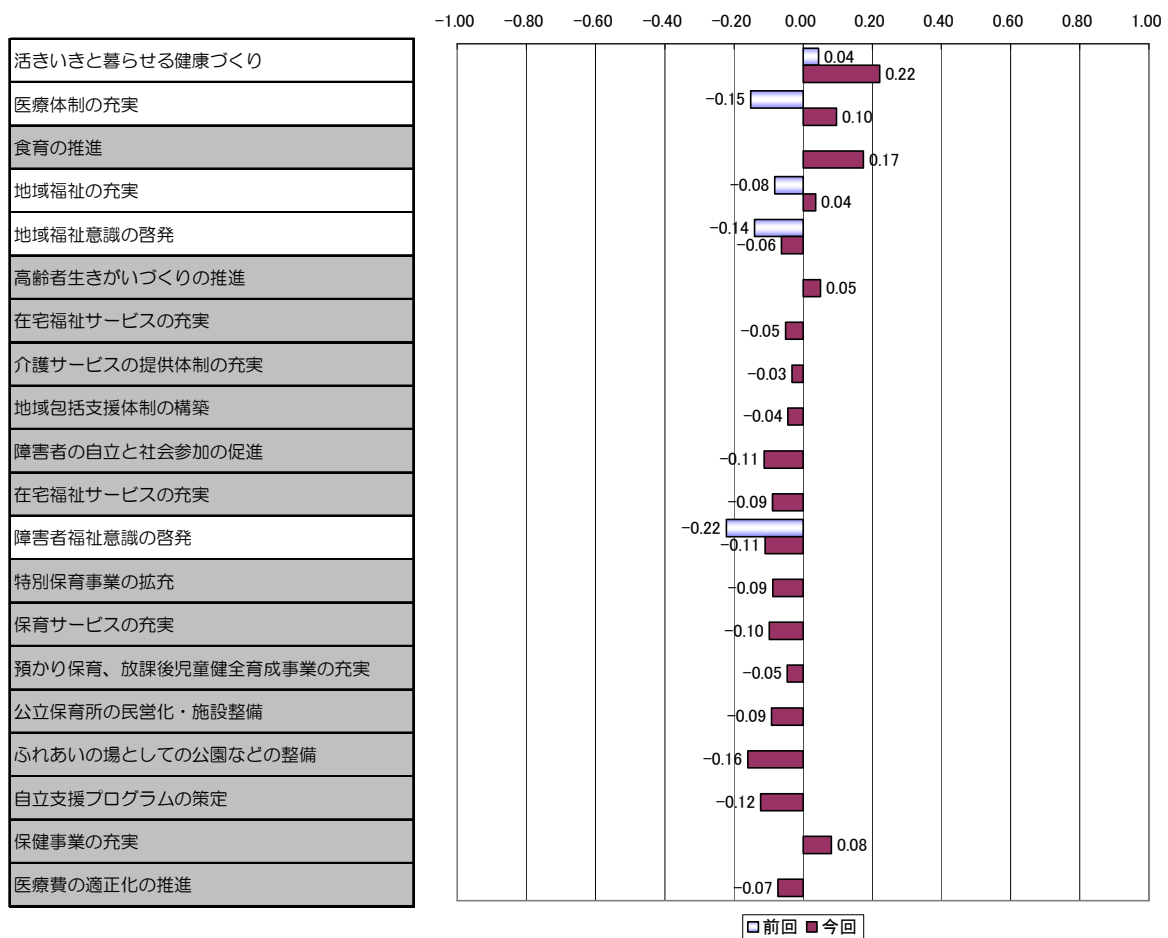
<重要度>

- ◇ 前回のアンケートより、今回のアンケートの選択肢項目が細目化されているため、比較できる項目は5項目となる。
- ◇ その項目についてみると、重要度の認識は前回も今回も変わらないが、重要度のポイントは今回の方がやや低くなっている。
- ◇ 「医療体制の充実」は前回のポイントも 1.94 と高く、今回はやや少なくなって 1.76 となっているが、全施策を通して今回は最も高いポイントとなっている。



<満足度>

- ◇ 比較できる5項目についてみると、「医療体制の充実」と「地域福祉の充実」は、前はマイナス評価であったものが今回はプラス評価になっており、「生きいきと暮らせる健康づくり」は満足度が今回さらに高まっている。
- ◇ また、「地域福祉意識の啓発」と「障害者福祉意識の啓発」についても、今回もマイナス評価ではあるが、今回の方がいずれも不満度は低くなっている。

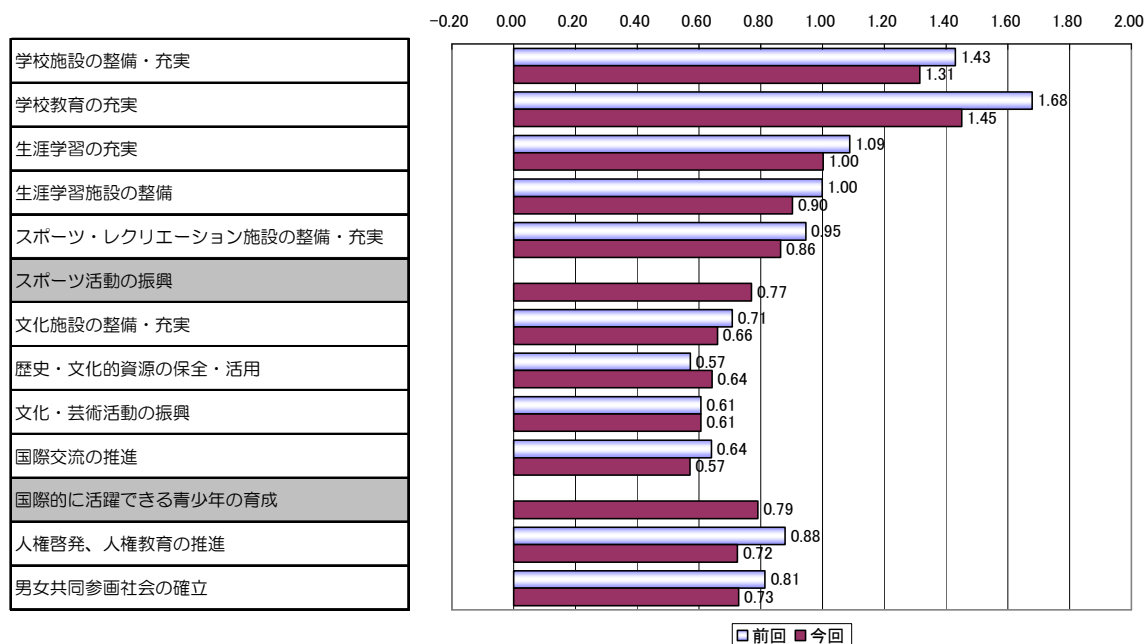


【豊かな心、広い視野、地域文化を育むまち】

(前回アンケート調査における名称：豊かな心と文化をはぐくむまちづくり)

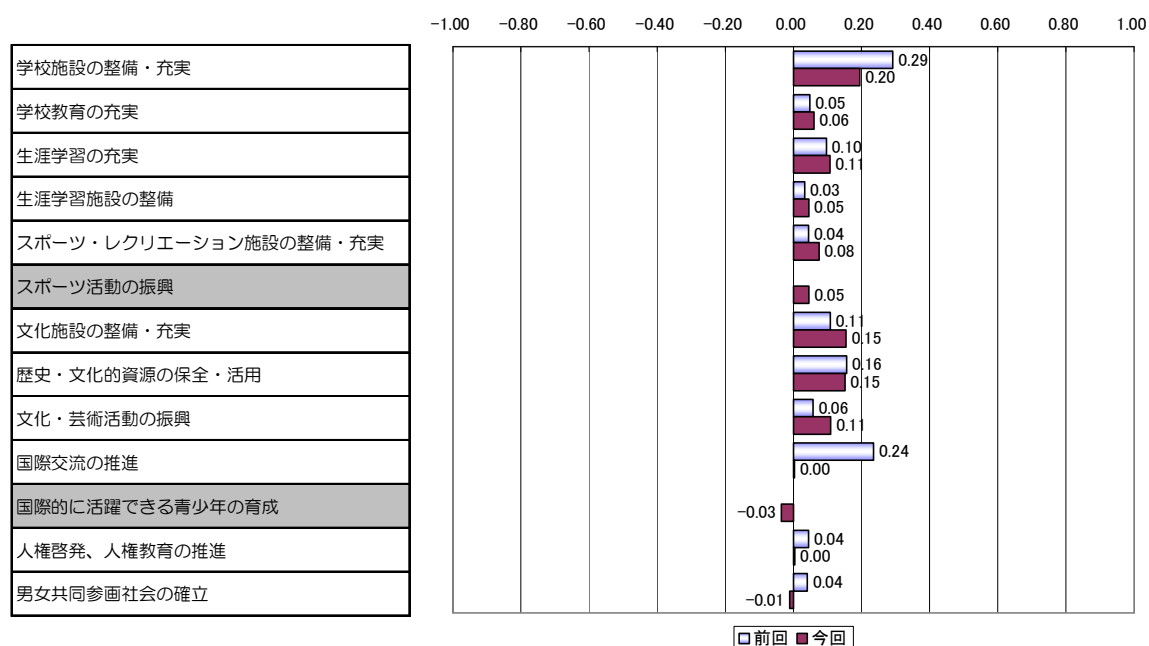
<重要度>

- ◇ 重要度が高い項目としては「学校教育の充実」、「学校施設の整備・充実」であることは前回も今回も変わらないが、重要度のポイントは全体的に低くなっている。
- ◇ その中で「歴史・文化的資源の保全・活用」は前回の 0.57 ポイントから 0.64 ポイントと重要度が高くなっている。



<満足度>

- ◇ ほとんどの項目が、満足度は高くはないものの、プラス評価となっており、多くの項目でわずかではあるが、満足度が高くなっている。

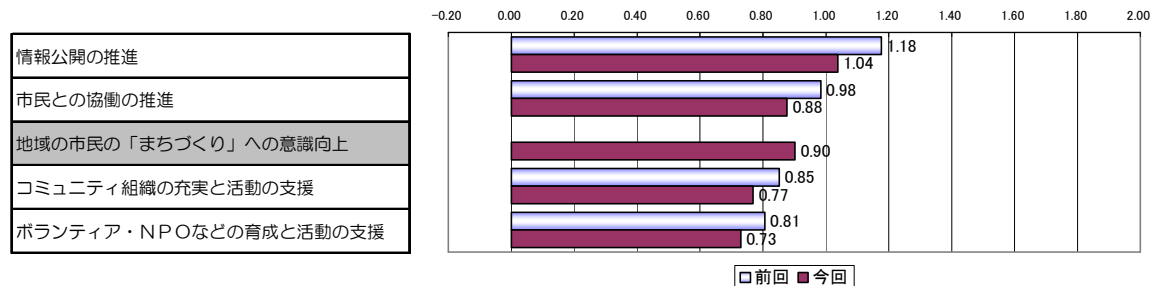


【市民、グループや組織の活動が活いき輝くまち】

(前回アンケート調査における名称：住民がいきいきと輝くまちづくり)

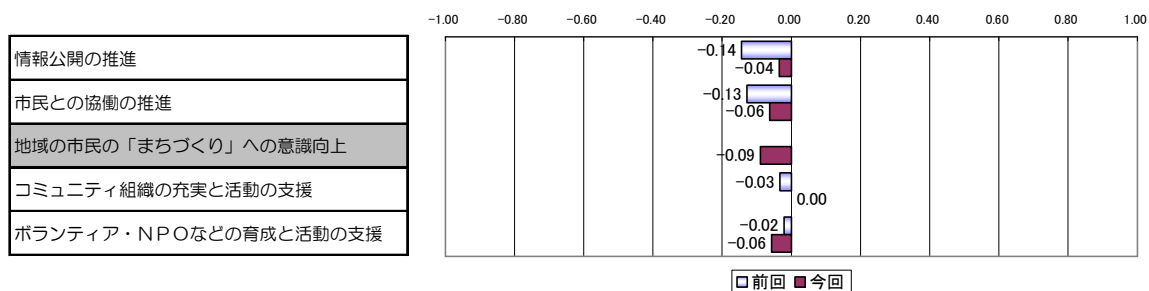
<重要度>

- ◇ 重要度の評価の順番は前回も今回も変わらず、「情報公開の推進」が最もポイントは高くなっている。
- ◇ また、全ての項目において、前回よりは重要度がやや低くなっている。



<満足度>

- ◇ 満足度は、前回も今回もいずれもマイナス評価ではあるが、不満度は低くなっている傾向にある。
- ◇ 但し、「ボランティア・NPOなどの育成と活動の支援」だけは、今回の方が不満度がやや高くなっている。

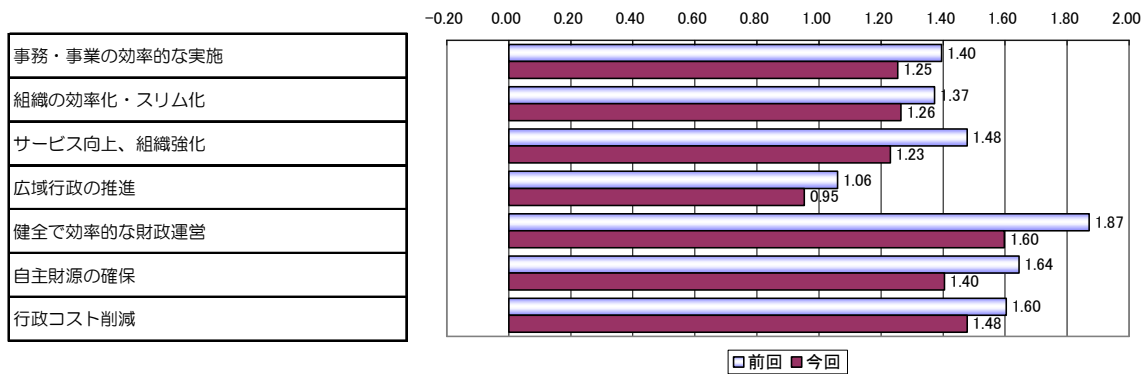


【効率的で機動的な行財政の運営】

(前回アンケート調査における名称：効率的な行財政運営によるまちづくり)

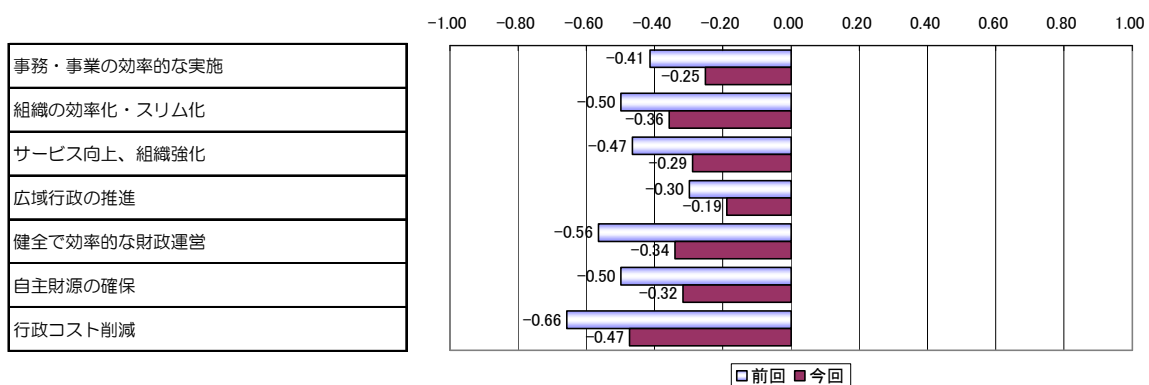
<重要度>

- ◇ 全体的に重要度の評価は高く、その中でも「健全で効率的な財政運営」、「自主財源の確保」、「行政コストの削減」について重要度が高いのは、前回も今回も変わっていない。
- ◇ また、重要度は全体を通して、前回よりも今回の方がやや低くなっている。



<満足度>

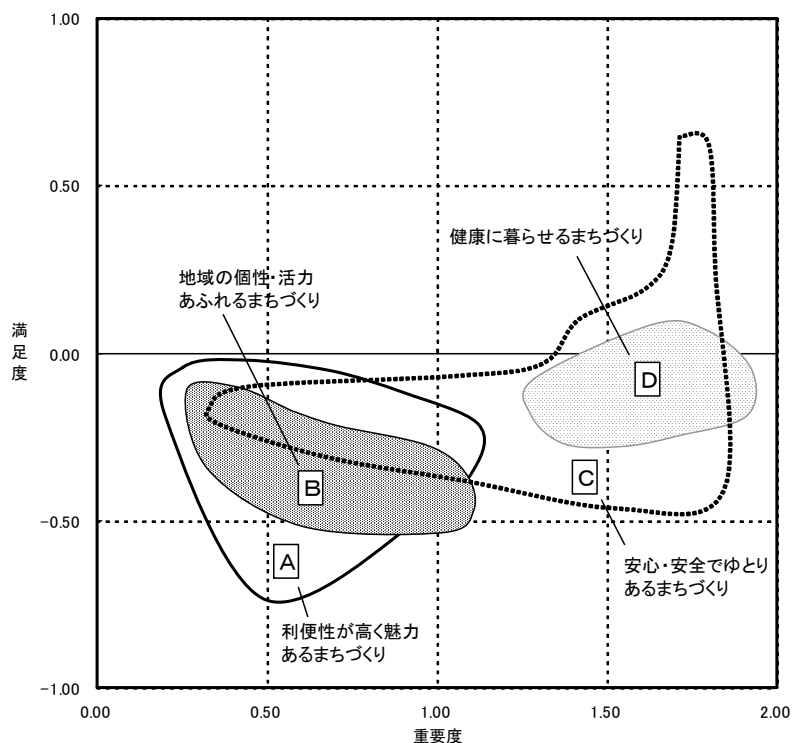
- ◇ 満足度の評価は、いずれもマイナスであるが、いずれの項目においても不満度は低くなっている。



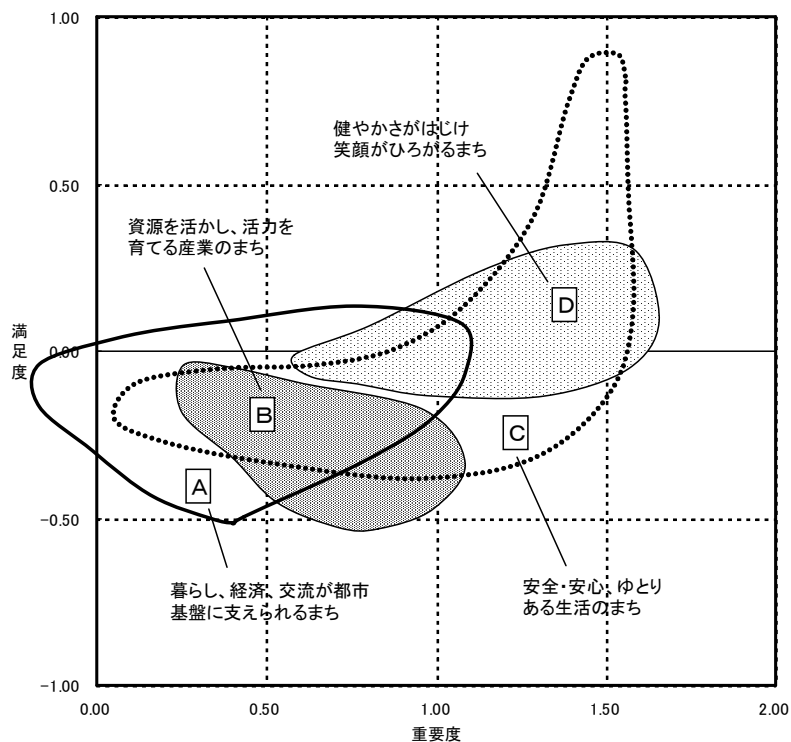
【CS分析の比較(グループ1)】

- ◇ 項目が多いので、前回は2つのグループに分けて表示しており、今回も同様に2つのグループで表示する。また、今回の結果と参照するため、前回とは名称が違っているので、同類のものをA～Hの表示で示してある。
- ◇ その結果が付図のものであるが、全体の傾向としては、重要度は前回に比べやや低くなっており、逆に満足度は前回に比べやや高くなっている傾向がみられる。
- ◇ 今後特に留意しなければいけないのは“重要度は高く満足度が低い”ものであるが、グループ1においては、全体的に評価が高くなっているとみることができる。

グループ1の前回調査



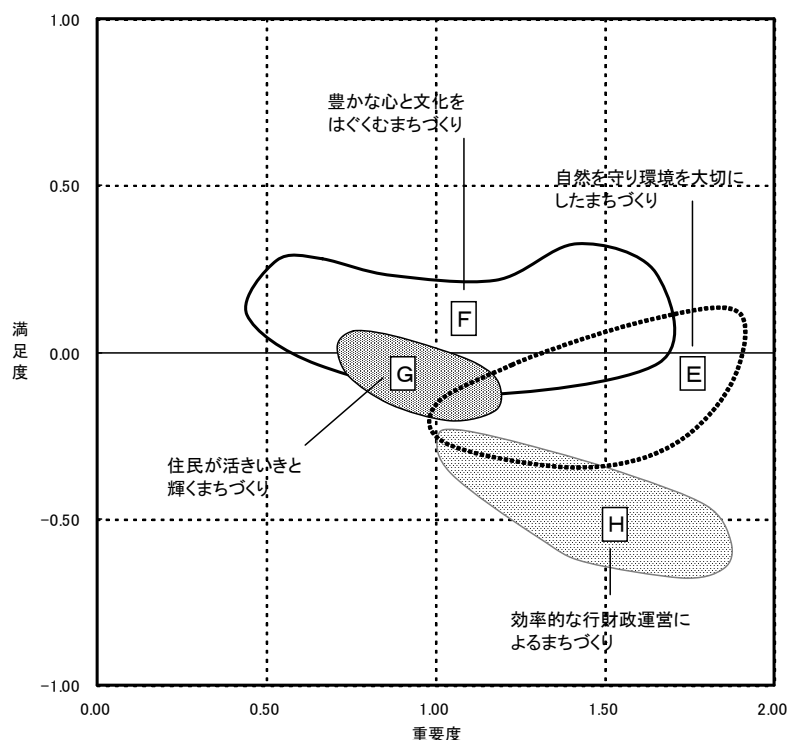
グループ1の今回調査



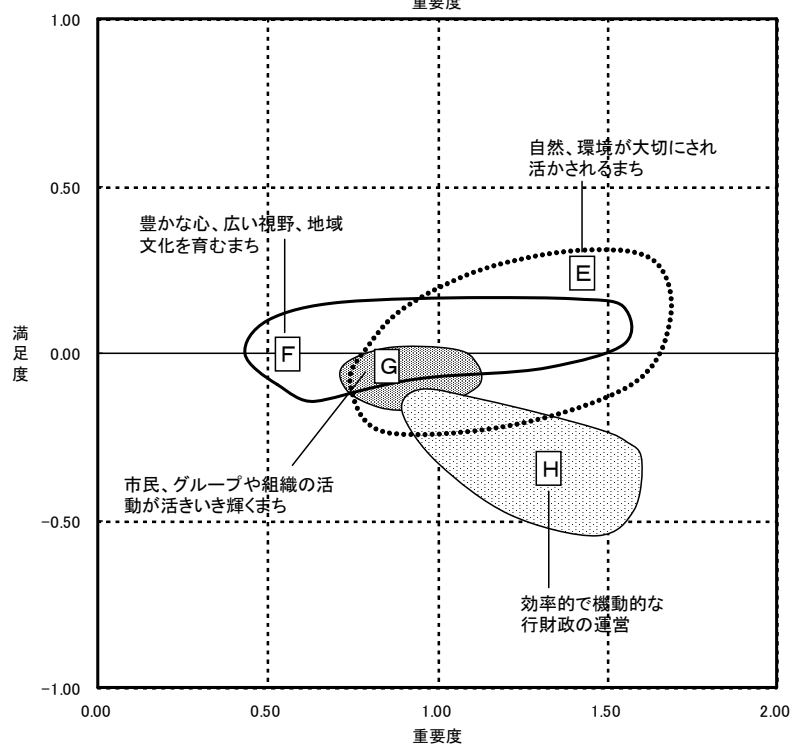
【CS分析の比較(グループ2)】

- ◇ グループ2においては、「E 自然、環境が大切にされ、活かされるまち」と「H 効率的で機動的な行財政の運営」については、重要度のポイントはやや低くなり、かわりに満足度のポイントが高くなっている。
- ◇ また、「F 豊かな心、広い視野、地域文化を育むまち」と「G 市民、グループや組織の活動が活きいき輝くまち」は、前回との変化はあまりみられない。
- ◇ グループ1・2を通してみると、今後最も重点的に取り組むべきものは「H 効率的で機動的な行財政の運営」の施策群ということになる。

グループ2の前回調査



グループ2の今回調査



第2編 中学生アンケート調査

中学生アンケート調査の概要

総合計画・後期基本計画を策定するにあたり、中学生アンケート調査を実施しました。実施概要は以下のとおりです。

- 調査対象及び配布数：市立中学2年生、303名
- 実施時期：平成23年7月上旬～7月中旬
- 回収数：300票（内有効回答数：288票）
- 回収率：99.0%（内有効回答回収率：95.0%）

調査の集計結果を次ページ以降に掲載します。

※ アンケート表・グラフ中

カテゴリー = 回答の選択肢

N (number of case) = 回答者数 (サンプル数)

SA (Single Answer) = 単一回答のこと。複数の選択肢から1つだけ選んで回答する形式

MA (Multiple Answer) = 複数回答のこと。複数の選択肢から1つ以上の選択肢を選んで回答する形式

注1) %表示については、小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

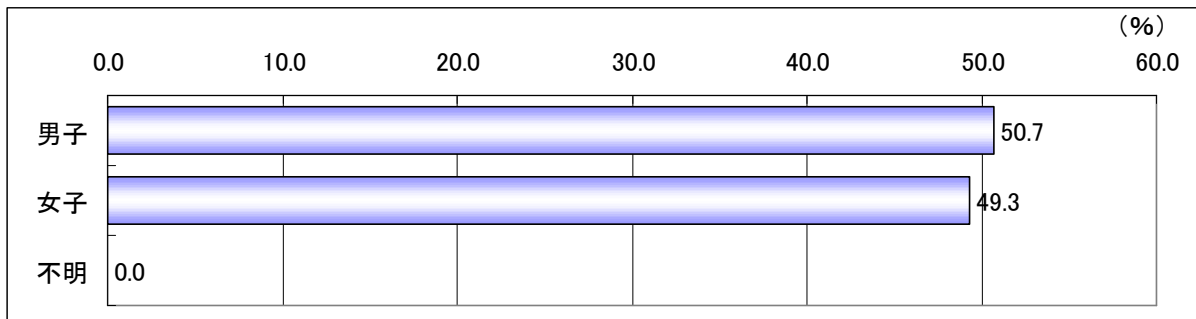
注2) 集計表における“不明”には、当該設問への無回答の他、回答規則違反（例えば、SAの設問における複数回答など）の件数（票数）が含まれます。

第1項 集計結果報告

問1 性別

【基本集計】(SA, N=288)

◇ 性別は、「男子」が50.7%、「女子」が49.3%で、ほぼ半々となっている。

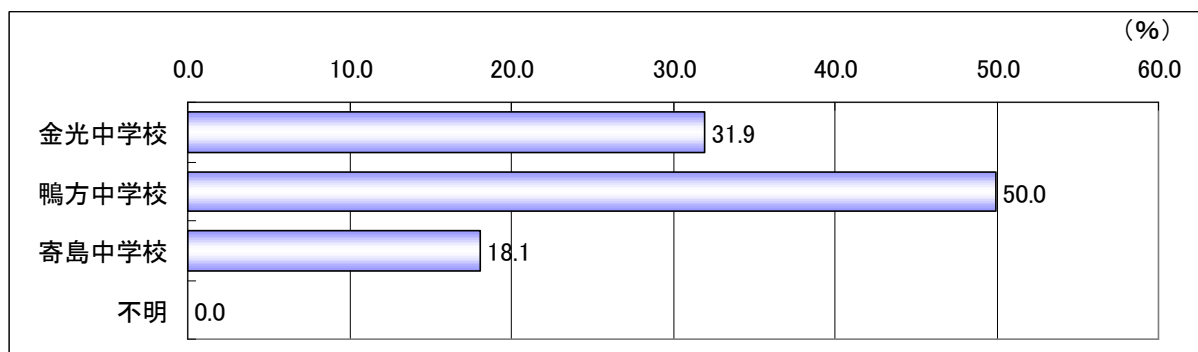


No.	カテゴリー	件数	%
1	男子	146	50.7
2	女子	142	49.3
	不明	0	0.0
	全体	288	100.0

問2 在籍する中学校

【基本集計】(SA, N=288)

- ◇ 「鴨方中学校」が50.0%で半数を占め、「金光中学校」が31.9%、「寄島中学校」が18.1%となっている。

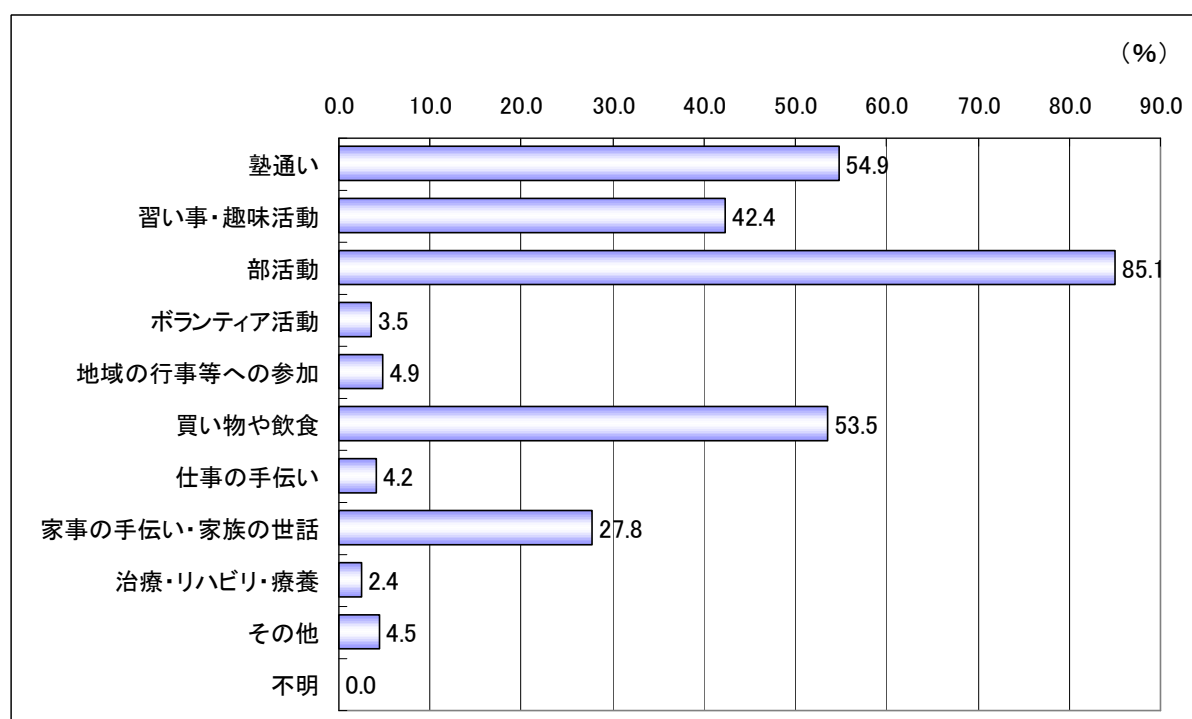


No.	カテゴリー	件数	%
1	金光中学校	92	31.9
2	鴨方中学校	144	50.0
3	寄島中学校	52	18.1
	不明	0	0.0
	全体	288	100.0

問3 放課後や休日の過ごし方

【基本集計】(MA, N=288)

◇ 「部活動」が最も多く 85.1%、「塾通い」が 54.9%、「買い物や飲食」が 53.5%で、これが上位3つの活動となっている。

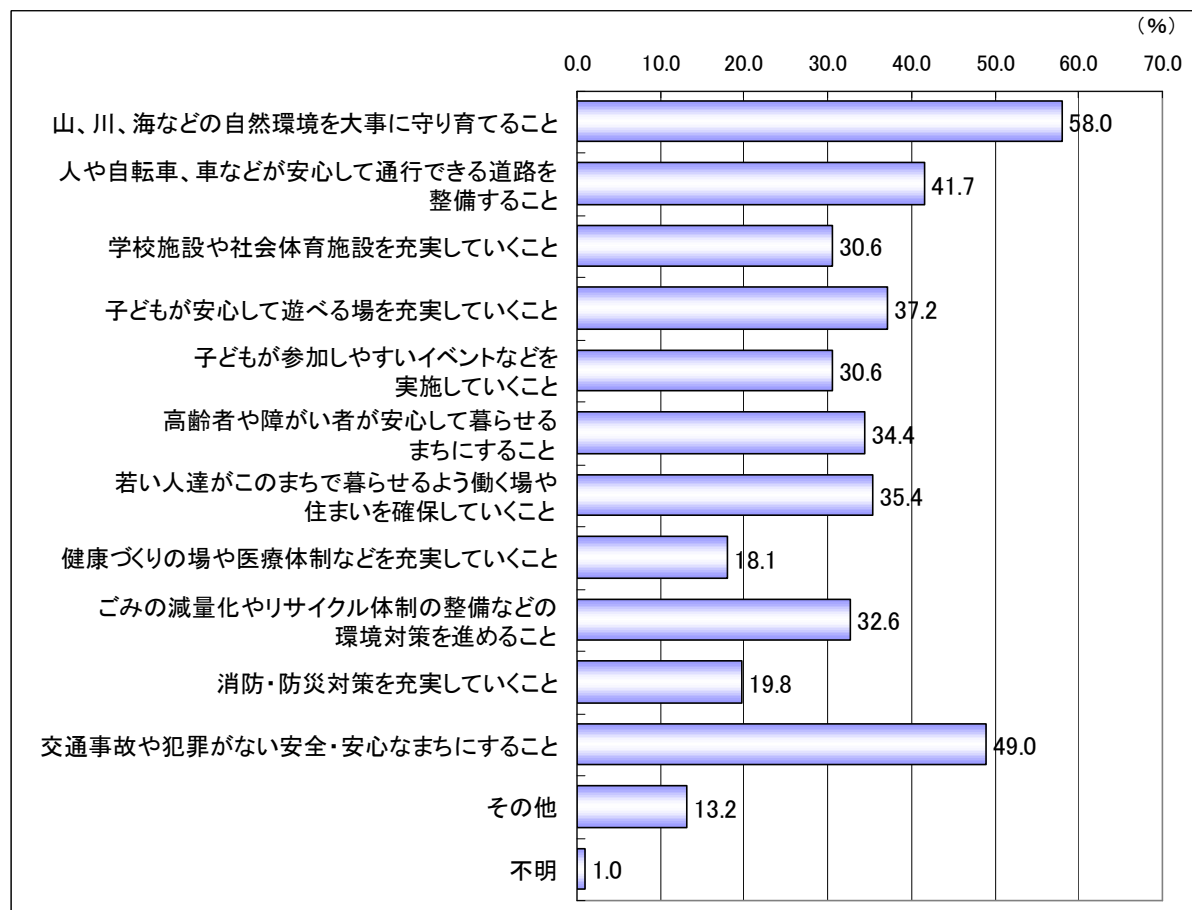


No.	カテゴリー	件数	%
1	塾通い	158	54.9
2	習い事・趣味活動	122	42.4
3	部活動	245	85.1
4	ボランティア活動	10	3.5
5	地域の行事等への参加	14	4.9
6	買い物や飲食	154	53.5
7	仕事の手伝い	12	4.2
8	家事の手伝い・家族の世話	80	27.8
9	治療・リハビリ・療養	7	2.4
10	その他	13	4.5
	不明	0	0.0
	全体	288	100.0

問4 今住んでいるまちでもっとよくして欲しい事

【基本集計】(MA, N=288)

- ◇ 「山、川、海などの自然環境を大事に守り育てること」が58.0%で最も多く、次いで「交通事故や犯罪がない安全・安心なまちにすること」が49.0%となっている。

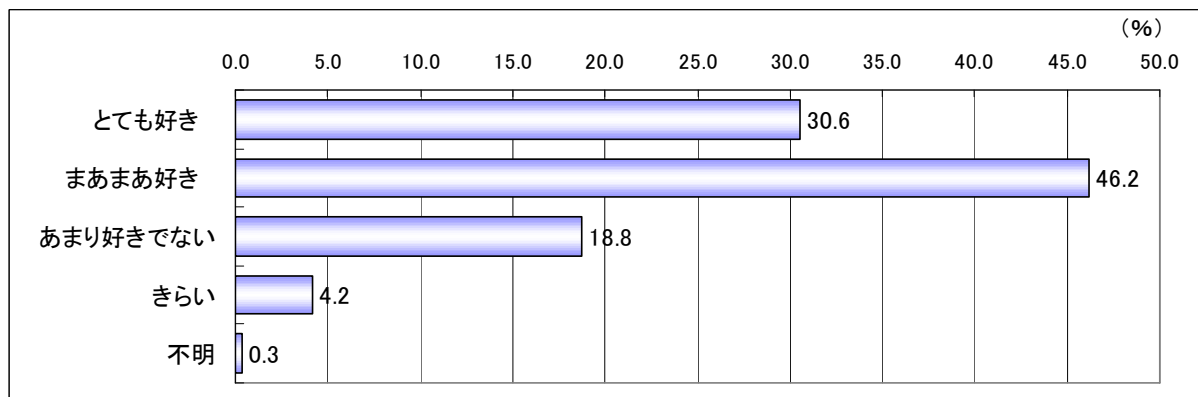


No.	カテゴリー	件数	%
1	山、川、海などの自然環境を大事に守り育てること	167	58.0
2	人や自転車、車などが安心して通行できる道路を整備すること	120	41.7
3	学校施設や社会体育施設を充実していくこと	88	30.6
4	子どもが安心して遊べる場を充実していくこと	107	37.2
5	子どもが参加しやすいイベントなどを実施していくこと	88	30.6
6	高齢者や障がい者が安心して暮らせるまちにすること	99	34.4
7	若い人達がこのまちで暮らせるよう働く場や住まいを確保していくこと	102	35.4
8	健康づくりの場や医療体制などを充実していくこと	52	18.1
9	ごみの減量化やリサイクル体制の整備などの環境対策を進めること	94	32.6
10	消防・防災対策を充実していくこと	57	19.8
11	交通事故や犯罪がない安全・安心なまちにすること	141	49.0
12	その他	38	13.2
	不明	3	1.0
	全体	288	100.0

問5 浅口市が好きですか

【基本集計】(SA, N=288)

- ◇ 「とても好き」が30.6%、「まあまあ好き」が46.2%で、両者を合わせると76.8%の子どもが浅口市を好きと回答している。

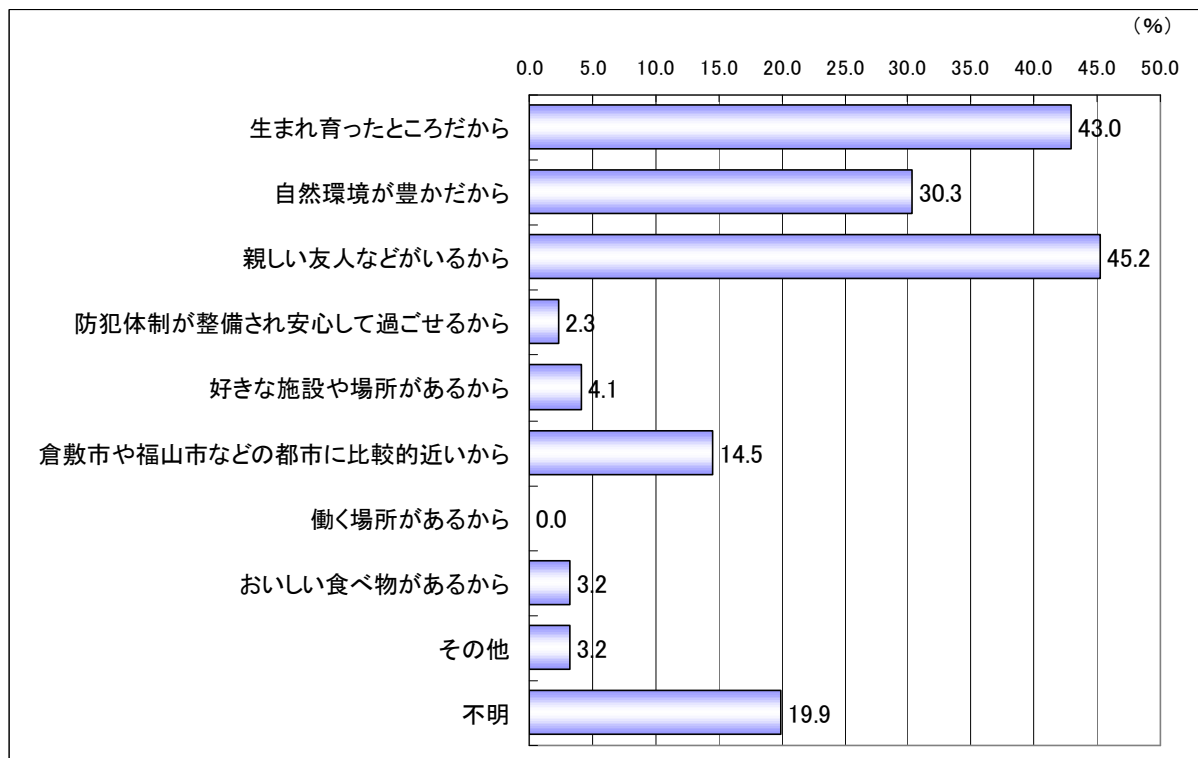


No.	カテゴリー	件数	%
1	とても好き	88	30.6
2	まあまあ好き	133	46.2
3	あまり好きでない	54	18.8
4	きらい	12	4.2
	不明	1	0.3
	全体	288	100.0

問5－A 浅口市が好きな理由

【基本集計】(MA, N=221)

- ◇ 「親しい友人などがいるから」が 45.2%、「生まれ育ったところだから」が 43.0%、「自然環境が豊かだから」が 30.3%で、これが上位3つの好きな理由となっている。
- ◇ 問4の「今住んでいるまちでもっとよくして欲しい事」の第一位が「山、川、海などの自然環境を大事に守り育てること」であることと関連してみると、子どもにとっても“自然環境”に対する認識の高さが窺える。

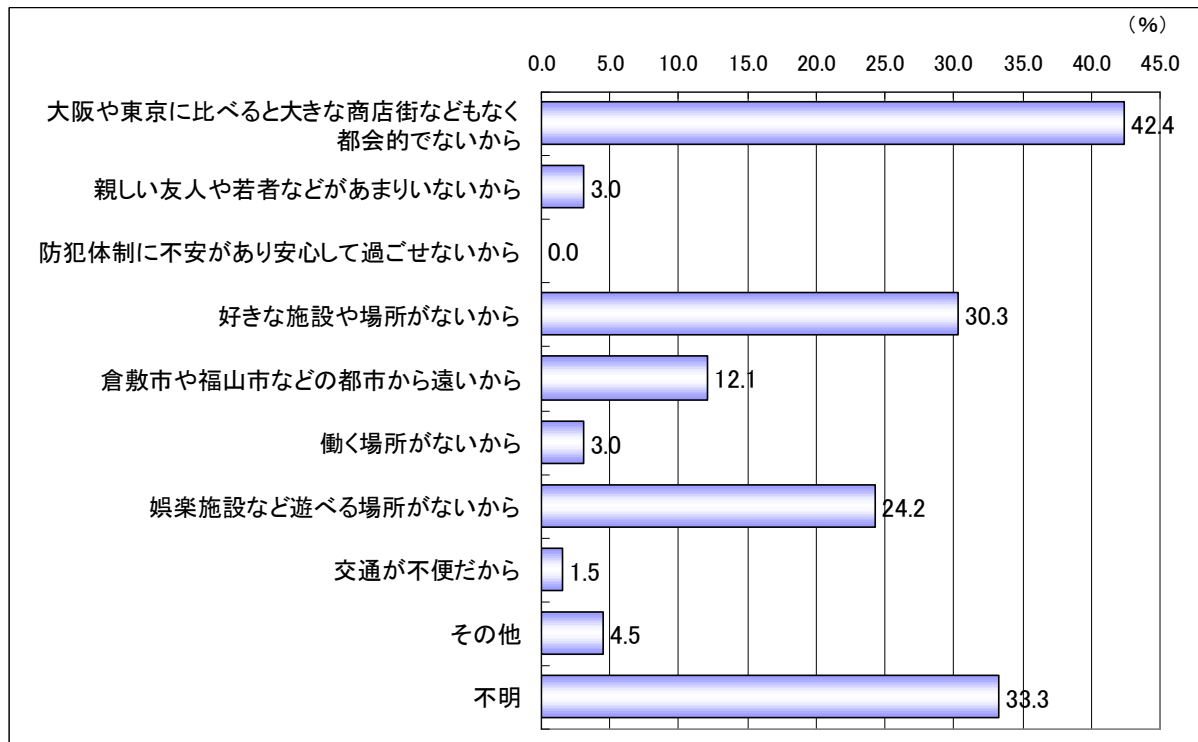


No.	カテゴリー	件数	%
1	生まれ育ったところだから	95	43.0
2	自然環境が豊かだから	67	30.3
3	親しい友人などがいるから	100	45.2
4	防犯体制が整備され安心して過ごせるから	5	2.3
5	好きな施設や場所があるから	9	4.1
6	倉敷市や福山市などの都市に比較的近いから	32	14.5
7	働く場所があるから	0	0.0
8	おいしい食べ物があるから	7	3.2
9	その他	7	3.2
	不明	44	19.9
	非該当	67	
	全体	221	100.0

問5-B 浅口市が嫌いな理由

【基本集計】(MA, N=61)

- ◇ 「大阪や東京に比べると大きな商店街などもなく都会的でないから」が42.4%で最も多くなっている。
- ◇ 問5-Aの「浅口市が好きな理由」で“自然環境”があがっていることと併せて考えると、浅口市が好きな子どもは“自然の良さ”を挙げ、浅口市が嫌いな子どもは“自然よりもむしろ都会性を志向する”ということによるものと思われる。



No.	カテゴリー	件数	%
1	大阪や東京に比べると大きな商店街などもなく都会的でないから	28	42.4
2	親しい友人や若者などがあまりいないから	2	3.0
3	防犯体制に不安があり安心して過ごせないから	0	0.0
4	好きな施設や場所がないから	20	30.3
5	倉敷市や福山市などの都市から遠いから	8	12.1
6	働く場所がないから	2	3.0
7	娯楽施設など遊べる場所がないから	16	24.2
8	交通が不便だから	1	1.5
9	その他	3	4.5
	不明	22	33.3
	非該当	222	
	全体	66	100.0

問6 浅口市で自慢したい・次世代に伝えたいこと

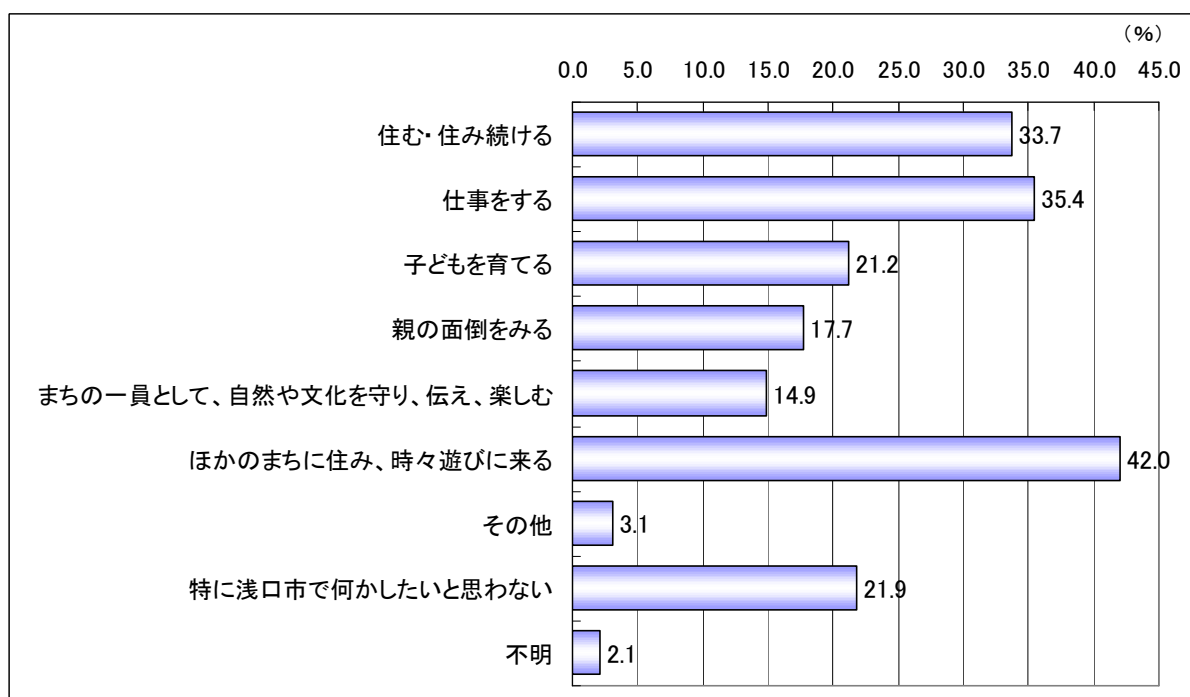
- ◇ 199人からの回答があり、特性や自慢できるものとして挙げてきたものは330件で、最も多かった回答は「うどんやそうめんなどの麺類（48件）」で、次いで「その他の自然環境」（38件）となっている。

分類	キーワード	件数
自然環境系	アッケシソウ	5
	星	3
	その他の自然環境	38
	(小計)	46
産業系	うどんやそうめんなどの麺類	48
	桃	24
	その他の農産物	3
	かき等の海産物	17
	まんじゅう	18
	酒	4
	食べ物全般	12
	(小計)	126
歴史文化系	町家公園	13
	方言・伝説	11
	その他の歴史・文化	8
	(小計)	32
生活環境系	ビックハット	6
	天文台	16
	図書館	5
	その他の施設	14
	お祭り	17
	その他のイベント	15
	(小計)	73
まち全体の環境	安全・安心なまち	8
	人のよさ・田舎らしさ	11
	小さなまちの便利さ	3
	(小計)	22
その他	宗教（金光教）	18
	その他	13
	(小計)	31
合計		330

問7 大人になったとき、浅口市でしたいこと

【基本集計】(MA, N=288)

- ◇ 「ほかのまちに住み、時々遊びに来る」が42.0%で最も多く、次いで「仕事をする」が35.4%、「住む・住み続ける」が33.7%となっている。
- ◇ 問5でみたように、「浅口市が好き」というのは8割近くあるものの、将来の定住となると、半数近くは市外での定住を考えている。

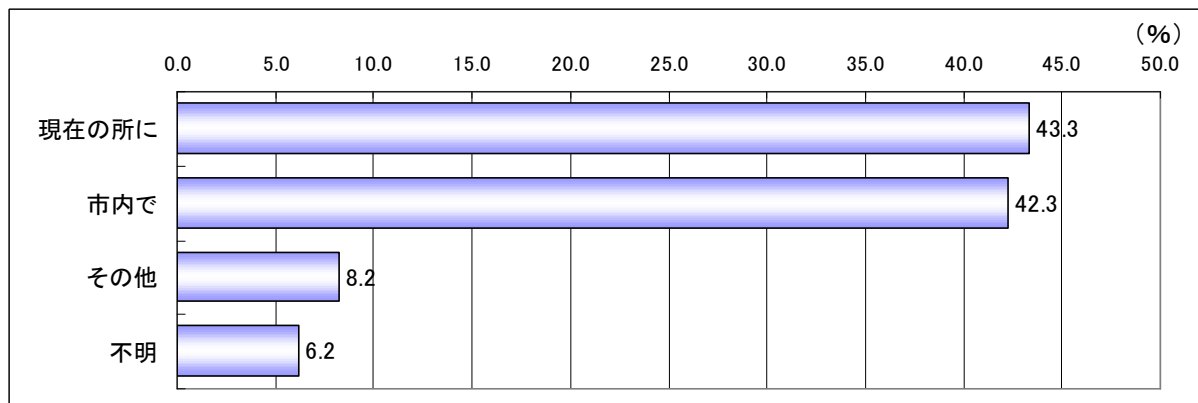


No.	カテゴリー	件数	%
1	住む・住み続ける	97	33.7
2	仕事をする	102	35.4
3	子どもを育てる	61	21.2
4	親の面倒をみる	51	17.7
5	まちの一員として、自然や文化を守り、伝え、楽しむ	43	14.9
6	ほかのまちに住み、時々遊びに来る	121	42.0
7	その他	9	3.1
8	特に浅口市で何かしたいと思わない	63	21.9
	不明	6	2.1
	全体	288	100.0

問 7 - 1 浅口市に住む・住み続ける時の場所

【基本集計】【問 7 住む・住み続ける】 → (MA, N=97)

- ◇ 大人になったときに浅口市に住む・住み続けると回答したものの中で、どこに住むかという問に対しては「現在の所に」が 43.3%と「市内で」が 42.3%とほぼ同じ割合となっている。

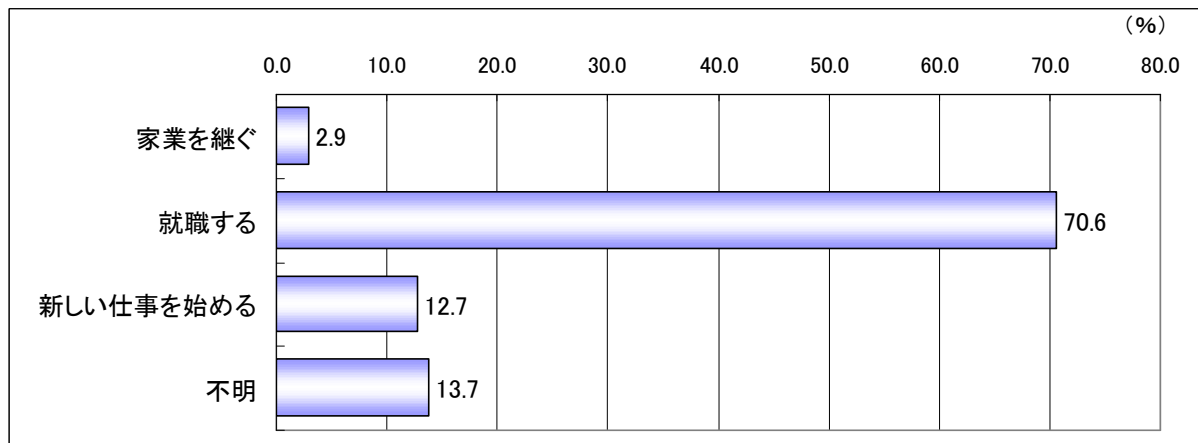


No.	カテゴリー	件数	%
1	現在の所に	42	43.3
2	市内で	41	42.3
3	その他	8	8.2
	不明	6	6.2
	非該当	191	
	全体	97	100.0

問7-2 大人になったときの仕事について

【基本集計】【問7 仕事をする】 → (MA, N=102)

- ◇ 大人になったときに浅口市で仕事をする回答したものの中で、仕事のしかたについては、「就職する」が70.6%で大半を占めるが、「新しい仕事を始める」という回答も12.7%みられる。

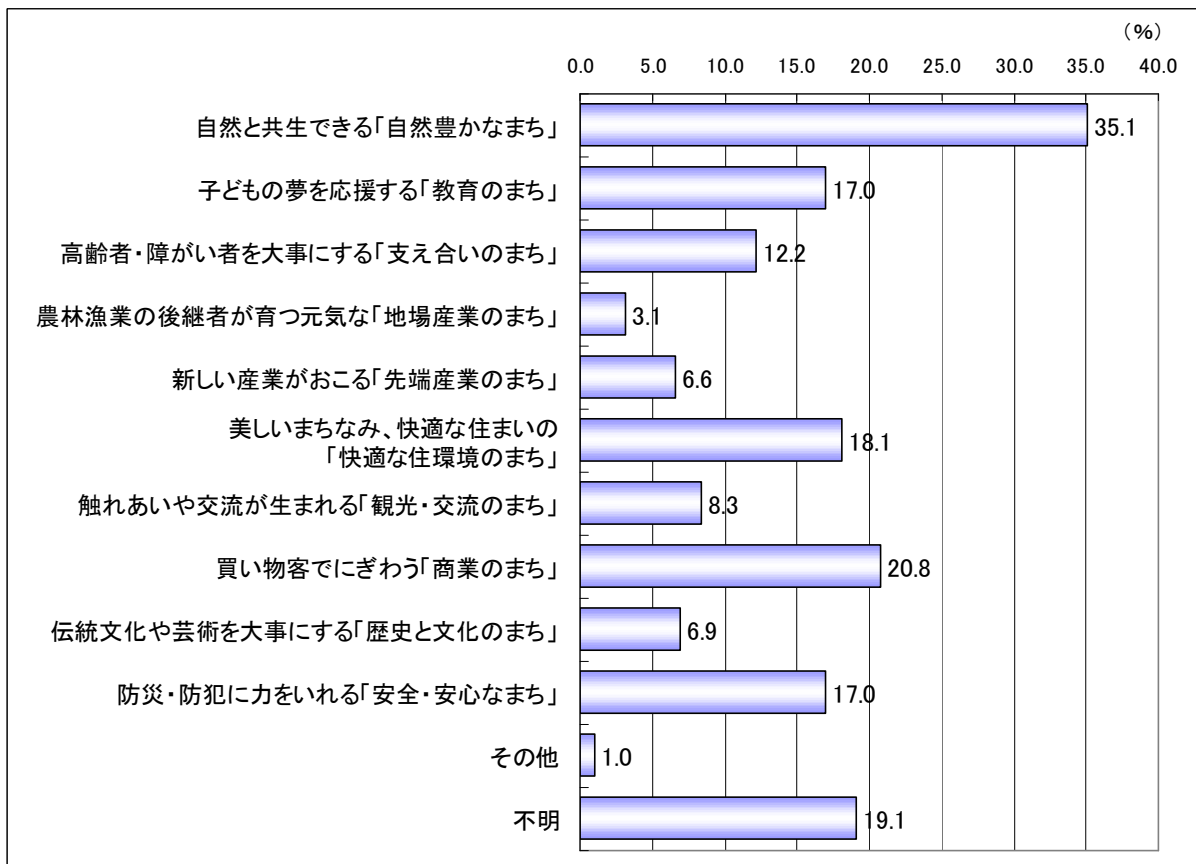


No.	カテゴリー	件数	%
1	家業を継ぐ	3	2.9
2	就職する	72	70.6
3	新しい仕事を始める	13	12.7
	不明	14	13.7
	非該当	186	
	全体	102	100.0

問8 浅口市が目指すべきまちづくり

【基本集計】(MA, N=288)

- ◇ 「自然と共生できる「自然豊かなまち」が 35.1%で最も多くなっている。先の質問の結果とも併せて考えると、“浅口市の良さは自然環境であり、この豊かな自然環境を守り続けることは子どもの願いでもある”とみることができる。



No.	カテゴリー	件数	%
1	自然と共生できる「自然豊かなまち」	101	35.1
2	子どもの夢を応援する「教育のまち」	49	17.0
3	高齢者・障がい者を大事にする「支え合いのまち」	35	12.2
4	農林漁業の後継者が育つ元気な「地場産業のまち」	9	3.1
5	新しい産業がおこる「先端産業のまち」	19	6.6
6	美しいまちなみ、快適な住まいの「快適な住環境のまち」	52	18.1
7	触れあいや交流が生まれる「観光・交流のまち」	24	8.3
8	買い物客でにぎわう「商業のまち」	60	20.8
9	伝統文化や芸術を大事にする「歴史と文化のまち」	20	6.9
10	防災・防犯に力をいれる「安全・安心なまち」	49	17.0
11	その他	3	1.0
	不明	55	19.1
	全体	288	100.0

第2項 自由意見

- ◇ 142人からの回答があり、提案等の件数は204件となっている。
- ◇ 最も多かったものは、「ショッピングや娯楽施設の充実」が47件、次いで「学校の施設（教室・体育館）の充実（クーラー等）」22件、「自然環境を守る」21件となっている。

分類	キーワード	件数
自然環境系	自然環境を守る	21
	(小計)	21
歴史・文化系	伝統や文化を守る	5
	(小計)	5
産業化系	地域の産業（一次産業や地場産業）を活かす	3
	(小計)	3
まち全体の環境系	今のまちの状態・環境を守る	11
	人を呼べたり自慢できる魅力あるまちづくり	10
	3地域全体の環境整備	15
	人にやさしいまちづくり	6
	(小計)	42
学校系	学校の施設（教室・体育館）の充実（クーラー等）	22
	(小計)	22
道路・交通系	道路整備や交通安全等の対策	17
	(小計)	17
日常生活系	日常生活の安全対策の充実（防犯灯等）	10
	ごみ対策等の日常生活のきれいなまちづくり	11
	(小計)	21
買い物・娯楽系	ショッピングや娯楽施設の充実	47
	(小計)	47
スポーツ施設系	スポーツ施設等の充実	6
	(小計)	6
その他		20
合計		204